

第五次東松山市総合計画
後期基本計画

3か年実施計画書(素案) (令和5年度～令和7年度)

住みたい、働きたい、訪れたい
元気と希望に出会えるまち 東松山

令和5年6月
東松山市

目 次

1. 3か年実施計画の概要	1
2. 3か年実施計画の位置づけと期間	1
3. 施策体系図	2
4. 3か年実施計画書の見方	5
5. 東松山市行政改革の基本方針	8
6. 3か年実施計画(令和5年度～令和7年度)	
1 子ども ～子どもたちが健やかに成長する 学びのまち～	12
2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～	24
3 環 境 ～自然と調和する 環境未来・エコのまち～	46
4 生活基盤 ～快適に暮らせる 安全のまち～	54
5 活性化 ～元気で活力のある にぎわいのまち～	72
6 協 働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～	82
参考資料(施策の令和4年度評価結果)	100

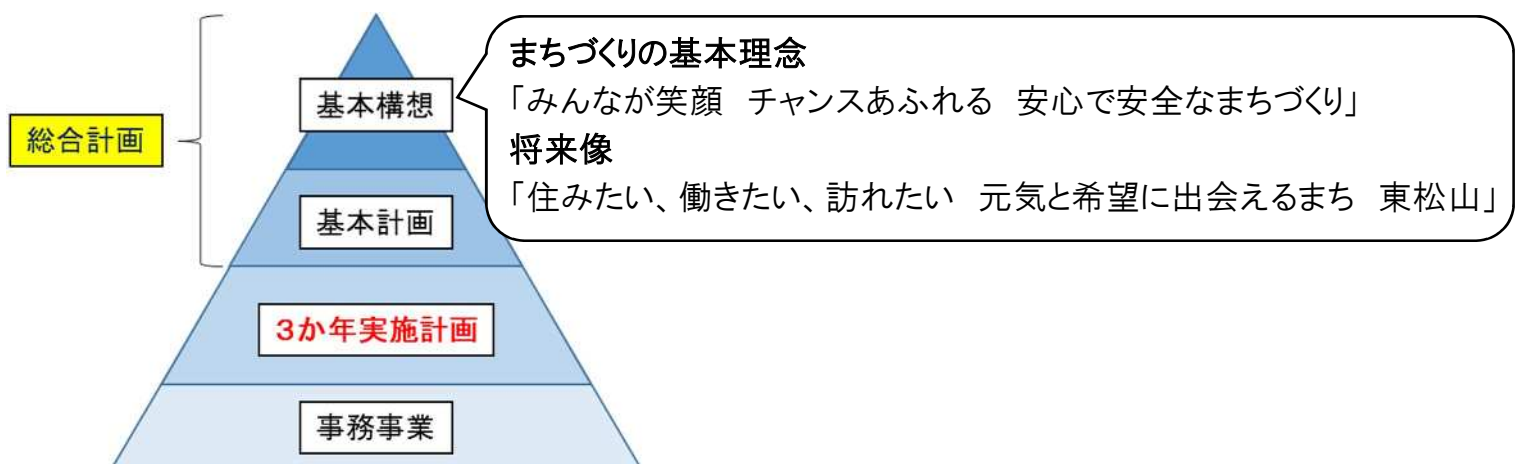
1. 3か年実施計画の概要

3か年実施計画は、東松山市の最上位計画である「第五次東松山市総合計画」に示された将来像「住みたい、働きたい、訪れたい 元気と希望に出会えるまち 東松山」の実現のために、基本計画で示された施策を具体化するもので、中期的な展望により各施策・事業を効率的・効果的に実施するために作成するものです。

この3か年実施計画書に基づいて予算を編成し、毎年ローリング方式(※)で事業を見直すことから、翌年度以降の計画については、財政状況や社会状況に応じて変更等することもあります。

※ローリング方式・・・実施計画の内容と実績の違いを検証し、環境などの変化にあわせた施策・事業の部分的な見直し・修正を定期的に行う手法

2. 3か年実施計画の位置づけと期間



基本構想(平成28年度～令和7年度)

目指すべきまちの将来像を示し、取り組むべき施策の柱を定め、10年間のまちづくりの方向性を明確化する構想。

後期基本計画(令和3年度～令和7年度)

基本構想に掲げるまちの将来像を実現していくための施策・取組を体系的に示した計画。

3か年実施計画(令和5年度～令和7年度)

基本計画で示した、施策・取組を実施するための3年間の計画。社会情勢等により毎年度見直す。

3. 施策体系図

まちづくりの柱	目指すべきまちの姿	分野別テーマ	基本施策		施策
1【子ども】 子どもたちが健やかに成長する 学びのまち	きめ細かな支援と地域が見守る環境の中で、子どもたちが健やかに育つ子育てが楽しいまち	1-1 子育て支援の充実	1-1-1	安心で楽しい子育て環境づくり	①子育て支援の充実 ②子育て相談・情報提供の充実 ③児童虐待・DVなどへの対応 ④子育て家庭への経済的支援
			1-1-2	青少年の健全育成と若者の支援	①非行防止の取組の充実や有害環境の排除 ②若者支援の充実や次代の親の育成
	多様な家庭環境に対応し、子どもたちを安心して育てられるまち	1-2 乳幼児期における支援の充実	1-2-1	乳幼児期における支援の充実	①就学前の教育・保育の充実 ②多様な保育サービスの提供 ③食育の推進 ④歩育の推進
			1-3-1	学校教育の充実	①確かな学力の確立 ②社会性が身に付く教育の実践 ③教員の資質・能力の向上 ④相談体制の充実
	学校・家庭・地域の協力のもと、子どもたちが学び育つまち	1-3 学校教育の充実	1-3-2	教育環境の整備	①安心で快適な学習環境づくり ②地域に根ざした学校づくり ③学校給食の充実
			2-1	健康づくりの推進	①ウォーキングによる健康づくりの推進 ②健康づくりと疾病予防の取組 ③歯科口腔保健の推進 ④食育の推進 ⑤がん検診等の推進 ⑥感染症対策の充実
2【健康福祉】 誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち	毎日の健康づくりにより、生涯を通じて元気に暮らせるまち	2-1 健康づくりの推進	2-1-1	健康づくりの推進	①ウォーキングによる健康づくりの推進 ②健康づくりと疾病予防の取組 ③歯科口腔保健の推進 ④食育の推進 ⑤がん検診等の推進 ⑥感染症対策の充実
	病院間や病院と関連機関との連携が進み、必要な医療が受けられるまち	2-2 保健・医療の充実	2-2-1	保健・医療体制の充実	①医療・福祉・介護の連携強化 ②医療機関同士の連携強化 ③かかりつけ医の普及と適切な医療機関情報の提供
			2-2-2	市民病院の充実	①診療体制の充実と連携・機能分化の推進 ②経営の適正化の推進 ③医療と介護分野との連携推進 ④施設及び各種医療機器の安全性と性能の向上
	地域の支え合いが進み、住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち	2-3 地域福祉と社会保障の充実	2-3-1	地域福祉の推進	①地域社会のネットワーク化の推進 ②関係団体の活動支援 ③地域福祉の担い手の育成 ④権利擁護の推進
			2-3-2	社会保障の充実	①生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度の適正な運営 ②国民健康保険制度の安定的運営 ③後期高齢者医療制度の安定的運営
	高齢者がいきがいを持ち、元気に暮らせるまち	2-4 高齢者福祉の充実	2-4-1	高齢者支援の充実	①いきがいづくりと社会参加の推進 ②健康づくりと介護予防の推進 ③認知症施策の推進 ④介護保険制度の適正な運営
	障害の有無にかかわらず、個性と能力を発揮し自分らしく安心して暮らせるまち	2-5 障害者福祉の充実	2-5-1	障害者支援の充実	①全ての市民がともに暮らす社会の実現 ②障害者に対する生活支援の充実 ③障害者の就労支援の充実

3 自然と調和する 【環境】 環境未来・エコのまち	生活環境を保全し、快適に生活できるまち	3-1 良好な地域環境の保全	3-1-1	良好な地域環境の保全	①地球温暖化対策の推進 ②環境に対する市民意識の向上 ③快適な生活環境の確保
	里山、親水空間など憩いの場の整備が進み、潤いあるみどりがあふれるまち	3-2 自然に親しむ空間づくりの推進	3-2-1	自然に親しむ空間整備の推進	①緑と水の保全と活用 ②自然と親しむ環境整備 ③生態系の保全による自然環境の維持
	一人一人が身近な環境問題に取り組む、資源循環型のまち	3-3 循環型社会の構築	3-3-1	資源循環の推進	①ごみの減量とリサイクルの推進 ②一般廃棄物処理の方向性の明確化 ③災害廃棄物処理の体系化
4 快適に暮らせる 【生活基盤】 安全のまち	防災力を強化し、安心で安全に暮らせるまち	4-1 防災・減災対策の充実	4-1-1	防災・減災のまちづくり	①災害に対する備えの充実と地域防災力の強化 ②令和元年東日本台風からの復興と災害に強いまちづくり ③防災に対する意識の向上 ④危機管理体制の強化 ⑤地域防災拠点の機能強化と災害対応の充実 ⑥感染症流行時の危機管理
	市街地の利便性や安全性が向上した、快適で住みよいまち	4-2 安全で快適なまちづくりの推進	4-2-1	計画的なまちづくりの推進	①持続可能なまちづくりの推進 ②東松山駅周辺の整備 ③市街地の整備 ④快適で住みよい住宅の推進 ⑤質を高める公園整備の推進 ⑥持続可能な公共交通ネットワークの形成・維持
	道路や上下水道などのインフラが整い、快適に暮らせるまち	4-3 道路と上水道及び河川・下水道の整備	4-3-1	道路の整備と維持管理	①安全で快適な道路の整備と維持管理 ②橋梁の強靱化と適正な維持管理 ③歩行者の安全対策
			4-3-2	上下水道の整備	①水道水の安定供給 ②下水道の整備と維持管理 ③合併処理浄化槽への転換の促進
			4-3-3	河川の整備	①河川の計画的な整備による雨水対策 ②河川、水路、池沼の適正な維持管理 ③雨水浸水対策の推進
	交通安全や防犯意識が高く、交通事故と犯罪が少ないまち	4-4 交通安全・防犯対策の推進	4-4-1	交通安全・防犯対策の推進	①交通安全意識の啓発 ②防犯設備の整備と防犯意識が高いまちづくり

5 【活性化】 元気で活力のある にぎわいのまち	安全な農産物づくりとブランド化が進み、収益性の高い農業が営まれるまち	5-1 農業の振興	5-1-1	農業の振興	①農業生産基盤の整備 ②農業の担い手の育成・確保 ③農畜産物のブランド化と収益性の高い農業の実現 ④地産地消の推進と関連産業の活性化
	中心市街地ににぎわいと活気があふれるまち	5-2 商業の活性化	5-2-1	商業の振興	①商店街活性化の促進 ②商工業者への支援 ③経営基盤安定化への支援
	産業が元気で、安心して働き続けられるまち	5-3 産業振興と就労支援の充実	5-3-1	産業振興と就労支援の充実	①強みを生かした企業誘致の推進 ②既存企業への支援の充実 ③創業に対する支援の充実 ④勤労者・就労支援の充実
	戦略的なPRや観光資源の連携により、多くの観光客が訪れるまち	5-4 観光の振興	5-4-1	観光の振興	①地域資源を活用する ②観光資源をつなぐ ③観光情報を届ける ④地元観光を楽しむ
6 【協働】 人と地域が つながる 支え合いのまち	市民、事業者、行政がお互い対等な立場で協力し合い、特色ある取組を進めるまち	6-1 協働によるまちづくりの推進	6-1-1	市民参加の促進	①自治会やハートピアまちづくり協議会を中心とする各地区による地域活動の推進 ②災害や感染症を踏まえた地域活動の継承と発展
	市民一人一人の人権が尊重され、いきいきと幸せに生活できるまち	6-2 人権・平和意識の高揚	6-2-1	人権意識の高揚	①人権意識の向上 ②人権教育の推進 ③男女共同参画社会の推進
			6-2-2	平和意識の高揚	①平和意識の醸成 ②戦時体験の継承
	生涯にわたり学習やスポーツに親しみ、いつまでも健康で心豊かに暮らせるまち	6-3 生涯学習・生涯スポーツの推進	6-3-1	生涯学習の推進	①社会教育の充実と自主的な学習の推進 ②図書館の充実
			6-3-2	生涯スポーツの推進	①日本スリーデーマーチの充実とウォーキングの推進 ②スポーツを楽しむ環境づくりの推進 ③ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
	文化財の保全・活用や自主的な文化芸術活動が進んだまち	6-4 文化・芸術の振興	6-4-1	文化・芸術の振興	①文化・芸術活動の促進 ②歴史継承の推進 ③国際交流の推進
			6-4-2	文化財保護	①文化財の保護と継承 ②文化財の啓発と活用
多様なニーズに応える、健全で持続可能な行財政運営のまち	6-5 健全な行財政運営	6-5-1	健全な行財政運営	①健全な財政運営と効果的な予算執行 ②広報広聴の充実による情報共有 ③公共施設の適正な維持管理の推進 ④適材適所の人事管理と人材育成	

4. 3か年実施計画書の見方

3か年実施計画書は、①施策を構成する事務事業②施策の概要と年度ごとの主な取組③施策ごとの指標④施策の評価と今後の方向性⑤行政改革の視点から構成されています。

前年度の評価、結果の分析(④)を受け、後期基本計画に掲げた施策ごとの主な取組(①・②・⑤)を作成しています。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-5 健全な行政運営

6-5-1 健全な行政運営



※注1

優先度	施策①【健全な財政運営と効果的な予算執行】									
◎	自主財源の確保に取り組むとともに、市債への依存度抑制に取り組みます。経常的支出の抑制や事務事業の必要性や優先順位を踏まえた選択、公共施設の在り方の見直しを通じた歳出の抑制に取り組みます。									
事務事業	(1) 財政運営事業	財政課	一般	R5	3,115	R4	3,066			
	(2) 政策推進事業	政策推進課	一般	R5	1,237	R4	1,337			
	(3) 総合計画管理事業	政策推進課	一般	R5	553	R4	553			
	(4) 外郭団体等管理事業	政策推進課	一般	R5	19,439	R4	18,111			
	(5) シティプロモーション事業	政策推進課	一般	R5	98	R4	118			
	(6) ふるさと納税推進事業	政策推進課	一般	R5	53,745	R4	12,878			
主な取組	※注2 【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 財政の健全性を維持、向上させるため、自主財源の確保、経常的支出の抑制を図った予算の編成 (6) ポータルサイトの拡充、新規返礼品の開拓、返礼品のPR強化		> 令和5年度の取組を継続して実施		> 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	経常収支比率(%)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	96.4 (実績)	96.4	96.2	96.2	96.2	96.2
施策の と今後の 方向性 評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	※注3 担当課コメント				
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、地方交付税の追加交付などにより、経常収支比率の減少が見られるが、引き続き、実施手段等の見直しによる経常的支出の抑制や事業の見直しを行い、経常収支比率の向上を図る。 ふるさと納税制度を活用した本市への寄附は増加傾向にあるため、さらなる寄附受入額の増加を目指し、ポータルサイトの拡充や新規返礼品の開拓、SNS等を活用したPRの強化に取り組む。				

行政改革の視点

視点Ⅱ 効率的な行政運営と組織力の向上

推進項目 6 効率的な組織の再編成と事務分掌

【説明】 多様化、専門化する市民ニーズや行政課題に、迅速かつ確に対応できるよう組織・機構の適宜見直しを実施します。

※注1 当該年度に特に優先的に取り組む施策には「◎」、優先的に取り組む施策には「○」を記載しています。

① 当該施策を構成する事務事業を記載しています。予算額については事務事業単位で記載しているため、当該基本施策に係る取組以外の予算も含まれていることがあります。

※注2 番号は上段の事務事業と対応しています。対応する事務事業が無い場合は「-」となっています。令和6年度以降は、新規の取組には番号、継続した取組の場合は「>」を記載しています。





② 令和5年度～令和7年度(3か年)の主な取組(予定)を記載しています。

③ 施策ごとの指標及び令和4年度の実績値を記載しています。本書作成時点で実績値が判明しないものは空欄としています。

④ **妥当性・有効性・効率性**
各施策の前年度の取組について、妥当性・有効性・効率性の3項目の視点に分け、0～4の5段階で評価しています。
※各施策の評価の詳細は、100ページ以降に記載。

達成度
指標に対する達成度について、1～4の4段階で評価しています。なお、令和4年度の実績が判明しない指標については、達成度を「2」(目標を達成していない)に統一しています。

総合評価・今後の方向性・担当課コメント
以上の4項目の視点による評価(総合評価「A～D」)と、所管課の視点での評価・分析を記載し、今後の施策の方向性を「拡大・充実」「現状維持」「方法改善」「縮小/廃止」から選択しています。

	今後の方向性	文言の捉え方
※注3	拡大・充実 	これまでの取組や施策を構成する事務事業は継続しつつ、 新たな取組や事務事業を追加して施策を強化していく。 ※既存の事務事業の実施方法や取組内容は変えず、程度(数量など)を大幅に拡充する場合も含む。
	現状維持 	引き続き、 これまでの取組や施策を構成する事務事業を継続していく。
	方法改善 	これまでの 取組や施策を構成する事務事業の一部(又はすべて)について、必要な改善や変更等を行った上で施策を継続していく。
	縮小/廃止 	目指すべきまちの姿につながる効果が見込めなかったり、当初の目標が達成されたりしたことから、将来的な施策の終了も視野に、これまでの 取組や施策を構成する事務事業を縮小 する。または、ニーズの変化や効果の減少、目標達成等により実施の必要性がなくなったため、 終期を設定して廃止 とする。

⑤ 行政改革の視点は、9ページの「東松山市行政改革の基本方針」から項目を選定しています。

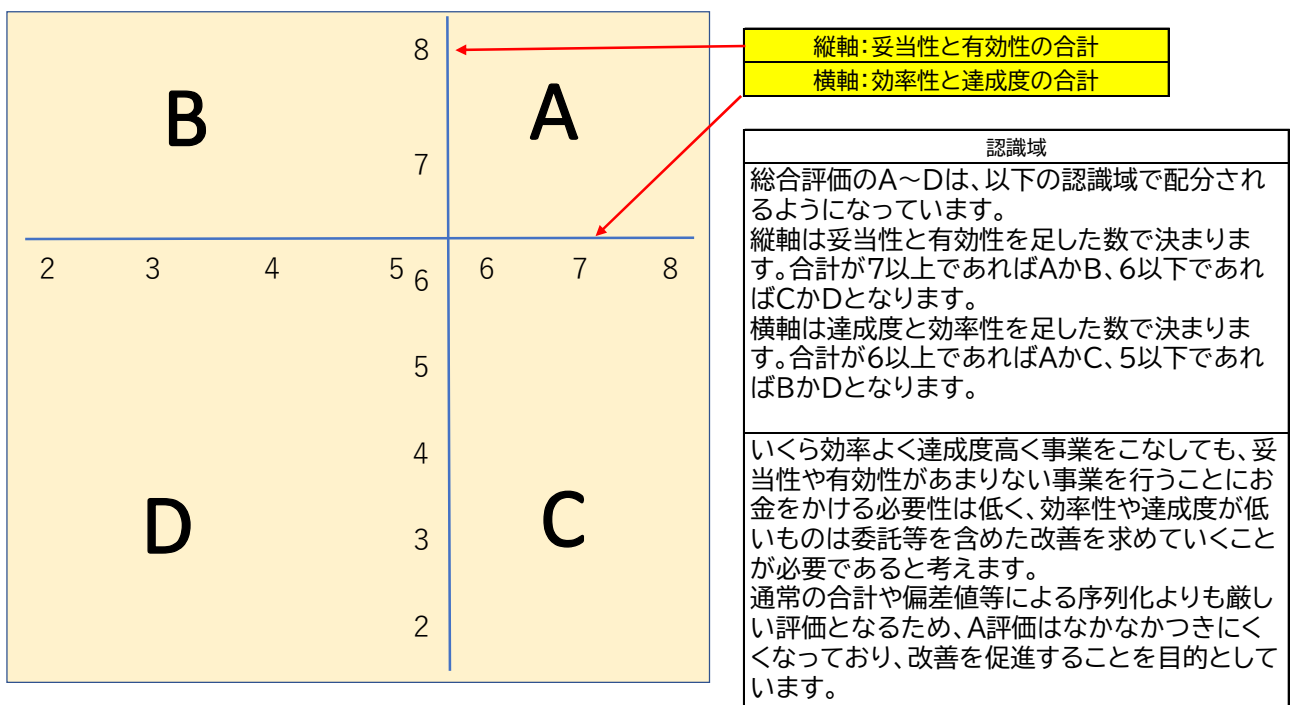
【施策の評価項目・総合評価について】

妥当性・有効性・効率性・達成度については、統一的な視点による評価基準により施策を評価しています。各項目の詳細は以下のとおりです。

妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策の妥当性 を評価		選 択	
		配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策の有効性 を評価		選 択	
		配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策の効率性 を評価		選 択	
		配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標の達成度 を評価		配 点	
達成度:未着手	取組に着手できていない	1	
達成度:達成していない	目標を達成していない。	2	
達成度:達成している	目標を達成している。	3	
達成度:十分達成している	目標を大きく上回っている。	4	



妥当性・有効性・効率性について、各項目に該当する選択肢を選択し、各施策における指標の達成度を選択すると、A～Dの総合評価で評価されます。総合評価の決定方法は、以下の表のとおりとなります。



5. 東松山市行政改革の基本方針

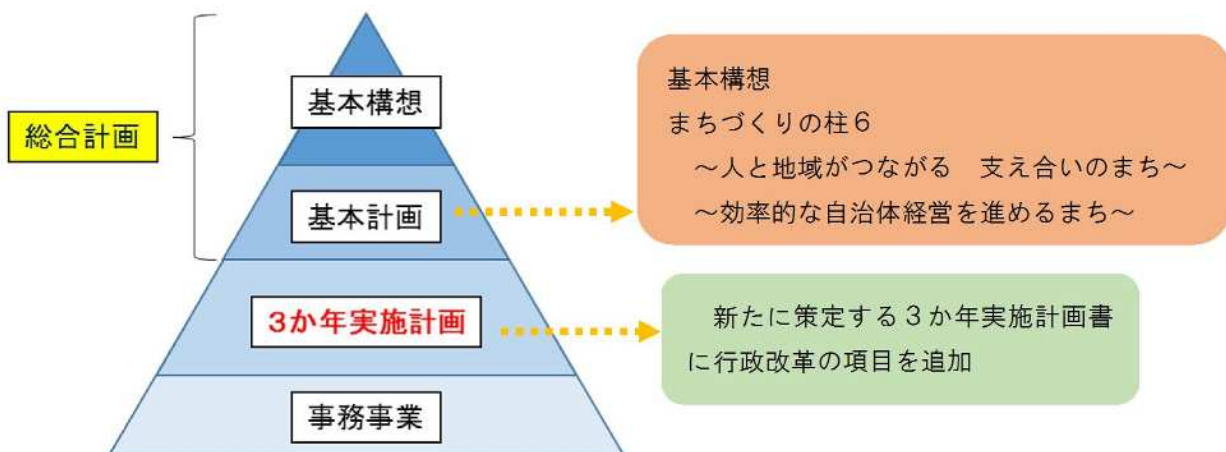
東松山市行政改革の基本方針

1. 趣旨

本市では、昭和 60 年に東松山市行政改革大綱を策定して以来、効率的な行政運営と市民サービスの向上を目指して、継続的に行政改革に取り組んできました。平成 23 年度から平成 27 年度を計画期間とした第五次東松山市行政改革大綱では、「市民満足度の向上と地域力・市民力の結集」、「財政基盤の強化による持続可能なまちづくり」、「効率的でスリムな行政運営」を改革の柱とし、12 の施策方針を掲げ、行政改革を進め、市民との協働体制の確立や行財政運営の健全化、行政の効率的な運営を図るための取組など、実施項目のほぼ全てにおいて計画通りに進み、一定の成果を上げてきました。

しかしながら、多くの自治体と同様、本市においても、少子高齢化の影響などにより厳しい財政状況が続くことが予想される中、子育て、教育、福祉などそれぞれの分野で住民ニーズの多様化・複雑化が進んでいます。また、高度経済成長期に整備した道路・橋梁をはじめとするインフラ等の老朽化も進んでおり、今後も質の高い行政サービスを効率的かつ効果的に提供するためには、引き続き、行政改革を進めることはもとより、限られた財源・人材を最大限に活用し、市民や地域と協働してまちづくりを進めていく視点が重要となります。

【第五次東松山市総合計画と行政改革】



2. 3つの改革の視点

第五次東松山市行政改革大綱の取組と成果をさらに広げるため、次の3つの視点で行政改革を推進します。

視点Ⅰ 健全な財政運営の推進

市税をはじめとする自主財源を確保し、財政基盤の強化と健全で安定した財政運営のため、市税の収納率の向上や、積極的な企業誘致、補助金や公共料金の見直しに取り組みます。

また、公共施設の適正な維持管理のための計画的な公共施設の改修・修繕の実施、公営企業の改革・経営健全化に取り組みます。

- 推進項目 1 地域経済循環の推進
- 推進項目 2 計画的な土地利用の推進
- 推進項目 3 公共施設等のアセットマネジメント
- 推進項目 4 補助金・公共料金の適正化
- 推進項目 5 健全な公営企業経営

視点Ⅱ 効率的な行政運営と組織力の向上

社会経済情勢の変化や新たな市民ニーズに即応した行政課題に対応できるよう、効率的な組織と事務分掌を目指します。

また、職員の意識改革として、職員提案制度を実施し、さらに職場研修や職場外研修の推進、自己啓発の支援を行い、人材の育成と組織の活性化を図ります。

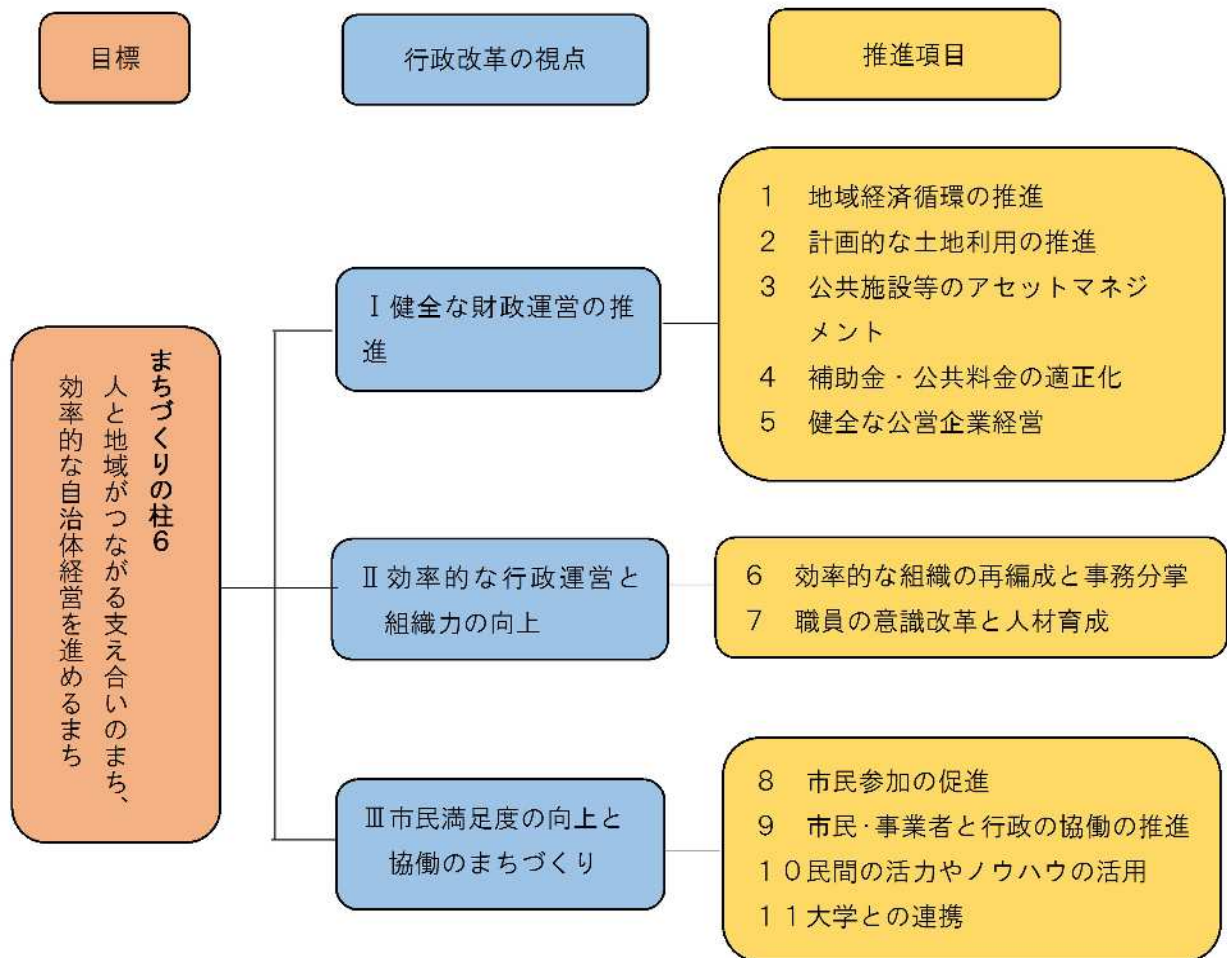
- 推進項目 6 効率的な組織の再編成と事務分掌
- 推進項目 7 職員の意識改革と人材育成

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

多様化する市民ニーズを的確に把握し、より効率的かつ効果的に質の高い行政サービスを提供するため、市民意識調査やパブリックコメントを実施するほか、指定管理者制度等による民間委託を推進します。

また、自治会やハートピアまちづくり協議会を中心とする各地区による地域活動や、大学と連携した事業の実施により、市民参画・協働の視点を持った取組を促進します。

- 推進項目 8 市民参加の促進
- 推進項目 9 市民・事業者と行政の協働の推進
- 推進項目 10 民間の活力やノウハウの活用
- 推進項目 11 大学との連携



3. 基本方針により目指す方向性

平成28年度を始期とする第五次東松山市総合計画では、まちづくりの柱6【協働】の分野で、「人と地域がつながる支え合いのまち」と「効率的な自治体経営を進めるまち」を目指としています。

今後は、総合計画に基づき策定する3か年実施計画書に「行政改革の視点」を設定し、職員が行政改革を意識する機会を増やし、事務の効率化につなげます。

基本計画の進行管理を実施する際には、行政改革の取組内容や実績について分析を実施し、さらに効果的に行政改革を推進し、総合計画で掲げた将来像「住みたい、働きたい、訪れたい 元気と希望に出会えるまち東松山」を実現していきます。

まちづくりの柱1(子どもの分野)

子どもたちが健やかに成長する 学びのまち

子育てしやすい環境整備や乳幼児期、小・中学校における教育の充実を図るとともに、子どもたちが地域の中で健やかに成長する環境を整えることで、元気な子どもが育つ学びのまちを目指します。



1 子ども～子どもたちが健やかに成長する 学びのまち～

1-1 子育て支援の充実

1-1-1 安心で楽しい子育て環境づくり



優先度 施策①【子育て支援の充実】											
「子育て・親育ち」の支援を充実し、楽しく子育てができる環境を整えます。地域子育て支援拠点事業の更なる充実や多様な子育て支援ニーズに対応したサービスの充実に取り組みます。											
事務事業	(1)	子育て支援センター事業	子育て支援課	一般	R5	50,747	R4	50,596			
	(2)	子ども・子育て支援事業	子育て支援課	一般	R5	13,958	R4	18,149			
	(3)	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	一般	R5	4,601	R4	4,576			
	(4)	地域子育て支援拠点補助事業	子育て支援課	一般	R5	14,803	R4	14,797			
	(5)	放課後子ども教室事業	子育て支援課	一般	R5	13,668	R4	13,668			
主な取組	【令和5年度の取組】				【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	地域子育て支援拠点におけるオンライン事業の充実	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	子育て環境が整っていると感じる市民の割合 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	33.5 (実績)	-	34.1	-	34.7	-
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	3	B	【今後の方向性：現状維持】 新型コロナウイルス感染症の影響下においても関係機関が連携し、支援の場を継続して提供することができた。特に各地域子育て支援拠点では、感染症予防対策に取り組みながら、安心・安全な親子の交流の場を提供した結果、利用者から好評を博することができた。また、リフレッシュケット配布事業では、サービスメニューを追加して、在宅子育て家庭の育児負担軽減を図った。今後も国県の施策や市民ニーズを踏まえ、事業の充実に取り込む。					
優先度 施策②【子育て相談・情報提供の充実】											
多様化する子育て相談にきめ細かく対応し、切れ目のない支援に取り組むとともに、子育てハンドブックなどの有効活用により、子育て中のママ・パパをサポートします。											
事務事業	(1)	子ども・子育て支援事業	子育て支援課	一般	R5	13,958	R4	18,149			
	主な取組	【令和5年度の取組】				【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】		
(1)		子育てコンシェルジュによる相談事業の充実	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	子育てコンシェルジュ相談件数 (件)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	187 (実績)	200	210	220	230	240
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	3	B	【今後の方向性：現状維持】 子育てコンシェルジュを含む各種相談業務や子育て支援アプリ等の充実による情報提供に取り組み、子育てしやすい環境づくりを推進することができた。今後も積極的に事業を周知し、子育て世代のニーズに対応できるよう取組を継続する。					

優先度	施策③【児童虐待・DVなどへの対応】									
◎	関係機関等との連携強化や専門職の増員により、児童虐待の未然防止と早期発見、早期対応に取り組むとともに、子ども家庭総合支援拠点事業を実施します。									
事業	(1)	児童相談事業	子育て支援課	一般	R5	7,094	R4	6,779		
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	子ども家庭センター設置に向けた準備	(1)	子ども家庭センター事業の開始、適切な運営	>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	体験型子育て練習講座受講者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	47 (実績)	55 20	60 27	65	70	75
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 子ども家庭総合支援拠点の開設に伴う職員体制の整備及び関係機関との連携を強化するとともに、虐待予防事業にも積極的に取り組んだ結果、市内での虐待による重大事案の発生を防止することができた。今後も継続して取組を実施し、令和6年度からの「子ども家庭センター」の設置に向けた準備を進め、支援体制の充実・強化を図ることで、切れ目のない包括的な支援に取り組む。				

優先度	施策④【子育て家庭への経済的支援】									
○	児童手当やひとり親家庭等医療費などの適正な支給を継続するとともに、就学援助制度の実施や各種経済的支援制度の周知に取り組みます。									
事業	(1)	子ども医療給付事業	子育て支援課	一般	R5	372,439	R4	361,174		
	(2)	ひとり親家庭等医療給付事業	子育て支援課	一般	R5	21,548	R4	19,374		
	(3)	助産施設等入所事業	子育て支援課	一般	R5	500	R4	420		
	(4)	遺児手当支給事業	子育て支援課	一般	R5	2,642	R4	2,679		
	(5)	児童扶養手当支給事業	子育て支援課	一般	R5	285,819	R4	304,092		
	(6)	児童手当等支給事業	子育て支援課	一般	R5	1,224,742	R4	1,249,993		
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の県内現物給付化を継続して実施	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	高等職業訓練促進給付金支給者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	9 (実績)	10 7	12 8	14	16	18
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰を背景とした子育て世帯への経済的支援を適切に実施することができた。また、医療費については現物給付化の範囲を県内まで拡充したほか、エネルギー・物価高騰に対する市独自の支援策として「子育て世帯生活応援給付金」の支給、出産・子育て応援事業を新たに開始するなど経済的支援の充実を図った。今後も国が予定している児童手当の改正や物価高騰に伴う経済的支援を適切に実施するとともに、市独自の支援策の検討を進める。				

行政改革の視点



視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり
推進項目10 民間の活力やノウハウの活用

【説明】 市民サービス向上のため、市民団体と協働して各種イベントを開催するなど民間活力を活用します。

1 子ども ～子どもたちが健やかに成長する 学びのまち～

1-1 子育て支援の充実

1-1-2 青少年の健全育成と若者の支援



優先度 施策①【非行防止の取組の充実や有害環境の排除】											
◎	東松山モデル「つなぐ」の仕組みを実践するとともに、青少年の非行防止のための啓発活動を地域や関係機関と連携して推進します。										
事務事業	(1)	青少年健全育成事業	子育て支援課	一般	R5	916	R4	936			
	(2)	児童相談事業	子育て支援課	一般	R5	7,094	R4	6,779			
	(3)	教育指導事業	学校教育課	一般	R5	153,897	R4	147,628			
	(4)	生徒等保健事業	学校教育課	一般	R5	12,110	R4	12,127			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	関係機関との連携による青少年非行防止啓発活動の実施	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(3)	小中学校による非行防止教室等の実施									
指標	少年人口1,000人当たりの刑法犯少年数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↘	2.3 (実績)	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、地域や協力団体と連携して継続的に啓発を行った。また、各小中学校でも非行防止教室を実施するなど、青少年の健全育成に取り組んだ。今後も学校や警察、地域との連携により、青少年の非行防止の推進を図る。					

優先度	施策②【若者支援の充実や次代の親の育成】										
○	地域の様々な活動への若者の参加を促すための取組を推進するほか、就労支援等の相談体制を充実します。成長段階に応じたキャリア教育を充実させるとともに、児童・生徒の発達段階に応じて男女の平等や相互の理解と協力について適切に指導を行います。										
事業	(1)	青少年健全育成事業	子育て支援課	一般	R5	916	R4	936			
	(2)	教育指導実践事業	学校教育課	一般	R5	52,471	R4	51,486			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	自治会等との協働による若者の地域活動参加機会拡充のための支援	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(2)	中学生を対象としたキャリア教育の実施									
指標	地域活動へ参加している30歳代までの市民の割合 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	26.0	-	27.0	-	28.0	-
						(実績)	-	20.5			
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：現状維持】 新型コロナウイルスの影響が長期化し、自治会等における活動が停滞していることもあり、若者が社会とつながりを持つための具体的な支援は実施に至らなかった。ただし、主任児童委員が主体となり、中学校や地域子育て支援拠点と連携した「赤ちゃん抱っこ体験」は東中学校及び北中学校でオンライン形式で実施し、命の大切さを学ぶ機会を提供することができた。今後も学校や地域との連携により若者支援の充実に取り組む。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 8 市民参加の促進

【説明】 地域・学校・家庭が連携して青少年非行防止の啓発活動を実施し、市民と一体となった活動を促進します。

1 子ども ～子どもたちが健やかに成長する 学びのまち～

1-2 乳幼児期における支援の充実

1-2-1 乳幼児期における支援の充実



優先度 施策①【就学前の教育・保育の充実】											
◎	幼稚園、保育園、小学校などの関係者の連携・交流に取り組みます。待機児童ゼロを維持するため、認可保育施設の定員の見直しに取り組むとともに、教育・保育の質の向上に取り組みます。										
事務事業	(1)	公立保育園事業	保育課	一般	R5	395,132	R4	380,802			
	(2)	民間保育園事業	保育課	一般	R5	199,759	R4	190,151			
	(3)	幼児教育振興事業	保育課	一般	R5	429	R4	429			
	(4)	幼稚園事業	保育課	一般	R5	335,395	R4	359,057			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	保育ニーズを把握し、状況に応じた認可保育施設の定員の拡充・見直し		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
	(3)	幼児教育振興懇談会を中心とした研修会や幼保小三者連絡会の開催									
指標	待機児童数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	6	0	0	0	0	0
						(実績)	0	0			
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 令和4年度は、前年度に引き続き待機児童0人を達成することができた。新型コロナウイルス感染症の拡大以前の状況に戻つつある中、保育需要の増大が見込まれることから、引き続き施設利用のニーズを注視しながら既存施設の定員設定の見直し等の対応を検討する。幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて、引き続き幼保小の協働を推進する。					

優先度 施策②【多様な保育サービスの提供】											
○	保護者等に対するきめ細かな情報提供や、保護者のニーズに応じた保育サービスを充実させることにより、多様な保育環境の整備を推進します。										
事務事業	(1)	公立保育園事業	保育課	一般	R5	395,132	R4	380,802			
	(2)	民間学童保育事業	保育課	一般	R5	247,130	R4	196,022			
	(3)	子どものための教育・保育給付事業	保育課	一般	R5	1,770,493	R4	1,710,234			
	(4)	公立学童保育事業	保育課	一般	R5	180,222	R4	176,523			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	延長保育や病児保育、一時保育など保護者のニーズに応じた保育サービスの実施		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
	(2)	民間学童保育施設の整備に対する補助									(2)
指標	公立保育園延長保育利用児童数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	141	145	145	150	150	155
						(実績)	122	120			
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 在宅勤務の増加等により延長保育の利用は一時的に減少したが、仮に新型コロナウイルス感染症が収束した場合には、利用者の増加も見込まれる。ニーズに対応するための保育環境は整っているため、引き続き適切な保育の提供を推進する。また、学童保育事業については、小学校児童数の推移を注視しつつ学童保育のニーズ把握を継続して行う。					

優先度	施策③【食育の推進】										
	郷土の味覚や食の大切さを見直す機会を創出するとともに、食の大切さや栄養バランスについて学びます。食育だよりの配布などを通じて正しい食の知識の習得を支援します。										
事業	(1)	公立保育園事業	保育課	一般	R5	395,132	R4	380,802			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】						
	(1)	野菜作りや食事作り体験など、食に関する行事の実施 食育だよりを各家庭に配信	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	公立保育園食育推進事業実施回数（回）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	50 (実績)	54 60	58 66	62	66	70
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	3	1	2	B	【今後の方向性：現状維持】 園児が育てた野菜を調理して食べたり、災害食を体験したりと、各園で特色を活かした事業を展開することができた。これまで紙で配布していた給食だよりをアプリを活用した配信に切り替えるなど、効率性を高めながら、引き続き、望ましい食習慣や正しい食の知識の習得に取り組む。					

優先度	施策④【歩育の推進】										
	幼少期に経験させたい運動遊びを、保育園・幼稚園の日常保育の中に取り入れるとともに、日本スリーデーマーチで実施する歩育事業への参加を保育施設に呼びかけ、歩くことを通じて子どもの発達や成長を促進します。										
事業	(1)	保育管理事業	保育課	一般	R5	2,885	R4	1,474			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】						
	(1)	日本スリーデーマーチにおける保育園・幼稚園の児童を対象とした歩育事業の実施	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	日本スリーデーマーチで実施する歩育事業へ参加する保育施設数（園）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	0 (実績)	13 15	16 16	19	22	25
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	3	2	3	B	【今後の方向性：現状維持】 日本スリーデーマーチが通常開催に戻ったことで参加施設が令和3年度よりも増加し、目標を達成することができた。引き続き施設に対して参加を促し、歩くことを通じて子どもたちの発達や成長を促進する。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり
推進項目10 民間の活力やノウハウの活用

【説明】 多様化する保育需要に適切に対応し、保育サービスを向上させるため、指定管理者制度等の民間活力を活用します。

1 子ども ～子どもたちが健やかに成長する 学びのまち～

1-3 学校教育の充実

1-3-1 学校教育の充実



優先度 施策①【確かな学力の確立】											
◎	きめ細かな指導を充実させるとともに、主体的に問題解決するための思考力、判断力、表現力などが身に付く教育を実践します。時代の変化に対応できる能力を育成するための学習環境を整備し、情報教育と国際理解教育を推進します。										
事業	(1)	教育指導事業	学校教育課	一般	R5	153,897	R4	147,628			
	(2)	奨学資金交付事業	学校教育課	一般	R5	5,427	R4	5,427			
	(3)	就学支援事業	学校教育課	一般	R5	115,186	R4	118,835			
	(4)	児童生徒就学事業	学校教育課	一般	R5	2,024	R4	2,021			
	(5)	コンピュータ活用事業	学校教育課	一般	R5	82,100	R4	100,508			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	すいいかあ職員、小中一貫教育支援教員の配置	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
(5)	ICT端末を活用した授業の推進										
指標	全国学力・学習状況調査の全国平均に対する換算値		方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7		
					小6国	48.6	49.1	49.4	49.7	50.0	50.3
					(実績)	47.1	50.3				
					小6算	47.3	48.3	48.8	49.3	49.8	50.3
					(実績)	47.0	49.8				
					中3国	49.5	49.7	49.9	50.1	50.3	50.5
(実績)	49.5	48.6									
中3数	47.7	48.5	48.9	49.3	49.7	50.1					
(実績)	47.7	46.7									
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 小学校の各指標においては、全国平均を上回ることができたが、中学校では、様々な知識を関連させながら解く問題の正答率が低く、各指標において全国平均を上回ることが出来なかった。今後も引き続き、基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力などの能力、主体的に学習に取り組む態度を養い、確かな学力の確立を図る。					

優先度 施策②【社会性が身に付く教育の実践】											
○	児童・生徒の豊かな心の育成に取り組むとともに、健やかな体を育成するための指導の工夫改善を進めます。小・中学校9年間の学びと育ちの連続性を重視した教育を推進します。										
事業	(1)	教育指導事業	学校教育課	一般	R5	153,897	R4	147,628			
	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
主な取組	(1)	東松山市道徳スタンダードの活用等による指導の充実	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(1)	「東松山の子どもたちはこれができる」の全教室掲示による指導の徹底									
指標	埼玉県学力・学習状況調査質問紙調査における「規律ある態度」達成項目割合(%)		方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7		
					小学校	94.0	96.0	97.0	98.0	99.0	100
					(実績)	84.4	83.2				
					中学校	94.0	96.0	97.0	98.0	99.0	100
					(実績)	89.9	88.3				
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：現状維持】 目標の97%に対し、小・中学校ともに数値が下回った。「整理整頓 78.9%」「話を聞き発表する 77.2%」の項目の未達成が目立つため、今後も学校と家庭が連携し、子どもたちが自立するための基礎となる力を育成する。					

優先度	施策③【教員の資質・能力の向上】										
○	経験年数に応じた指導、研修体制を充実させ、教員の指導力向上に取り組みます。各学校の実態に応じ、校内研修を実施するとともに、教職員自己評価、学校自己評価を活用して質の高い学校教育を実現します。										
事務事業	(1)	教育指導事業	学校教育課	一般	R5	153,897	R4	147,628			
	(2)	教育指導実践事業	学校教育課	一般	R5	52,471	R4	51,486			
	(3)	小学校指導事業	学校教育課	一般	R5	3,115	R4	2,878			
	(4)	中学校指導事業	学校教育課	一般	R5	1,248	R4	3,114			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	指導訪問・支援訪問をはじめとする研究授業の充実	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施				
(2)	「授業チェックシート」を活用した管理職の指導										
指標	埼玉県学力・学習状況調査における前年度より学力が伸びた児童・生徒割合 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				小学校	↗	68.2	70.2	71.2	72.2	73.2	74.2
						(実績)	75.1	66.7			
				中学校	↗	66.4	68.4	69.4	70.4	71.4	72.4
(実績)	67.8	70.6									
と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：現状維持】 学習用端末を活用した授業づくりなどの研修の実施等により、中学校では目標値を超える数値となったが、小学校では目標値を下回った。質の高い学校教育を実現し、子どもたちの学力の向上を図るため、引き続き、教職員の経験年数に応じた研修体制を充実させ、教員の指導力向上に取り組む。					

優先度	施策④【相談体制の充実】										
○	教育相談体制の充実に取り組むとともに、学校と家庭や地域、関係機関との連携を一層強化します。いじめ等の問題行動や不登校の防止対策を推進します。										
事務事業	(1)	教育指導事業	学校教育課	一般	R5	153,897	R4	147,628			
	(2)	児童等保健事業	学校教育課	一般	R5	23,232	R4	23,354			
	(3)	生徒等保健事業	学校教育課	一般	R5	12,110	R4	12,127			
	(4)	教育相談事業	学校教育課	一般	R5	22,621	R4	22,437			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	生徒指導専門職員、スクールソーシャルワーカーによる、より適切な指導に向けた指導助言の実施	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施				
(1)	「学校生活アンケート」の活用										
指標	不登校からの復帰割合 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				小学校	↗	25.0	34.0	38.0	42.0	46.0	50.0
						(実績)	37.5	未			
				中学校	↗	18.3	23.0	26.0	29.0	32.0	35.0
(実績)	47.9	未									
と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を支援するため、今後も適切な指導助言を行うための専門性を、より一層高める。また、関係機関との連携も図りながら教育相談体制の強化に継続して取り組む。					

行政改革の視点



視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を実現するため、近隣大学をはじめとした地域の教育力を活用するなど、市民・事業者との協働を推進します。

1 子ども ～子どもたちが健やかに成長する 学びのまち～

1-3 学校教育の充実

1-3-2 教育環境の整備



優先度 施策①【安心で快適な学習環境づくり】											
◎	予防保全の考え方に基づいた維持管理を徹底し、安全で長く使用できる環境を整えます。老朽化対策や非構造部材の耐震化を計画的に進めるとともに、快適な学習環境づくりを進めます。										
事業	(1)	教育総務事業	教育総務課	一般	R5	1,306	R4	1,273			
	(2)	学校整備事業	教育総務課	一般	R5	154,517	R4	193,102			
	(3)	学校教育事業	教育総務課	一般	R5	39,933	R4	38,514			
	(4)	学校保守管理事業	教育総務課	一般	R5	413,538	R4	273,859			
	(5)	教育委員会事業	教育総務課	一般	R5	3,493	R4	3,250			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(2)	点検結果に基づく学校施設の維持管理	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
(4)	有資格者等による学校施設の点検										
指標	有資格者による施設点検を実施した学校数（校）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	5 (実績)	10	16	16	16	16
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	3	2	3	B	【今後の方向性：現状維持】 有資格者による施設点検について、計画どおり小・中学校6校の点検を実施し、3年間で16校の点検を完了した。引き続き定期的な施設点検を行い、老朽化状況等を把握するとともに、施設水準の維持や老朽化対策等について、他自治体の先進事例や各点検業務の効率的で効果的な手法を研究・導入することで、安心で快適な学習環境を確保する。					

優先度 施策②【地域に根ざした学校づくり】											
○	「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」と、「地域学校協働活動」を一体的に推進します。学校に対する多様な協力活動や地域住民の参画など、学校と地域が連携、協働できる仕組みを確立します。										
事業	(1)	教育指導実践事業	学校教育課	一般	R5	52,471	R4	51,486			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	学校応援コーディネーターの活用の促進	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
(1)	各学校の学校応援団の活動を把握し、円滑な活動に必要な支援を実施										
指標	学校応援団活動延べ日数（日）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	3,163 (実績)	3,193	3,208	3,223	3,238	3,253
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	3	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校における学習活動等の事業が縮小しているため、目標値を下回っているが、今後も感染症への対策を取りながら、学校に対する多様な協力活動や地域住民の参画など、学校と地域が連携、協働できる仕組みを活かした取組を実施する。					

優先度	施策③【学校給食の充実】										
○	衛生管理を徹底し、調理環境の整備に取り組みます。児童・生徒や保護者に食の大切さを指導するとともに、地域の食材への愛着や理解が深まるよう地場産物の活用を推進します。										
事業	(1)	学校給食費管理事業	教育総務課	一般	R5	5,078	R4	3,737			
	(2)	学校給食事業（直営分）	教育総務課	一般	R5	103,852	R4	75,571			
	(3)	学校給食運営事業	教育総務課	一般	R5	309,946	R4	277,099			
	(4)	学校給食事業（委託分）	教育総務課	一般	R5	268,898	R4	252,603			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(2)	地場産物の活用	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施				
	(3)	食に関する指導、試食会の実施									
指標	学校給食に使用した東松山市産の食材の割合（重量ベース）（％）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	31.3	31.5	32.0	32.5	33.0	33.5
					(実績)	18.6	36.3				
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 地元野菜を積極的に取り入れた献立にすることで、新鮮で安全な学校給食を提供できた。引き続き農協と綿密に調整や連絡を行うことにより、令和5年度以降も東松山市産食材割合の向上を図る。また、施設の計画的な点検を通じて不具合の発生を予防するとともに、調理業務の委託化など学校給食センターの在り方について継続して検討し、安心安全な給食の提供につなげる。					

行政改革の視点



視点 I 健全な財政運営の推進

推進項目 3 公共施設等のアセットマネジメント

【説明】 公共施設の適正な維持管理のため、平成30年度に策定した学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設の計画的な改修・修繕を実施します。

まちづくりの柱2(健康福祉の分野) 誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち

医療や福祉、介護などの連携を進めるとともに、幅広い世代で健康づくりに取り組み、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも心も身体も健康で自分らしく輝ける健康長寿のまちを目指します。



2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～

2-1 健康づくりの推進

2-1-1 健康づくりの推進



優先度	施策①【ウォーキングによる健康づくりの推進】									
	「ウォーキング」を健康づくりの柱に位置付け、市民の健康づくりを推進します。「心のこもった地域福祉プロジェクト2020」と連携し、ウォーキングの更なる普及と市民の健康増進に取り組みます。									
事業	(1) 健康づくり推進事業	健康推進課	一般	R5	6,034	R4	913			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1) 健康マイレージへの参加勧奨を実施	➤	健康マイレージから新たなウォーキング事業への移行	➤	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	コバトン健康マイレージ参加者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	2,634 (実績)	3,000	3,200	3,350	3,450	3,500
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	3	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 令和4年7月にスポーツ課と連携し、コバトン健康マイレージ受付窓口および体力測定を実施した。今後も市民が参加しやすいウォーキング事業を実施し、健康づくりを推進する。なお、令和6年3月で県コバトン健康マイレージが終了となるが、引き続き埼玉県の取組を注視しながら事業の継続を検討する。				

優先度	施策②【健康づくりと疾病予防の取組】									
	ライフステージに応じた健康づくりを推進します。出生前から乳幼児期まで継続した支援を行い、育児不安の軽減や子育て支援を充実します。高齢期については、健康診査の受診促進等に取り組み、健康長寿社会の実現を目指します。									
事業	(1) 保健センター管理運営事業	健康推進課	一般	R5	34,844	R4	84,444			
	(2) 健康推進組織事業	健康推進課	一般	R5	384	R4	323			
	(3) 母子保健事業	健康推進課	一般	R5	78,035	R4	85,574			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(3) 各種健診（検診）の受診勧奨	➤	令和5年度の取組を継続して実施	➤	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	乳児健診の受診率（%）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	95.2 (実績)	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 各種健診の未受診者に対しては個別通知や電話、訪問による受診勧奨を実施するなど、市民の疾病予防に取り組んだ。今後も受診勧奨等により健診受診率を向上させるなど、市民の生活習慣病の予防や心身の健康の保持増進に取り組む。				

優先度	施策③【歯科口腔保健の推進】									
	歯と口の健康を保持増進することにより、健康寿命の延伸に取り組めます。比企都市歯科医師会と連携し、ライフステージ別の取組を推進します。									
事業	(1)	成人保健事業	健康推進課	一般	R5	51,438	R4	49,236		
	(2)	母子保健事業	健康推進課	一般	R5	78,035	R4	85,574		
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	歯科保健事業の機会を通じて定期的な歯科健診の重要性を周知	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
(2)	乳幼児のむし歯予防対策としてフッ化物塗布事業を実施									
指標	大人のための健康歯援プログラム参加者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	68 (実績)	75 96	81 131	87	94	100
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	3	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 来所を必要としない簡易版の活用促進により、大人のための健康歯援プログラムの参加者が増加傾向にある。今後も健診の方法や周知方法を工夫することで歯科健診の受診率を向上させ、市民の歯と口の健康の保持増進に継続して取り組む。				

優先度	施策④【食育の推進】									
	関係団体と連携しながら、市民自らが正しい知識と望ましい食習慣を習得できるよう食育を推進します。									
事業	(1)	健康づくり推進事業	健康推進課	一般	R5	6,034	R4	913		
	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
主な取組	(1)	「血液サラサラ」をテーマとしたリーフレットの配布及び栄養教室の開催	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
	(1)	関連各課と連携し、食育活動を実施								
指標	健康づくりのために食事に気を付ける市民の割合（％）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	68.6 (実績)	- -	69.0 64.4	-	70.0	-
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	3	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 新型コロナウイルス感染症の影響下において、調理実習に代えて栄養講座と運動指導のセット教室や、個別栄養相談、オンライン相談窓口などを実施した。目標値に達することができなかったが効果は徐々に表れるものと考えている。今後も食育に関する各種教室の開催や相談窓口の開設による情報発信を継続し、市民への食育を推進する。				

優先度	施策⑤【がん検診等の推進】										
○	市民の生活習慣病の予防及びがんの早期発見に向け、各種がん検診等の受診率の向上に取り組みます。がん患者や家族が抱える不安や精神的負担の軽減を図るため、相談体制の充実に取り組みます。										
事業	(1)	成人保健事業	健康推進課	一般	R5	51,438	R4	49,236			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	各種健診（検診）の受診率向上のためのPR、精密検査未受診者への受診勧奨	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	がん検診（大腸がん）受診率（%）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	4.9 (実績)	5.1 3.8	5.3	5.5	5.7	5.9
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 保険年金課の健診事業と連携して検診を実施することで受診者の増加を図っているものの、新型コロナウイルス感染症拡大による受診控え等が受診率の低下に影響していると考えます。今後は、若い世代の受診者の増加も視野に入れ、個別通知やSNSの活用などの受診勧奨に引き続き取り組む。					

優先度	施策⑥【感染症対策の充実】										
◎	対応マニュアルや業務継続計画を整備するとともに、感染症の状況に関する情報共有や検査等に関する支援体制の仕組みを整えます。予防、感染拡大防止に必要な行動や知識についての普及啓発に取り組みます。										
事業	(1)	予防接種事業	健康推進課	一般	R5	313,468	R4	300,527			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	感染症予防対策に関する普及啓発	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	感染症対策に取り組んでいる市民の割合（%）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	- (実績)	- -	91.0 95.1	-	92.0	-
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 市のホームページや防災行政無線等を活用し、国や県からの情報を踏まえながら、感染予防や感染拡大防止に必要な情報を発信し、感染症対策の普及啓発を行った。今後も感染状況に応じた正確な情報を市民に継続して提供する。					

行政改革の視点



視点Ⅱ 効率的な行政運営と組織力の向上
推進項目7 職員の意識改革と人材育成

【説明】 市民ニーズを的確に把握した質の高い行政サービス提供のため、健診（検診）や相談業務において適切な保健指導等ができるよう、職員の意識改革と人材育成に取り組みます。

2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～

2-2 保健・医療の充実

2-2-1 保健・医療体制の充実



優先度 施策①【医療・福祉・介護の連携強化】											
◎ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の充実を進めるとともに、比企地区在宅医療・介護連携推進協議会や多職種連携研修を通じて関係者の連携を強化します。総合的な支援を行う地域包括支援センターの機能強化に取り組みます。											
事業	(1)	在宅医療・介護連携推進事業	高齢介護課	一般	R5	16,005	R4	16,007			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	医療と介護の専門職の情報共有を円滑化するための関係づくり	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施			
	(1)	在宅医療に関する支援窓口の周知									
指標	在宅医療連携拠点相談件数（件）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	242 (実績)	280 201	300 167	320	340	360
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 比企地区9市町村で進める在宅医療・介護連携推進事業では協議会を設置し、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の充実に向け、課題抽出や対応策の検討を行ってきた。 引き続き、比企地区9市町村で協力し、地域住民が医療や介護が必要になった場合に適切な医療・介護サービスを選択できるよう、医療・介護関係者間の円滑な情報共有を図る等、連携体制を強化する。					

優先度 施策②【医療機関同士の連携強化】											
○ 市内及び近隣医療機関が各々の機能の明確化と病院間の連携を推進することで、最適な地域医療提供体制の確保に取り組みます。地域包括ケアシステムを一層充実させます。											
事業	(1)	救急医療体制事業	健康推進課	一般	R5	71,427	R4	70,144			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	救急医療の実施（日曜、祝日等の救急医療、平日準夜間の小児救急医療、病院群輪番制、休日・夜間診療所、休日歯科診療・コンビニエンスストアへAED設置）	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	連携医療機関数				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	7 (実績)	7	7	7	7	7
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 現在7か所の医療機関が連携し、地域の救急医療体制を確保している。今後も埼玉県の「地域医療構想」に係る協議会を通じて市内及び近隣医療機関の機能の明確化と連携を推進し、最適な地域医療の提供体制の確保に取り組む。					

優先度	施策③【かかりつけ医の普及と適切な医療機関情報の提供】										
○	比企医師会と連携し、かかりつけ医の役割の重要性について普及啓発に取り組むとともに、症状や容態に応じて適切な医療を受けられる環境の整備に取り組みます。										
事業	(1)	救急医療体制事業	健康推進課	一般	R5	71,427	R4	70,144			
	(2)	献血推進事業	健康推進課	一般	R5	660	R4	660			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】						
	(1)	救急医療の実施（日曜、祝日等の救急医療、平日準夜間の小児救急医療、病院群輪番制、休日・夜間診療所、休日歯科診療・コンビニエンスストアへAED設置）	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	かかりつけ医を持つ市民の割合（%）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	72.3 (実績)	-	73.0	-	74.0	-
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 高齢化や新型コロナウイルス感染症の流行などにより増加している医療需要に対応するため、身近にある「かかりつけ医」の重要性について、窓口や健康相談において継続して周知活動を行う。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 高齢者が在宅生活を継続できるよう、事業者との協働を推進し、医療と介護の連携ネットワークを拡充します。

2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～

2-2 保健・医療の充実

2-2-2 市民病院の充実



優先度 施策①【診療体制の充実と連携・機能分化の推進】											
◎ 常勤医師の確保により、診療体制の充実を目指します。それに伴い救急診療体制を見直し、救急搬送患者受入数の増加に取り組みます。市民病院の急性期機能の強化を図り、近隣医療機関との連携と機能分化を推進します。											
事業	(1)	病院事業	市民病院	一般	R5	4,349,839	R4	3,750,102			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	内科及び外科を中心とした常勤医師の確保		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
	(1)	救急診療体制の充実									
	(1)	脳卒中・神経難病等の急性期機能の高度専門化									
(1)	一般急性期病床36床の増		-	-			-	-			
指標	常勤医師数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	14	—	22	23	24	25
	救急搬送患者受入数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	903	—	960	1,200	1,300	1,300
				(実績)	814	1,306					
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	0	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 常勤内科医師の増員により、患者数・医業収益ともに回復傾向であり、新型コロナウイルス感染症の影響についても、診療体制に影響を及ぼしている。救急搬送の受入件数は、救急輪番日の増、救急専門医・救急救命士の採用などの見直しを図り、令和3年度実績を大きく上回る状況である。今後についても、主な取り組みを中心とした診療体制の充実を進める。					

優先度 施策②【経営の適正化の推進】											
○ 新たな市民病院経営強化プランに基づき、医業収支比率及び経常収支比率の向上を目指すとともに、患者満足度を向上させ、新規患者の獲得を目指します。											
事業	(1)	病院事業	市民病院	一般	R5	4,349,839	R4	3,750,102			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	経営強化プランの実行及び進捗管理		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	医業収支比率（%）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	80.8	83.6	89.1	92.2	93.2	96.1
	経常収支比率（%）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	91.7	94.4	99.5	97.9	99.3	102
				(実績)	117.3	未					
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	0	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 国から示されたガイドラインに基づき新たな中期経営計画となる「経営強化プラン」の策定について、埼玉県川越比企地域医療構想調整会議の協議やパブリックコメントの手続きを経て策定の運びとなった。今後は、プラン内の個別アクションプラン（事業目標）により各科の行動計画を進め、経営力強化を進める。					

優先度 施策③【医療と介護分野との連携推進】											
入退院支援及び、在宅復帰支援体制の充実により、介護施設等との連携を推進します。在宅患者等の急変に対応できる救急受入体制を整備します。											
事業	(1)	病院事業	市民病院	一般	R5	4,349,839	R4	3,750,102			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	入・退院支援体制の強化		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
(1)	地域の回復期機能病院や高齢者施設との連携強化										
指標	在宅復帰率（%）【暫定値】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	86.8 (実績)	— 91.9	85 89.7			
指標	地域包括ケア病床稼働率（%）【暫定値】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	77.9 (実績)	— 27	80 40			
新指標	連携施設数				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	18 (実績)			20	22	22
新指標	施設への退院患者数				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	84 (実績)			90	100	110
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	0	2	B	<p>【今後の方向性：拡大・充実】</p> <p>令和4年度より本格運用となった「患者総合支援センター」では、日々、患者の入退院に関するトータルサポートと在宅復帰に向けた支援を進めている状況である。今後は、新たに策定した「経営強化プラン」内の個別アクションプランにより、地域の回復期病院や介護施設等との連携を強化し、地域完結型の医療提供体制構築に取り組む。</p> <p>《新指標について》</p> <p>2022年度診療報酬改定にて、地域包括ケア病床（12床）の要件が厳格化され、非該当となり一般病床へ転換となったため、地域連携構築に必要な新たな指標を設定した。</p>					

優先度	施策④【施設及び各種医療機器の安全性と性能の向上】									
	本館の施設や設備類について、計画的に改修を行うことで施設の安全性向上に取り組みます。老朽化した高度医療機器の更新検討を行い、より安全で高度な医療を提供します。									
事業	(1) 病院事業	市民病院	一般	R5	4,349,839	R4	3,750,102			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 本館受電設備等更新工事	(1) 吸収冷凍機の更新								
	(1) 5階感染症病棟の改修	—	—	—	—	—	—	—		
	(1) MRI等高度医療機器の導入・更新検討	➤ 令和5年度の取組を継続して実施	➤ 令和6年度の取組を継続して実施							
	(1) 外来駐車場用地取得・整備（病院西側）									
指標	一般病床稼働率（％）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	73.3 (実績)	74.9 76.2	87.6 80.9	95.5	90	90
	高度医療機器稼働率（％）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	81.8 (実績)	— 98.3	98 107.3	100	100	100
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	0	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 病院施設及び医療機器の老朽化対応として、受変電設備・高度医療機器の更新を計画どおり進めることができました。今後においても、新たに策定した「経営強化プラン」内の個別アクションプランにより、機能分化を進めるうえで急性期機能の高度専門化に必要な施設改修と医療機器の更新を進める。				



行政改革の視点

視点 I 健全な財政運営の推進

推進項目 5 健全な公営企業経営

【説明】 地域住民が常に安心して医療を受けられるよう、時間外救急医療を拡大することを目標とします。

2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～

2-3 地域福祉と社会保障の充実

2-3-1 地域福祉の推進



優先度 施策①【地域社会のネットワーク化の推進】											
◎	「心のこもった地域福祉プロジェクト2020」の一環として、地域福祉コーディネーターとの連携強化に取り組みます。分野を超えて横断的に意見交換できる場を設置し、地域社会のネットワーク化を進めます。										
事業	(1) 福祉総務事業		社会福祉課	一般	R5	9,326	R4	9,305			
	(2) 災害援護事業		社会福祉課	一般	R5	320	R4	320			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	第二次地域福祉計画に基づく事業展開及び第三次地域福祉計画策定に係るアンケート調査の実施 避難行動要支援者避難支援プランに基づく事業の実施		>	第二次地域福祉計画に基づく事業展開及び第三次地域福祉計画策定 避難行動要支援者避難支援プランに基づく事業の実施		>	第三次地域福祉計画に基づく事業展開 避難行動要支援者避難支援プランに基づく事業の実施			
指標	地域福祉に関する意見交換会の開催数（回）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	42 (実績)	42 49	42 44	42	42	42
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	3	4	2	3	B	【今後の方向性：現状維持】 避難行動要支援者に係る個別避難計画について、763人の計画を作成した。今後は、ハザードエリア内の方から優先的に、福祉専門職と連携して計画作成を進める。また、第二次地域福祉計画に係る事業の進捗管理を実施する。					

優先度 施策②【関係団体の活動支援】											
	自治会や民生委員・児童委員協議会などの地域活動を支援するとともに、「あんしん見守りネットワーク」や「支え合いサポート事業」における取組を充実させ、日常生活上の支援が必要な高齢者等を地域で支える体制を強化します。										
事業	(1) 民生委員事業		社会福祉課	一般	R5	18,153	R4	18,504			
	(2) 福祉センター事業		高齢介護課	一般	R5	53,457	R4	52,983			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	民生・児童委員や地域福祉協力員への支援		>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	支え合いサポーター登録者数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	108 (実績)	110 154	115 153	120	125	130
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 地域の自治会、民生委員、地域福祉コーディネーター、地域包括支援センター等で構成される第2層協議体を継続的に開催し、連携強化を図っている。「あんしん見守りネットワーク」や「支え合いサポート事業」について周知を図り、引き続き、日常生活上の支援が必要な高齢者等を地域で支える体制を強化する。					

優先度	施策③【地域福祉の担い手の育成】									
	地域福祉コーディネーターや生活支援コーディネーターの資質向上に向けた研修を充実させます。様々な分野においてボランティアが継続的に活動へ参画できる仕組みを整備し、地域福祉の担い手の確保・育成に取り組みます。									
事業	(1) 社会福祉協議会交付事業	社会福祉課	一般	R5	-	R4	-			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 地域福祉コーディネーターの支援	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	人材育成研修の参加者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	175 (実績)	175	175	175	175	175
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	3	3	4	A	【今後の方向性：現状維持】 年間を通じて研修会を開催し、参加者366人となり、目標を達成することができた。今後も研修を実施し、民生・児童委員や地域福祉協力員のスキルの向上を図るとともに地域福祉の担い手の確保・育成に取り組む。				

優先度	施策④【権利擁護の推進】									
○	権利擁護に関する制度や事業などの情報を積極的に周知し、成年後見制度の利用を促進します。虐待防止に向けて、相談体制の充実や関係機関との連携体制を構築するとともに、当事者を含めた関係者への啓発活動を推進します。									
事業	(1) 福祉総務事業	社会福祉課	一般	R5	9,326	R4	9,305			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 成年後見制度の周知、利用促進	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	成年後見センター相談件数（件）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	123 (実績)	125	130	135	140	145
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	3	4	2	3	B	【今後の方向性：現状維持】 成年後見制度について、ホームページや広報紙で周知を図ったことにより、成年後見センターに対して259件の相談があり、目標を達成することができた。今後は、権利擁護支援を図るため、成年後見センターの機能拡充を検討する。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 研修会の実施や団体への支援を行う等、市民・事業者との協働を推進し、地域活動を担う人材の育成や団体の活性化を図ります。

2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～

2-3 地域福祉と社会保障の充実

2-3-2 社会保障の充実



優先度 施策①【生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度の適正な運営】										
◎	生活困窮者自立支援制度と生活保護制度を適切に連動させ、自立支援につなげるとともに、不正受給防止の取組等を通じ、公平な制度運営を維持します。									
事務事業	(1) 生活保護事業	社会福祉課	一般	R5	2,188,475	R4	2,115,556			
	(2) 生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	一般	R5	16,995	R4	46,248			
	(3) 行旅病人死亡人事業	社会福祉課	一般	R5	222	R4	221			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 不正防止のための取組 (2) 自立相談支援事業の実施	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	就労等による自立者数（人）【累計】			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	21 (実績)	20 31	40 78	60	80	100
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	3	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 生活保護受給者に対する就労支援では、令和4年度の就労等による自立者数は47人(26世帯)、累計78人(46世帯)で目標を達成することができた。引き続き、生活困窮者の自立に向けた支援を継続する。				

優先度 施策②【国民健康保険制度の安定的運営】										
○	国民健康保険税の納期内納付の促進、滞納案件の早期解消に取り組みます。糖尿病等の生活習慣病を予防するため、様々な手段を講じて特定健康診査の受診率を向上させ、医療費の適正化を推し進めます。									
事務事業	(1) 国民健康保険総務事業	保険年金課	特会	R5	36,336	R4	34,782			
	(2) 保険給付事業	保険年金課	特会	R5	6,157,032	R4	6,319,471			
	(3) 納付金事業	保険年金課	特会	R5	2,421,664	R4	2,475,651			
	(4) 財政安定化基金拠出金事業	保険年金課	特会	R5	1	R4	1			
	(5) 保健事業	保険年金課	特会	R5	148,894	R4	148,732			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(3) 埼玉県国民健康保険運営方針に則した円滑な事業運営 (5) 国民健康保険保健事業実施計画に基づく事業の実施	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	特定健康診査受診率（%）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	37.7 (実績)	38.0 37.1	38.5 暫定値40.0	39.0	39.5	40.0
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	4	A	【今後の方向性：現状維持】 特定健診の自己負担を令和4年度から無料としたことなどにより、令和5年3月末時点での暫定受診率は40.0%となり、目標を達成することができた。引き続き保健事業の推進により医療費の適正化を図り、安定的な制度運営を進める。				

優先度	施策③【後期高齢者医療制度の安定的運営】									
	制度の実施主体である埼玉県後期高齢者医療広域連合と連携し、医療費の適正化を進めるとともに、保険料の収納確保に取り組めます。									
事業	(1) 後期高齢者医療事業	保険年金課	特会	R5	1,342,370	R4	1,252,379			
	(2) 後期高齢者医療事業（一般）	保険年金課	一般	R5	944,735	R4	928,040			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 後期高齢者医療広域連合との連携による健全な制度運営 (2) 後期高齢者医療広域連合から受託した事業の実施	>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	後期高齢者医療保険料収納率（現年賦課分）（%）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	99.3 (実績)	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 令和5年4月処理時点での納期到来済み現年賦課分収納率は99.3%となり、比較的高い収納率を維持する。コンビニ収納やスマホ決済等の新たな納付方法の導入準備を行うとともに、引き続き保険料の収納確保に取り組み、安定的な制度運営を進める。				



行政改革の視点

視点Ⅱ 効率的な行政運営と組織力の向上

推進項目7 職員の意識改革と人材育成

【説明】

市民が安定的な生活を送れるような支援を実施するため、制度説明や情報提供に対する職員の意識改革を図ります。

2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～

2-4 高齢者福祉の充実

2-4-1 高齢者支援の充実



優先度 施策①【いきがづくりと社会参加の推進】											
「心のこもった地域福祉プロジェクト2020」を通じて、いきがづくりと社会参加を促進します。高齢者向けサロンやシニアクラブなどの活性化を促すとともに、シニア向け就職説明会を開催するなど雇用とのマッチングの機会を提供します。											
事務事業	(1)	生活支援体制整備事業	高齢介護課	特会	R5	14,602	R4	14,602			
	(2)	敬老事業	高齢介護課	一般	R5	10,584	R4	10,738			
	(3)	シニアクラブ・憩いの家事業	高齢介護課	一般	R5	7,646	R4	7,544			
	(4)	シルバー人材センター補助事業	高齢介護課	一般	R5	10,000	R4	10,000			
主な取組	【令和5年度の取組】				【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	サロン活動の支援		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	高齢者サロンの数				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	83 (実績)	84 83	85 82	86	87	88
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 高齢者のいきがづくりと社会参加を促進するため、高齢者向けサロンやシニアクラブへの支援、シルバー人材センターへの支援を実施した。社会福祉協議会によるサロン活動支援やシニアクラブ、シルバー人材センターへの補助金交付による支援を引き続き実施し、高齢者の社会参加を促進する。					

優先度 施策②【健康づくりと介護予防の推進】											
◎ 各種教室の開催やシニアボランティアポイント制度の充実などを通じ、高齢者の健康づくりと介護予防を推進します。「いきいきパス・ポイント事業」により健康寿命の延伸に取り組みます。											
事務事業	(1)	介護予防・生活支援サービス事業	高齢介護課	特会	R5	195,428	R4	215,526			
	(2)	一般介護予防事業	高齢介護課	特会	R5	14,014	R4	13,582			
	(3)	在宅高齢者サポート事業	高齢介護課	一般	R5	27,599	R4	27,486			
	(4)	市民健康増進センター事業	高齢介護課	一般	R5	50,015	R4	49,411			
主な取組	【令和5年度の取組】				【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(2)	シニアボランティアポイント制度の推進		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	シニアボランティア登録者数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	492 (実績)	520 520	550 527	580	610	640
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 シニアボランティア事業、「みんなきらめけ！！ハッピー体操」、「いきいきパス・ポイント事業」の普及・促進により、高齢者の外出機会の増加を図った。 令和4年度に開催した「シニアのための今を「豊か」に”こころ”フェスタ」を市内各地区に出向いて実施する。					

優先度	施策③【認知症施策の推進】										
○	認知症初期集中支援チームにより認知症高齢者やその家族等を支援します。成年後見制度等の周知徹底により、確実に利用につなげる体制を整備します。認知症検診の受診者増加に取り組みます。										
事務事業	(1)	認知症総合支援事業	高齢介護課	特会	R5	990	R4	1,050			
	(2)	施設入所委託事業	高齢介護課	一般	R5	17,429	R4	17,381			
	(3)	認知症検診事業	高齢介護課	一般	R5	1,529	R4	1,715			
	(4)	成年後見制度利用支援事業	高齢介護課	特会	R5	3,175	R4	3,175			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】					
	(1)	認知機能維持・向上事業の実施	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(3)	認知症検診の実施									
指標	認知症検診受診率 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	12.1 (実績)	14.0	15.0	16.0	17.0	18.0
施策の と今後の 方向性 評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 認知症サポーター小学生養成講座を市内全ての小学校で実施することができた。認知症検診や初期スクリーニングシステム、認知症キャンペーン等により認知症の早期発見、正しい理解や見守り等啓発活動を継続する。					

優先度	施策④【介護保険制度の適正な運営】										
	団塊の世代が全て後期高齢者となる令和7年（2025年）を見据え、医療と介護の連携を強化するとともに、安定的で持続可能な制度運営に取り組み、地域包括ケアシステムの構築を目指します。										
事務事業	(1)	介護保険総務事業	高齢介護課	特会	R5	26,739	R4	7,531			
	(2)	賦課徴収事業	高齢介護課	特会	R5	7,101	R4	5,822			
	(3)	総合福祉エリア事業	高齢介護課	一般	R5	213,218	R4	181,707			
	(4)	要介護認定事業	高齢介護課	特会	R5	67,885	R4	72,098			
	(5)	趣旨普及事業	高齢介護課	特会	R5	864	R4	436			
	(6)	保険給付事業	高齢介護課	特会	R5	6,566,598	R4	6,608,557			
	(7)	介護利用支援事業	高齢介護課	一般	R5	34,479	R4	29,912			
	(8)	介護給付等費用適正化事業	高齢介護課	特会	R5	521	R4	522			
	(9)	地域包括支援センター運営事業	高齢介護課	特会	R5	114,360	R4	110,849			
	(10)	計画策定事業	高齢介護課	特会	R5	7,558	R4	679			
	(11)	家族介護支援事業	高齢介護課	特会	R5	25,743	R4	23,257			
	(12)	福祉用具・住宅改修支援事業	高齢介護課	特会	R5	44	R4	44			
	(13)	地域ケア会議推進事業	高齢介護課	特会	R5	730	R4	642			
	(14)	介護予防サービス計画作成事業	高齢介護課	一般	R5	20	R4	1,271			
	(15)	介護保険施設等整備費補助事業	高齢介護課	一般	R5	48,702	R4	0			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(14)	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく事業の推進及び第9期計画の策定	>	第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく事業の推進	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	要介護（支援）認定率（%）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	15.4 (実績)	15.5	15.9	16.0	16.4	16.8
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 介護予防・日常生活支援総合事業など地域支援事業の充実により、安定的で持続可能な制度運営に取り組んでいる。また、利用者の自立支援に向けた適切な介護サービスが提供されるよう、自立支援型地域ケア会議の開催、ケアプラン点検を実施した。 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定し、地域包括ケアシステムを推進する。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】

誇りと生きがいを持って地域で暮らし続けることができるように、市民・事業者との協働により、支援が必要な高齢者に医療や介護サービスが包括的に提供される仕組みを構築します。

2 健康福祉 ～誰もが自分らしく輝ける 健康長寿のまち～

2-5 障害者福祉の充実

2-5-1 障害者支援の充実



優先度 施策①【全ての市民がともに暮らす社会の実現】										
○	障害を理由とする差別の解消に向けて広報紙やホームページなどによる啓発活動を推進します。研修会や講演会等での啓発活動を推進し、障害児者に対する理解の促進につなげます。									
事務事業	(1) 障害福祉推進事業	障害者福祉課	一般	R5	13,404	R4	10,221			
	(2) 障害者自立支援事業	障害者福祉課	一般	R5	2,145,051	R4	2,096,625			
	(3) 障害者社会参加促進事業	障害者福祉課	一般	R5	16,815	R4	16,581			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 障害の種別や特性の理解を促進する研修会等の実施	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
	(2) 障害者虐待防止や法人市民後見制度に関する研修会等の実施									
(3) 精神保健福祉ボランティア養成講座や手話奉仕員養成講習会等の実施										
指標	理解促進のための研修会・講習会への参加人数 (人)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	85 (実績)	90 175	100 985	100	110	110
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	2	4	A	【今後の方向性：現状維持】 障害への理解促進を図るため、県との共催による「手話普及リーカンペン」の開催や、「彫刻家 高田博厚展 2022」と同時開催による障害者作品展の実施など、新たな事業や手法を取り入れて事業展開したところ、多くの方に研修会やイベント等に参加していただくことができました。引き続き、これまでの取組や施策を継続する。				

優先度 施策②【障害者に対する生活支援の充実】										
	地域生活支援拠点に登録する事業所の拡充を進め、地域生活支援拠点事業連絡会において、グループホームの体験利用から入居までの支援をスムーズに行えるよう、関係各所と協議をしていきます。									
事務事業	(1) 障害者自立支援事業	障害者福祉課	一般	R5	2,145,051	R4	2,096,625			
	(2) 障害者等医療給付事業	障害者福祉課	一般	R5	357,487	R4	344,942			
	(3) 障害者手当等支給事業	障害者福祉課	一般	R5	104,896	R4	102,312			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 地域生活支援拠点登録事業所及び登録者の拡充	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	グループホーム年度末時点利用者 (人)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	90 (実績)	98 121	102 133	107	112	117
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 障害福祉サービス事業所と連携し、グループホーム利用者を増加させることができました。引き続き、第6期障害福祉計画の目標でもある施設入所者の地域移行を強化し、グループホームの利用者数を増加させる。				

優先度	施策③【障害者の就労支援の充実】									
◎	障害者就労支援センターザック等と連携し一般就労を前提とした就労支援に取り組むとともに、民間企業等へ障害者雇用の働きかけを行います。									
事業	(1) 障害者就労支援事業	障害者福祉課	一般	R5	19,968	R4	18,668			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1) 福祉施設への一般就労に関する支援や情報提供	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	福祉施設から一般就労する人数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	13 (実績)	15	16	17	18	19
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 障害者就労支援センターザックと連携しながら就労支援を進めてきた。令和5年度は、新たに創設した就労継続支援事業補助制度（チャレンジアップ応援制度）を活用し、障害者の就労支援の強化を図る。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 自立した生活の基盤となるグループホームの利用者を増加させていくことを目標とします。

まちづくりの柱3(環境の分野)

自然と調和する 環境未来・エコのまち

省エネや創エネ、蓄エネの更なる取組を進めるとともに、ごみの削減とリサイクルを推進することで資源循環型の環境未来・エコのまちを目指します。また、豊かな自然環境の保全と活用により、誰もが癒しを感じられる自然と調和したまちを目指します。



3 環境 ～自然と調和する 環境未来・エコのまち～

3-1 良好な地域環境の保全

3-1-1 良好な地域環境の保全



優先度 施策①【地球温暖化対策の推進】											
◎	市民・事業者が取り組む低炭素化への支援や情報発信などにより、省エネルギーの促進と再生可能エネルギーの普及に取り組めます。市役所の事務などにより排出される温室効果ガスの削減に向け、環境に配慮した行動に率先して取り組めます。										
事業	(1) 地球温暖化対策事業			環境政策課	一般	R5	12,260	R4	6,239		
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	既存住宅への太陽光発電設備の設置奨励金制度 緑のカーテン等の啓発活動の実施			➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施			
指標	市内のCO2排出量 (1,000t-CO2)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↘	556.0 (実績)	548.1	540.2	532.2	524.2	516.3
施策の前後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	3	B	【今後の方向性：現状維持】 令和4年度に開始した既存住宅向け太陽光発電設備設置奨励金については、18件交付し、家庭用太陽光発電の普及に寄与している。省エネなど温室効果ガス排出削減に向けて、令和5年度も事業を継続する。					

優先度 施策②【環境に対する市民意識の向上】											
○	地球温暖化やごみ問題をはじめ、対策が必要となる環境問題に関する継続した情報発信のほか、環境学習会やイベントの開催などを通じて市民意識の向上に取り組めます。										
事業	(1) 環境まちづくり活動支援事業			環境政策課	一般	R5	1,025	R4	1,045		
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	市民環境会議の実施			➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施			
指標	マイバッグ利用率 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	63.6 (実績)	-	70.0	-	74.0	-
施策の前後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	0	4	B	【今後の方向性：現状維持】 地球温暖化対策やごみ問題、自然環境保護など、市民の環境に対する意識向上は重要なため、特にワンウェイプラスチックの削減も含めた啓発をホームページやSNSなどで進める。					

優先度	施策③【快適な生活環境の確保】									
	水質、騒音、大気などのモニタリング結果を定期的に公表し、必要な対策を講じることにより快適な生活環境を確保します。空き家、空き地の適正管理のための啓発活動と、地域と連携した取組を推進します。									
事業	(1) 環境対策事業	環境政策課	一般	R5	8,168	R4	8,125			
	(2) 生活環境向上事業	環境政策課	一般	R5	5,274	R4	5,531			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 水質、騒音、臭気等の測定と公表	➤	令和5年度の取組を継続して実施		➤	令和6年度の取組を継続して実施				
	(2) 地域猫活動推進事業補助									
	(2) 老朽空き家の除却に関わる費用補助									
指標	環境に関する苦情件数（件）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↘	321 (実績)	310 429	300 335	290	280	270
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	3	3	2	B	【今後の方向性：現状維持】 社会構造の変化等により空き家や空き地が増加傾向にあるが、パトロールの強化等によりトラブルの未然防止を図るとともに、苦情に対しては粘り強く問題解決に向けて取り組む。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 令和3年度策定の環境基本計画に基づき、市民・事業者との協働で地球温暖化対策と良好な生活環境の保全を図ります。

3 環境 ～自然と調和する 環境未来・エコのまち～

3-2 自然に親しむ空間づくりの推進

3-2-1 自然に親しむ空間整備の推進



優先度	施策①【緑と水の保全と活用】										
○	ホタル生息域の維持管理や鑑賞会を行うとともに、水質調査や生物調査などを通じて生息環境の保全を図ります。新たな担い手となる幅広い世代の関心を高め、継続性のある保全活動へと発展させます。										
事業	(1) ホタルの里づくり事業		環境政策課	一般	R5	612	R4	637			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	ホタル生息数域における飛翔調査 市内の身近な動植物調査の実施	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	ホタルの生息確認箇所数（箇所）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	12 (実績)	12 15	13 15	13	13	13
施策の 今後の 方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	3	4	2	3	B	【今後の方向性：現状維持】 ホタルの保全活動について、令和4年度にホームページ等でPRを強化したところ、ホタルの里の来場者が大幅に増加し、ニーズの高いコンテンツとなった。しかしながら、自治会では高齢化もあり、活動への負担感が増しているため、作業面積を減らすなどして負担を軽減しつつ、これまでの活動を継続する。					

優先度	施策②【自然と親しむ環境整備】										
◎	恵まれた自然環境を、本市の魅力を感じる貴重な資源と捉え、身近な場所で楽しみながら自然に親しめる機会を創出します。各地区に存在する資源を有機的に組み合わせることで、市外からの来訪者の増加やリピーター化を進めます。										
事業	(1) 観光活性化事業		商工観光課	一般	R5	37,832	R4	39,374			
	(2) 都幾川まるごと再生事業		商工観光課	一般	R5	7,604	R4	15,201			
	(3) 化石と自然の体験館管理事業		商工観光課	一般	R5	25,800	R4	25,799			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(2)	都幾川改良復旧事業によりくらかけ清流の郷は休業	(2)	くらかけ清流の郷の維持管理・運営	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	くらかけ清流の郷利用者数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	32,521 (実績)	26,000 3,497	28,000 18,941	30,000	32,000	33,000
施策の 今後の 方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	2	4	0	2	D	【今後の方向性：方法改善】 くらかけ清流の郷では、来訪者の増加を図るため出張化石発掘体験などを実施した。令和4年10月から令和6年3月まで県の都幾川改良復旧事業により営業中止の予定であり、バイオトイレや売店の移転を検討していることから、復旧事業の進捗を注視しながら営業再開に向けた準備を進める。					

優先度	施策③【生態系の保全による自然環境の維持】										
	特定外来生物の生息域等の調査を行うとともに、自然環境へ流出することがないよう、市民に対する啓発活動を強化します。豊かな自然環境に息づく生態系を守るため、市民と行政が協働して活動する体制を整えます。										
事業	(1) 生活環境向上事業		環境政策課		一般		R5	5,274	R4	5,531	
主な取組	【令和5年度の取組】				【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	アライグマやハクビシン等の有害鳥獣の捕獲		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	アライグマ調査捕獲頭数（頭）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	-	10	20	30	40	50
					(実績)	8	22				
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	3	B	【今後の方向性：現状維持】 埼玉県アライグマ防除実施計画に基づき、県や市民と連携し、防除体制を強化するとともに、捕獲情報を県へ提供し、分析結果を活用することで効率性の向上を図る。また、市民に対する啓発活動を引き続き実施し、特定外来生物の増殖の抑制と自然環境への負荷の低減を図る。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり
推進項目 10 民間の活力やノウハウの活用

【説明】 民間の活力やノウハウを活用した施設運営を実施することで、観光資源としての価値をさらに高めます。

3 環境 ～自然と調和する 環境未来・エコのまち～

3-3 循環型社会の構築

3-3-1 資源循環の推進



優先度	施策①【ごみの減量とリサイクルの推進】									
○	普及啓発を強化することで、家庭ごみとして排出される可燃物・不燃物・プラスチックごみ等を減量し、リサイクルを推進します。市民や事業者が自らごみを削減していく取組を支援します。									
事業	(1) ごみ減量資源化事業	廃棄物対策課	一般	R5	2,812	R4	2,812			
	(2) 環境保全美化推進事業	廃棄物対策課	一般	R5	6,387	R4	5,850			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1) ごみの排出抑制とリサイクルの促進 (2) クリーンリーダーの取組支援	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	一人当たりの可燃系ごみ排出量 (kg)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↘	272 (実績)	270 262	269 255	268	267	266
と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 生ごみ処理容器「キエーロ」の普及や、広報紙・ホームページ等を通じたごみの減量化と資源ごみのリサイクル推進・リユースの促進等の啓発に取り組み、市民の意識高揚に取り組んだ。また、クリーンリーダーを対象に地区別情報交換会を実施し、効果的なごみ分別の指導や啓発について情報提供するなど、地域の環境美化活動への取組支援を行った。今後は、これまでの取組を継続するとともに、SNS等様々なツールを活用して、ごみの排出抑制とリサイクルを促進する。				

優先度	施策②【一般廃棄物処理の方向性の明確化】									
◎	クリーンセンターの長寿命化への取組を継続するとともに、ごみ処理基本計画の見直しと併せて市内におけるごみ処理施設の今後の方向性を明確にします。									
事業	(1) 塵芥収集事業	廃棄物対策課	一般	R5	222,505	R4	286,464			
	(2) 塵芥処理事業	廃棄物対策課	一般	R5	859,199	R4	734,130			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(2) 務の安定的遂行 新たな施設整備についての検討	>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	業務継続に必要な可燃系ごみの処理能力 (万t)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	2.6 (実績)	2.6 2.6	2.6 2.6	2.6	2.6	2.6
と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 令和3年度に実施した「クリーンセンター精密機能検査」において策定した「中長期修繕計画」に基づき、クリーンセンターの計画的な修繕を実施し、可燃系ごみの処理能力を維持する。また、一般廃棄物処理の方向性を早期に明確化し実現する。				

優先度	施策③【災害廃棄物処理の体系化】									
	災害発生時には被害状況の早期把握とともに、収集や仮置場の設定、広域処理を含めた廃棄物の適正処理に取り組みます。処理困難廃棄物の適正な処理ルート確保のため、引き続き情報収集を進めます。									
事業	(1) 塵芥収集事業	廃棄物対策課	一般	R5	222,505	R4	286,464			
	(2) 塵芥処理事業	廃棄物対策課	一般	R5	859,199	R4	734,130			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(2)	災害を想定し、排出される廃棄物を体系的に処理する仕組みの構築	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	災害廃棄物仮置場として随時利用可能な面積（万㎡）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	1.6 (実績)	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 災害廃棄物を迅速・適切に処理するために、事業者と「災害等対応のための共助基本協定」を締結した。今後は、災害廃棄物処理に関する情報収集に加え、災害廃棄物処理の模擬訓練を実施するなど、災害廃棄物の適切な処理体制を構築する。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 8 市民参加の促進

【説明】 市民中心の循環型社会の構築を推進し、全市的に取組を浸透させるため、広報紙やホームページ等による意識啓発を図りながら市民参加を促進します。

まちづくりの柱4(生活基盤の分野) 快適に暮らせる 安全のまち

計画的な土地利用や各種インフラの整備と適正な維持管理を進めるとともに、防犯や交通安全対策、防災・減災対策を充実することで、誰もが快適に暮らせる安全のまちを目指します。



4 生活基盤 ～快適に暮らせる 安全のまち～

4-1 防災・減災対策の充実

4-1-1 防災・減災のまちづくり



優先度	施策①【災害に対する備えの充実と地域防災力の強化】											
	公助の役割を効果的に果たすために、自助の活動や地域に密着した自主防災組織の整備と活動を支援し、地域防災力を強化します。											
事業	(1) 地域防災事業					危機管理防災課	一般	R5	236,626	R4	13,865	
主な取組	【令和5年度の取組】				【令和6年度の取組予定】				【令和7年度の取組予定】			
	(1) 自主防災組織の活動支援				➤ 令和5年度の取組を継続して実施				➤ 令和6年度の取組を継続して実施			
指標	自主防災組織結成率 (%)					方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
						↗	98.5 (実績)	98.5 99.3	99.0 99.0	99.5	100	100
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント						
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 自主防災組織未結成の自治会を参加対象に含めリーダー養成研修を開催したが、研修参加や結成には至らなかった。未結成の自治会の自治会長へ結成に向けた働きかけを行うとともに、自主防災組織に対する研修等の充実を図る。						

優先度	施策②【令和元年東日本台風からの復興と災害に強いまちづくり】											
	被災された市民の様々な場面における判断や選択を継続的に支援します。国や県などの関係機関との連携を強化し、各種ハザードマップに基づいて関連施策とともに都市の強靱化に取り組みます。											
事業	(1) 水防事業					危機管理防災課	一般	R5	472	R4	470	
	(2) 災害対策事業					危機管理防災課	一般	R5	12	R4	12	
	(3) 河川総務事業					河川課	一般	R5	586	R4	439	
主な取組	【令和5年度の取組】				【令和6年度の取組予定】				【令和7年度の取組予定】			
	(2) 被災者の状況を踏まえた支援				➤ 令和5年度の取組を継続して実施				➤ 令和6年度の取組を継続して実施			
指標	被災者の住まいの再建率 (%)					方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
						↗	58.6 (実績)	80.5 86.5	91.0 100.0	99.5	100	100
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント						
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 令和4年11月11日に被災者生活再建支援金の申請受付は終了したが、被災者の状況を踏まえた支援は引き続き継続する。あわせて、被災地域での防災への取組を支援し災害に強いまちづくりを推進する。						

優先度	施策③【防災に対する意識の向上】									
○	防災に関する各種訓練の実施や自主防災組織による訓練を支援します。自主防災組織リーダー養成研修や、きらめき出前講座などの活用により防災意識を高めます。									
事業	(1) 地域防災事業	危機管理防災課 一般			R5	236,626	R4	13,865		
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 防災訓練・研修の実施	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	各種防災訓練参加者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	9,492 (実績)	10,000 9,418	10,000 9,578	10,500	10,500	11,000
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 市総合防災訓練については新型コロナウイルス感染症予防の観点から集合型の訓練ではなく、防災行政無線を活用した各家庭における行動確認訓練として実施した。各地区の防災訓練では、防災倉庫の資機材及び資機材の設置方法等の確認を行い、市民の防災意識向上を図る。				

優先度	施策④【危機管理体制の強化】									
	災害時の応急活動体制や通常業務の継続実施体制を整え、非常時優先業務に適切かつ迅速に取り組みます。災害時応援協定による人的協力や物資の供給確保に取り組みとともに、情報伝達体制・手段の強化、多様化を進めます。									
事業	(1) 地域防災事業	危機管理防災課 一般			R5	236,626	R4	13,865		
	(2) 国民保護事業	危機管理防災課 一般			R5	139	R4	139		
	(3) 防災施設整備事業	危機管理防災課 一般			R5	27,773	R4	18,369		
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 災害時応援協定の締結・内容充実	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	災害時応援協定締結数			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	53 (実績)	58 60	58 62	60	60	62
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 既存の協定先と発災時の体制を再確認するとともに、コンテナホテル等の協定を新たに締結し、協定数の増加を図った。今後も、災害時の体制強化を進めるため、協定による人的協力や物資等の確保を図る。				

優先度	施策⑤【地域防災拠点の機能強化と災害対応の充実】									
◎	防災備蓄物資を一括管理できる防災倉庫を整備します。各避難所の点検や防災備蓄物資の更新を定期的に行い、避難所運営に際しては、要配慮者へ配慮した仕組みづくりや地域・学校等との協力体制の構築に取り組みます。									
事務事業	(1) 地域防災事業	危機管理防災課	一般	R5	236,626	R4	13,865			
	(2) 防災施設整備事業	危機管理防災課	一般	R5	27,773	R4	18,369			
	(3) 消防施設整備事業	危機管理防災課	一般	R5	58,915	R4	14,135			
	(4) 常備消防事業	危機管理防災課	一般	R5	1,069,822	R4	1,089,710			
	(5) 非常備消防事業	危機管理防災課	一般	R5	23,288	R4	21,412			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1)	中央防災倉庫の建築	>	中央防災倉庫の運用	>	中央防災倉庫の運用改善				
(1)	避難所の運営体制充実		>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施				
	(2)									
指標	避難所のテレビ視聴環境整備率 (%)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	0.0	22.7	45.5	68.2	90.9	100
			(実績)	22.7	45.5					
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 中央防災倉庫の設計を進めるとともに、松山中学校など5避難所において学校との調整により既存テレビを活用した視聴環境を整えた。引き続き防災拠点の機能強化を進める。				

優先度	施策⑥【感染症流行時の危機管理】									
	感染状況に応じて変化する課題や、自然災害との複合災害等に一元的に取り組む体制を整えます。感染症に対応した避難所等の運営に必要な資機材の整備等に取り組みます。									
事務事業	(1) 防災施設整備事業	危機管理防災課	一般	R5	27,773	R4	18,369			
	(2) 保健センター管理運営事業	健康推進課	一般	R5	34,844	R4	84,444			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1)	感染症に対応した避難所等の資機材整備	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	市が備蓄するマスク数（枚）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
			(実績)	60,000	62,668					
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 避難所について、各避難所のリーダー（又は副リーダー）、新たに避難所等に割り当てられた職員、それぞれを対象に内容を変え感染症への対応を含め説明会を開催した。また、避難所の感染症対策のため消毒液を購入した。今後も感染症の動向を踏まえつつ、必要な対策を継続する。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 自主防災組織による活動を支援するとともに、自主防災組織リーダー養成研修や、きらめき出前講座などの活用により市民の防災意識を高め、地域の防災力を強化します。

4 生活基盤 ～快適に暮らせる 安全のまち～

4-2 安全で快適なまちづくりの推進

4-2-1 計画的なまちづくりの推進



優先度 施策①【持続可能なまちづくりの推進】											
都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、人口減少等の社会構造の変化を踏まえた適切な土地利用を誘導します。											
事業	(1) まちづくり推進事業		都市計画課	一般	R5	7,646	R4	1,741			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	土地利用の推進・見直し 防災指針の策定（立地適正化計画）		>	土地利用の推進・見直し		>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	居住誘導区域内の人口密度（人/ha）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	58 (実績)	58	58	58	58	58
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 立地適正化計画について、居住誘導区域内で行う防災対策、安全確保策を定める防災指針を追加する改定を行い、安全なまちづくりを推進する。					

優先度 施策②【東松山駅周辺の整備】											
駅前東通線の早期完成を目指すとともに、歩道のバリアフリー化を進めます。第一小学校通線（ぼたん通り）の整備に向けて事業化を目指します。											
事業	(1) 第一小学校通線整備事業		市街地整備課	一般	R5	4,494	R4	-			
事業	(2) 駅前東通線整備事業		市街地整備課	一般	R5	4,781	R4	21,389			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	ぼたん通り（県道区間）の用地買収 ぼたん通り（市道区間）の事業化準備		>	都市計画変更手続き		>	ぼたん通り（市道区間） 整備工事業の事業化			
(2)	駅前東通線整備について、埼玉県を支援する（整備工事）		-	-		-	-				
指標	駅周辺4路線のバリアフリー化整備率（%）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	42 (実績)	71	78	78	78	78
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	3	2	B	【今後の方向性：現状維持】 駅前東通線（県道）は、地中化工事に遅れが生じたため、令和5年度に残工事があるものの、早期の完成が見込まれている。 ぼたん通りは用地取得業務を進め、令和5年度当初から順次契約を見込んでいます。遅延が生じないよう、県とスケジュールを共有し、後の市道区間の事業化へと展開する。					

優先度	施策③【市街地の整備】									
◎	市街地における交通利便性の向上を図るため、松高前通線等の都市計画道路の整備を進めます。									
事務事業	(1) 市街地基盤整備事業	市街地整備課	一般	R5	147	R4	152			
	(2) 松葉町一丁目地区周辺整備事業	市街地整備課	一般	R5	462,869	R4	384,758			
	(3) 高坂駅東口第一土地区画整理事業	高坂区画整理事務所	特会	R5	109,756	R4	99,376			
	(4) 事務所管理事業	高坂区画整理事務所	特会	R5	4,445	R4	4,069			
	(5) 高坂駅東口第一土地区画整理総務事業	高坂区画整理事務所	特会	R5	3,108	R4	2,685			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(2) 松高前通線道路築造工事の推進	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	松高前通線の整備率 (%)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	4 (実績)	6 12	26 17	75	100	-
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	2	B	【今後の方向性：現状維持】 松高前通線整備については、効果的に国費を活用しながら事業が継続できている。対象地権者の円滑な移転を促しながら、今後も切れ目なく工事を継続し、早期完成を目指す。併せて、接続する駅前西通線の整備の検討を進める。				

優先度	施策④【快適で住みよい住宅の推進】									
	市民が安全で安心して生活できるまちづくりを推進し、耐震診断や耐震改修の必要性及び補助制度の周知に取り組み、住宅の耐震化を促進します。									
事務事業	(1) 建築確認等対応事業	住宅建築課	一般	R5	725	R4	721			
	(2) 開発行為等対応事業	住宅建築課	一般	R5	127	R4	6,190			
	(3) 市営住宅事業	住宅建築課	一般	R5	55,672	R4	45,431			
	(4) 住宅政策事業	住宅建築課	一般	R5	2,054	R4	2,041			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(4) 耐震診断・改修補助制度の実施・周知	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	住宅の耐震化率 (%)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	87.5 (実績)	- -	- -	92.0	-	95.0
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	3	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 住宅の耐震化を促進するため、耐震診断や耐震改修の必要性及び補助制度について周知を図った。今後も周知活動を継続し、地震による住宅の倒壊等の被害を防ぎ、市民が安全で安心して生活できるまちづくりを推進する。				

優先度	施策⑤【質を高める公園整備の推進】									
○	公園が持っている多様なストック効果を十分に発揮するため、適切な維持管理に取り組みます。個々の公園の特性に応じて、施設総量の最適化や民間活力の導入などを継続的に進めます。									
事業	(1) 生産緑地事業	都市計画課	一般	R5	5	R4	5			
	(2) 緑化事業	都市計画課	一般	R5	20	R4	18			
	(3) 公園等維持管理事業	都市計画課	一般	R5	364,076	R4	398,654			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(3) 定期点検に基づく公園施設の修繕等 公園施設長寿命化対策工事 ばたん園改修工事	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	ハザード（潜在的危険性）のある遊具数（基）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↘	223 (実績)	210 209	200 195	190	180	170
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 「東松山市公園施設長寿命化計画」に基づき、国費を活用しつつ指定管理者とも連携して施策に取り組んだ結果、目標達成となった。今後も国費等の活用や指定管理者との連携を進めるとともに、さらなる民間活力の活用可能性についても検討を行う。				

優先度	施策⑥【持続可能な公共交通ネットワークの形成・維持】									
	地域の実態に見合った、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを形成するための基本的な方針、目標を示す地域公共交通計画の策定に取り組みます。									
事業	(1) 地域公共交通事業	地域支援課	一般	R5	89,507	R4	108,217			
	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
主な取組	(1) 地域公共交通計画案のとりまとめ 地域公共交通計画の策定	>	計画に基づく取組の進捗管理と評価・検証の実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
	指標	地域公共交通計画の策定			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6
-					- (実績)	-	-	完了	-	-
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：現状維持】 地域の実態に見合った、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを形成するための基本的な方針、目標を示す地域公共交通計画の策定に向けて、市民及び利用者アンケート、また事業者ヒアリングを実施し、分析、評価を行った。今後は、この分析・評価結果を基に地域公共交通計画を策定する。				



行政改革の視点

視点 I 健全な財政運営の推進

推進項目 2 計画的な土地利用の推進

【説明】

都市計画マスタープランにおいて産業拠点に位置付けられた地区について、周辺環境との調和に配慮しながら、土地利用に向けた調整を進めます。

4 生活基盤 ～快適に暮らせる 安全のまち～

4-3 道路と上水道及び河川・下水道の整備

4-3-1 道路の整備と維持管理



優先度	施策①【安全で快適な道路の整備と維持管理】									
○	主要道路は定期的な舗装劣化調査により計画的に修繕を行い、生活道路は順次拡幅整備を進めます。道路附属物は定期点検により必要な修繕を行い、適正な維持管理を進めます。									
事務事業	(1) 街区境界調査事業	建設管理課	一般	R5	18,720	R4	11,000			
	(2) 境界確認事業	建設管理課	一般	R5	10,078	R4	4,864			
	(3) 道路維持管理事業	建設管理課	一般	R5	51,514	R4	50,314			
	(4) 応急修繕事業	道路課	一般	R5	12,834	R4	10,742			
	(5) 生活道路整備事業	道路課	一般	R5	153,530	R4	154,886			
	(6) 道路橋梁事業	道路課	一般	R5	-	R4	-			
	(7) 道路維持事業	道路課	一般	R5	279,309	R4	208,476			
	(8) 土木施設災害復旧事業	道路課	一般	R5	6	R4	6			
	(9) 市街化区域内狭あい道路整備事業	道路課	一般	R5	-	R4	24,704			
	(10) 土木総務事業	道路課	一般	R5	8,916	R4	2,883			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(3) 舗装の構造調査及び修繕、空洞化調査	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(5) 和泉町地内の道路拡幅整備									
(5) 松葉町、美土里町地内の狭あい道路拡幅整備										
指標	市道の整備延長 (km)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	378.6 (実績)	379.0	379.4	379.6	380.0	380.4
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 排水先が確保できず再設計に時間を要した路線があるなど、当初計画より進捗が遅れが生じているため、市道整備延長が目標には至らなかった。引き続き、計画路線の早期整備を目指し、整備を進める。併せて、既存の道路施設については、必要な修繕を行い、適切な維持管理を行う。				

優先度	施策②【橋梁の強靱化と適正な維持管理】									
○	緊急輸送道路の橋梁や跨線橋は耐震補強計画に基づき、計画的に補強工事を実施します。定期的かつ継続的に点検を行い、必要な修繕を実施し、予防保全的な維持管理を進めます。									
事業	(1) 橋梁維持事業	道路課	一般	R5	331,953	R4	210,951			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 橋梁の定期点検、長寿命化修繕、耐震補強及び関係機関との協議	>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	緊急輸送道路の橋、跨線橋、跨道橋の耐震化数			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	21 (実績)	-	22	-	23	-
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 耐震化については、今年度から工事着手している5-79号橋において、令和6年までの3か年で実施する予定である。また、維持修繕については、18橋の橋梁点検業務及び白山沼橋、5-79号橋の修繕工事を発注した。今後も、点検結果を踏まえ適正な維持管理を進める。				

優先度	施策③【歩行者の安全対策】									
◎	通学路における歩道整備やグリーンベルトの設置を進めるとともに、交通危険箇所への路面標示や防護柵などの設置に取り組みます。									
事業	(1) 歩道整備事業	道路課	一般	R5	11,000	R4	2,100			
	(2) 交通安全施設管理事業	道路課	一般	R5	74,526	R4	69,412			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 市道第44号線の歩道整備（野本小学校）	(1)	必要に応じて検討		(1)	必要に応じて検討				
(2) 防護柵設置や区画線、グリーンベルト等の路面標示	>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	グリーンベルト延長 (km)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	32.3 (実績)	32.6	32.9	33.2	33.5	33.8
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 通学路の安全対策として、市道第0055号線ほか3路線のグリーンベルト設置工事を完成し、目標を達成した。引き続き、通学路整備計画に沿って、グリーンベルトの整備を進めるとともに、交通危険箇所への安全対策を実施する。				



行政改革の視点

視点 I 健全な財政運営の推進

推進項目 3 公共施設等のアセットマネジメント

【説明】 公共施設の適正な維持管理のため、平成28年度策定の公共施設等総合管理計画に基づき、道路・橋梁の適正な改修・修繕を実施します。

4 生活基盤 ～快適に暮らせる 安全のまち～

4-3 道路と上水道及び河川・下水道の整備

4-3-2 上下水道の整備



優先度 施策①【水道水の安定供給】										
「東松山市水道事業経営戦略」により健全で安定した経営基盤の構築を目指します。「東松山市水道ビジョン」に基づき主要な水道管の耐震化や各施設の更新を計画的に進めるとともに、安定した水道水の提供に取り組みます。										
事業	(1) 水道事業 上下水道経営課、水道施設課 水道事業会計(資本的支出)			R5	1,170,889	R4	1,153,153			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 持続可能で安定した事業運営	> 令和5年度の取組を継続して実施			> 令和6年度の取組を継続して実施					
(1) 建設改良事業(管路・施設の更新・耐震化)										
指標	経常収支比率(%)【水道】			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	109.1 (実績)	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上
	水道管の耐震化率(%)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	30.6 (実績)	32.0	32.9	33.7	34.6	35.4
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 経常収支比率は100%以上となる見込みである。今後も適正な料金収入を確保し、持続可能で安定した水道事業運営を図る。令和4年度に予定されていた重要給水拠点へのルート及び老朽化した水道管の耐震化について、一部施工できない路線が生じたが、その他の路線においては計画どおり実施した。引き続き水道管の耐震化を計画どおり進める。				

優先度 施策②【下水道の整備と維持管理】										
◎	市街化区域内の公共下水道未整備地域は、引き続き計画的に整備を進めます。既存の下水道施設は適切に維持管理をするとともに、将来にわたり持続可能で安定した事業運営を目指します。									
事業	(1) 下水道事業 上下水道経営課、下水道施設課 下水道事業会計(資本的支出)			R5	2,175,894	R4	1,076,162			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 持続可能で安定した事業運営	> 令和5年度の取組を継続して実施			> 令和6年度の取組を継続して実施					
(1) 建設改良事業(管渠・公共下水道(污水管)工事)										
指標	経常収支比率(%)【下水道】			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	106.0 (実績)	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上
	公共下水道面積普及率(%)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	90.9 (実績)	91.4	91.6	92.3	92.5	93.3
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 経常収支比率は100%以上となる見込みである。今後も適正な使用料収入を確保し、持続可能で安定した下水道事業運営を図る。 また、令和4年度の管渠工事は、和泉町地区の一部で電柱移設の影響から遅れが生じ繰越しているが、松葉・美土里町では予定どおり完了目標を達成した。引き続き污水管整備を進め、公共下水道面積普及率の向上を図る。				

優先度	施策③【合併処理浄化槽への転換の促進】									
○	公共下水道の整備が予定されていない地域では、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助制度を継続し、早期の転換を促すことで水質や生活環境の改善に取り組みます。									
事務事業	(1) 浄化槽設置整備事業	下水道施設課（環境センター）	一般	R5	38,488	R4	38,460			
	(2) し尿収集管理事業	下水道施設課（環境センター）	一般	R5	37,958	R4	38,500			
	(3) 環境センター維持管理事業	下水道施設課（環境センター）	一般	R5	178,815	R4	138,363			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 合併処理浄化槽への転換の促進	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	汚水処理人口普及率（％）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	97.8 (実績)	98.7 98.1	98.8 98.1	98.8	98.8	98.8
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 令和4年度の合併処理浄化槽への転換件数は、37件となり前年を若干下回った。公共水域の水質や生活環境改善の観点から、目標達成に向け、今後も引き続きPR活動を行い、転換を促す。				



行政改革の視点

視点 I 健全な財政運営の推進

推進項目 5 健全な公営企業経営

【説明】 高度経済成長期に整備された水道管路等の水道施設等の更新を適切に実施するため、計画的なアセットマネジメントにより、健全な企業経営を進めます。

4 生活基盤 ～快適に暮らせる 安全のまち～

4-3 道路と上水道及び河川・下水道の整備

4-3-3 河川の整備



優先度 施策①【河川の計画的な整備による雨水対策】										
◎	準用河川新江川は、計画的に改修を進めます。「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」では、関係機関との連携を強化し、堤防や遊水地の整備などを促進します。一級河川は未改修区間の早期整備を促進し、水害対策につなげます。									
事業	(1) 準用河川改修事業	河川課	一般	R5	436,650	R4	208,367			
業務	(2) 河川総務事業	河川課	一般	R5	586	R4	439			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	準用河川新江川改修事業 ・橋梁工事 ・詳細設計業務	>	準用河川新江川改修事業 ・河道工事 ・橋梁工事	> 令和6年度の取組を継続して実施					
	-	入間川流域緊急治水対策プロジェクトに伴う国及び県が実施する事業における調	>	令和5年度の取組を継続して実施						
(2)	一級河川改修促進要望									
指標	準用河川新江川改修率 (%)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	39.0 (実績)	42.0 39.0	55.4 50.6	66.5	83.6	100
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 新江川の第1期、第2期改修工事は完了したが、第3期改修工事は関連工事の影響により遅れが生じているため、引き続き完了に向けて進める。今後、橋梁工事、河道工事を順次実施する。また、入間川流域緊急治水対策プロジェクト及び一級河川の未改修区間について、関係機関と連携し、早期整備を促進する。				

優先度 施策②【河川、水路、池沼の適正な維持管理】										
○	老朽化が進む施設の修繕や利用形態が変化した施設の改修、廃止により、適正な維持管理を進めます。									
事業	(1) 河川維持事業	河川課	一般	R5	81,325	R4	83,855			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	樹木伐採業務 ため池改修工事	>	令和5年度の取組を継続して実施	> 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	修繕、改修、廃止をした池沼の数（箇所）【累計】			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	1 (実績)	4 3	6 6	7	8	9
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	3	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 地蔵沼について、改修工事が完了した。天皇沼は、土砂の必要量を確保することが難しく、改修工事に遅れが生じているため、引き続き完了に向けて進める。今後も、ため池の整備・廃止・管理等に関する方針に基づき、適正な維持管理を進める。				

優先度	施策③【雨水浸水対策の推進】									
○	道路側溝、水路及び公共下水道（雨水管）による雨水対策を総合的に推進し、被害の軽減に取り組みます。									
事務事業	(1) 河川維持事業	河川課	一般	R5	81,325	R4	83,855			
	(2) 生活排水路整備事業	河川課	一般	R5	115,210	R4	26,699			
	(3) 建設改良事業（管渠）	下水道施設課	一般	R5	183,293	R4	102,300			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1) 新郷排水路ほか河床整備工事	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(2) 高坂地区末流排水路整備工事 新郷排水路用地買収									
	(3) 建設改良事業（管渠） ・ 公共下水道（雨水管）工事									
指標	公共下水道（雨水管）整備延長（m）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	122 (実績)	130	130	45	120	50
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 令和4年度の雨水管工事は、新江川第一雨水調整池から和泉町地区へ向かう路線において、予定どおりの区間を完了した。 また、市街化区域内における大雨時の道路冠水対策を計画し、令和5年度より工事を進める。				



行政改革の視点

視点Ⅰ 健全な財政運営の推進

推進項目 3 公共施設等のアセットマネジメント

【説明】 公共施設の適正な維持管理のため、計画的な改修・修繕を実施します。

4 生活基盤 ～快適に暮らせる 安全のまち～

4-4 交通安全・防犯対策の推進

4-4-1 交通安全・防犯対策の推進



優先度 施策①【交通安全意識の啓発】										
◎	交通事故を未然に防ぐため、交通安全教育や啓発活動を実施し、交通安全意識の高揚に取り組みます。東松山交通安全協会や市民が、主体的に行う交通安全活動を支援します。									
事業	(1) 交通安全対策事業	地域支援課	一般	R5	6,821	R4	7,025			
	(2) 放置自転車対策事業	地域支援課	一般	R5	4,136	R4	3,989			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 交通安全教育や啓発活動の実施 東松山交通安全協会や市民が主体的に行う交通安全活動の支援	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	交通事故発生件数 (件)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↘	307 (実績)	300 203	295 219	290	285	280
と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 交通安全対策として、街頭キャンペーンなどの広報啓発活動、児童・生徒・高齢者を対象にした交通安全教育活動、交通安全設備整備など関係機関と連携して交通事故防止対策を実施した結果、目標を達成した。今後も関係機関と連携して街頭キャンペーンや広報啓発活動等の対策を継続して実施し、交通安全意識の向上を図る。				

優先度 施策②【防犯設備の整備と防犯意識が高いまちづくり】										
○	自治会からの申請に基づき防犯上必要な場所に防犯灯を設置します。防犯対策についての啓発活動を実施するとともに、東松山地区防犯協会や市民が主体的に行う防犯活動を支援します。									
事業	(1) 消費生活対策事業	人権市民相談課	一般	R5	4,867	R4	4,690			
	(2) 防犯事業	地域支援課	一般	R5	3,948	R4	3,908			
	(3) 防犯灯事業	地域支援課	一般	R5	9,832	R4	9,732			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1) 消費生活センターでの相談・支援	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
	(2) 防犯設備の整備・防犯活動の支援 (3)									
指標	犯罪発生件数 (件)			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↘	729 (実績)	720 554	710 559	700	690	680
と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 防犯対策として、自治会の申請に基づき31灯の防犯灯を設置した。振り込め詐欺防止キャンペーンの実施や高齢者対象イベントにおいて県特殊詐欺被害防止マイスターによる詐欺防止の実演を交えた啓発を行った。また、防災行政無線を利用した注意喚起を実施した。今後も防犯灯の設置や振り込め詐欺防止キャンペーン等の対策を継続して実施し、防犯意識の向上を図る。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 子どもの安心安全のために、市民・事業者との協働を推進し、交通安全教育や啓発活動を実施するとともに「子ども見守り隊」への支援を継続します。

まちづくりの柱5(活性化の分野) 元気で活力のある にぎわいのまち

農業・商業・工業の振興を図るとともに、積極的に企業誘致を推進することで、元気で活力あるまちを目指します。また、市内に点在する観光資源の有機的な活用を進め、多くの人々が市外から訪れるにぎわいのまちを目指します。



5 活性化 ～元気で活力のある にぎわいのまち～

5-1 農業の振興

5-1-1 農業の振興



優先度 施策①【農業生産基盤の整備】											
◎	農地中間管理事業の活用等により、農地の集積・集約化を促進し、生産規模の拡大に取り組みます。併せて農業水利施設等の適正な維持管理を推進し、農業の生産性を向上させます。										
事務事業	(1)	農業委員会運営事業	農業委員会事務局	一般	R5	12,842	R4	13,160			
	(2)	農業公社支援事業	農政課	一般	R5	34,800	R4	33,000			
	(3)	土地改良事業	農政課	一般	R5	67,164	R4	49,849			
	(4)	農業用施設災害復旧事業	農政課	一般	R5	2	R4	2			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(3)	農地中間管理事業 農地耕作条件改善事業	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(3)	農業水利施設支援事業									
指標	担い手への農地利用権設定面積 (ha)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	206 (実績)	226 265	248 283	272	299	328
施 策 の 前 年 度 評 価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 市農業公社や埼玉県農地中間管理機構と連携を図り、担い手への利用集積を推進することができた。今後も市農業公社などのノウハウを活用し、農地中間管理事業を実施することで農地の集積・集約化を促進する。また、農業水利施設の維持管理に対する支援を引き続き実施する。					

優先度 施策②【農業の担い手の育成・確保】											
○	就農希望者からの相談機会を広く設け、新規就農者の確保に取り組みます。農業塾や農林公園における農業研修を実施し、担い手の育成を進めます。水稻農家の規模拡大や法人化を支援し、水田農業の担い手育成・確保に取り組みます。										
事務事業	(1)	農林業振興事業	農政課	一般	R5	10,062	R4	15,132			
	(2)	農林公園管理運営事業	農政課	一般	R5	79,028	R4	74,820			
	(3)	農業公社支援事業	農政課	一般	R5	34,800	R4	33,000			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	水田農業担い手育成支援事業	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(3)	就農相談会の開催 農業塾・農業研修の実施									
指標	青年農業者新規就農者数 (人)【累計】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	13 (実績)	14 15	15 16	16	17	18
施 策 の 前 年 度 評 価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 農業塾や農林公園での農業研修などを通じ、就農に必要な知識や技術を習得するための機会を提供することができた。今後もこれらの研修を実施するとともに、就農相談を随時実施する。また、担い手が不足している水稻農家について、「水田農業担い手育成支援事業」を引き続き実施する。					

優先度	施策③【農畜産物のブランド化と収益性の高い農業の実現】										
	梨と栗の産地継続に向けた取り組みを実施します。戦略作物の栽培と安定した出荷体制づくりを支援し、収益性の高い農業を実現していきます。加工品の開発及び販売により、農業者の経営力が向上するよう支援します。										
事業	(1)	農林業振興事業	農政課	一般	R5	10,062	R4	15,132			
	(2)	農業公社支援事業	農政課	一般	R5	34,800	R4	33,000			
	(3)	畜産業振興事業	農政課	一般	R5	641	R4	641			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】					
	(1)	果樹農業支援事業	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	戦略作物栽培面積 (ha)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	4.63 (実績)	5.09 5.20	5.59 5.65	6.14	6.75	7.42
施策の 今後の 方向性 評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 生産者団体や農協、市農業公社などの関係機関と連携して作付及び出荷検討会を実施し、効率的な作付及び出荷を推進することができた。今後も農協などのノウハウを活用し、戦略作物栽培面積の増加を図るとともに、梨と栗の産地維持に向けた支援を引き続き実施する。					

優先度	施策④【地産地消の推進と関連産業の活性化】										
	東松山農産物直売所の充実により地産地消を推進するとともに、加工品や土産物などの生産販売に関する取組を支援します。農林公園では、誘客施設としての機能も高め、地域の活性化につなげます。										
事業	(1)	農林業振興事業	農政課	一般	R5	10,062	R4	15,132			
	(2)	農林公園管理運営事業	農政課	一般	R5	79,028	R4	74,820			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】					
	(1)	農産物直売所でのイベント実施	➤ 令和5年度の取組を継続して実施			➤ 令和6年度の取組を継続して実施					
指標	東松山農産物直売所の売上額 (千万円)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	61 (実績)	66 65	67 67	68	69	70
施策の 今後の 方向性 評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 東松山農産物直売所などが実施するTABETEレスキュー直売所がメディアで取り上げられたことで知名度が向上した。今後もTABETEレスキュー直売所を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったイベントを積極的に開催する。また、農林公園では、イチゴの摘み取り体験や野菜の収穫体験、カフェの運営などを実施するとともにイベントの開催などにより、市内外からの集客を図る。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり
推進項目 10 民間の活力やノウハウの活用

【説明】 市民ニーズを的確に把握し、事業者等と連携した特産品の開発やPRなどを推進します。

5 活性化 ～元気で活力のある にぎわいのまち～

5-2 商業の活性化

5-2-1 商業の振興



優先度 施策①【商店街活性化の促進】											
◎ 「東松山タウン情報」を活用し、商店街の活性化に向けた事業を推進します。「商店街空き店舗対策事業補助金」のより一層の周知に取り組み、空き店舗の活用を進めることで中心市街地のにぎわいの創出につなげます。											
事業	(1)	商店街活性化事業	商工観光課	一般	R5	9,968	R4	7,118			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	商店街空き店舗対策事業補助制度運用	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	空き店舗活用件数（件）【累計】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	21 (実績)	25 26	27 28	29	31	33
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 商店街空き店舗対策事業補助制度を利用した空き店舗活用は累計28件となった。また、商店街活性化推進事業補助制度については5件の事業を支援した。今後も商店街の活性化につながる制度について、商工会や商店会とも連携し、より一層の周知を図り、制度の活用を推進し、商店街の活性化につなげる。					

優先度 施策②【商工業者への支援】											
地域産業の発展と市内生産物に対する理解を深めるとともに、地域ブランド認定品の市外への認知度向上及び市内産業の振興と地域経済の活性化を目指し、地域ブランド認定制度を運用します。											
事業	(1)	商工業振興事業	商工観光課	一般	R5	26,636	R4	28,076			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	「ひがしまつやまプライド」認定品の充実とPR強化	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	「ひがしまつやまプライド」認定数（件）【累計】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	5 (実績)	11 17	14 24	17	20	23
施策と今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 認定部門を食品部門、工芸・芸術部門の2つに分け、食品部門でランクアップ更新3者、新規認定3者を、工芸・芸術部門で新規認定1者を認定することができた。令和5年度は現認定品を積極的にPRするとともに認定品の充実に向け、より一層の制度周知により制度の活用を促進し、市内商工業の活性化につなげる。					

優先度	施策③【経営基盤安定化への支援】									
	商工会と連携して策定する「経営発達支援計画」や「事業継続力強化支援計画」に基づき、商工会への支援を通じて、中小企業がより安定的に事業を継続できるような取組を推進します。									
事業	(1)	小口融資事業	商工観光課	一般	R5	15,500	R4	15,618		
	(2)	商工業振興事業	商工観光課	一般	R5	26,636	R4	28,076		
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(2)	「経営発達支援計画」に基づく商工会との協力・強化	>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	経営革新計画策定企業数（社）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				→	22 (実績)	20	20	20	20	20
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 商工会と共同で作成した「経営発達支援計画」に基づき、事業計画策定支援に積極的に取り組む商工会を引き続き支援し、経営革新計画策定を要件とするがんばる中小企業等応援補助制度の活用を促進することで、市内中小企業の経営基盤の安定化につなげる。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり
推進項目10 民間の活力やノウハウの活用

【説明】 商工会や地域の商店会との連携強化により、民間の活力やノウハウを活用し、商店街の活性化を図ります。

5 活性化 ～元気で活力のある にぎわいのまち～

5-3 産業振興と就労支援の充実

5-3-1 産業振興と就労支援の充実



優先度 施策①【強みを生かした企業誘致の推進】											
土地利用の推進や、利便性の高い交通網を生かした企業誘致に取り組みます。既存企業への支援も継続し、地域内産業の更なる活性化を目指します。											
事業	(1)	がんばる企業応援事業	政策推進課	一般	R5	20,184	R4	55,523			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	がんばる企業応援条例による奨励金制度運用	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	がんばる企業応援条例による支援企業数（社）【累計】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	18 (実績)	22	24	26	28	30
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 新たな産業用地として調整を進めてきた「きじやま地区」について、物流倉庫が令和4年10月末に竣工し、進出企業も1社決定した。今後も本市の強みである利便性の高い交通網を活かした企業誘致に引き続き取り組む。また、進出企業への優遇措置となるがんばる企業応援条例に基づく奨励金制度についても開発・商工関係部署との連携により制度の周知・活用を進め、企業の設備投資等を後押しする。					

優先度 施策②【既存企業への支援の充実】											
◎ 新たな事業の創出及び経営戦略に積極的に挑戦する中小企業者を応援することにより、企業の経営を向上させ、地域産業の活力ある発展につながるよう支援します。											
事業	(1)	商工業振興事業	商工観光課	一般	R5	26,636	R4	28,076			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	がんばる中小企業等応援補助制度運用	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	がんばる中小企業等応援補助金活用事業者数（社）【累計】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	0 (実績)	7	9	11	13	15
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 がんばる中小企業等応援補助制度については令和4年度に7件、累計で16件の支援を実施した。今後も商工会との連携を密にし、経営革新計画策定を要件とする補助制度の活用を促進する。					

優先度	施策③【創業に対する支援の充実】									
	創業を検討している人にチャレンジの場を提供するとともに、多様な働き方に対応した創業支援センターの利用拡大を目指し、新たな企業の誕生や雇用を創出させることで地域経済の活性化を促します。									
事業	(1) 創業支援センター事業	商工観光課	一般	R5	16,241	R4	14,930			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 創業や経営に関する相談事業の充実	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	創業支援センター共同事務室利用者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	972 (実績)	1,200 1,124	1,300 1,279	1,400	1,500	1,500
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	0	2	B	【今後の方向性：現状維持】 創業支援センター共同事務室利用者数は令和5年3月末までに延べ1,279名であった。他市における創業支援施設の価格設定や利用状況を参考にしながら、引き続き創業支援センターの利活用を促進する。				

優先度	施策④【勤労者・就労支援の充実】									
	地域内就労を促進し、地域内循環型経済の構築に取り組みます。元気なシニア世代と企業とのマッチングに取り組み、シニア世代のいきがい創出や収入確保、企業の労働力確保や技術力の継承を促進します。									
事業	(1) 雇用対策事業	商工観光課	一般	R5	1,163	R4	1,120			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1) 合同就職説明会の開催	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	説明会からの就業予定者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	28 (実績)	34 20	37 17	40	43	46
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 令和4年度は県との共催によるシニア向け就職面接会、一般向け就職面接会をそれぞれ2回ずつ開催した。また、こころプロジェクトではシニア向けの就職セミナーを開催した。今後も引き続き地域内就労を促進する。				



行政改革の視点

視点 I 健全な財政運営の推進

推進項目 1 地域経済循環の推進

【説明】 新たな企業誘致を進めるとともに既存企業や創業に対する支援により、地域経済の活性化を図ります。

5 活性化 ～元気で活力のある にぎわいのまち～

5-4 観光の振興

5-4-1 観光の振興



優先度 施策①【地域資源を活用する】											
◎ 市内観光の魅力を高めるための取組、旅行関連事業者と連携して人を呼び込むための取組を推進します。特産品の発掘やPR強化に取り組むことで、本市の認知度向上、地域経済の活性化を目指します。											
事業	(1)	商工業振興事業	商工観光課	一般	R5	26,636	R4	28,076			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	「ひがしまつやまプライド」認定品の充実とPR強化		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	「ひがしまつやまプライド」認定数（件）【累計】				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	5 (実績)	11 17	14 24	17	20	23
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 認定部門を食品部門、工芸・芸術部門の2つに分け、食品部門でランクアップ更新3者、新規認定3者を、工芸・芸術部門で新規認定1者を認定することができた。令和5年度は現認定品を積極的にPRするとともに、認定品の充実に向け、より一層の制度周知により制度の活用を促進し、地域資源の活用を図る。					

優先度 施策②【観光資源をつなぐ】											
○ 観光客の回遊性向上に向けた取組を推進します。市内及び周辺地域との連携・協働を推進し、市内を訪れるきっかけづくり、本市の観光の新たな価値の創出に取り組みます。											
事業	(1)	観光活性化事業	商工観光課	一般	R5	37,832	R4	39,374			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	北部観光ルート「みどりのみち」と南部観光ルート「まなびのみち」の活用		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	観光入込客数（万人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	255 (実績)	265 174	270 212	275	280	285
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	3	4	0	2	B	【今後の方向性：現状維持】 「みどりのみち」や「まなびのみち」は、市民活動センターによる月例ウォーキングや東武鉄道と連携した東武健康ハイキングにより活用を図った。今後も、観光協会と連携した観光ツアーや東武鉄道と連携した健康ハイキングなどによる活用を図り、観光客の回遊性向上に向けた取組を推進する。					

優先度	施策③【観光情報を届ける】									
○	観光協会ホームページのリニューアル等を継続的に推進します。テーマ性や季節性に着目した観光情報やターゲットに応じた多様な媒体による観光情報の発信を行うことで、本市の観光の認知度向上、来訪者数の拡大につなげていきます。									
事業	(1)	観光活性化事業	商工観光課	一般	R5	37,832	R4	39,374		
	(2)	マスコットキャラクター事業	商工観光課	一般	R5	752	R4	993		
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1)	観光協会との連携による他団体主催イベントへの出展・出店	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	行政、観光協会が管理を行う観光パンフレットの配架場所（件）【累計】			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	7 (実績)	14	18	22	26	30
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	2	3	1	3	D	【今後の方向性：現状維持】 観光パンフレットの配架場所として新たに静岡県伊豆の国市、宮城県東松島市、愛媛県松山市を追加した。また、観光協会と連携しながら、他団体主催イベントへの出展・出店（市内7件、市外10件）によるPRを実施した。今後も引き続き観光情報を市外に発信する。				

優先度	施策④【地元観光を楽しむ】									
○	市民にも本市の魅力や良さを積極的に発信するとともに、市民が感じる良さを収集・発信することで、市民の本市への愛着の醸成、観光への参加促進を目指します。									
事業	(1)	観光活性化事業	商工観光課	一般	R5	37,832	R4	39,374		
	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
主な取組	(1)	市広報紙「特集」掲載によりPR	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施				
	指標	市に愛着を感じる市民の割合（％）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6
↗					71.7 (実績)	-	75.0	-	80.0	-
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	2	4	0	2	D	【今後の方向性：現状維持】 市広報紙の特集号に「農林公園」（令和5年2月号）を掲載し、情報発信を行った。今後も市内観光施設を広報紙の特集号に掲載するなど機会を捉えて市民に対して魅力を発信する。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 観光協会や商工会、鉄道事業者等と連携し、市の魅力を市内外に広く発信し、観光客の誘客を推進します。

まちづくりの柱6(協働の分野) 人と地域がつながる 支え合いのまち

地域活動や地域における人づくりを支援するとともに、地域の特徴を生かしたまちづくりを推進し、人と地域がつながる支え合いのまちを目指します。また、複雑化・専門化する行政需要に適切に対応するため、効率的な自治体経営を進めるまちを目指します。



6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-1 協働によるまちづくりの推進

6-1-1 市民参加の促進



優先度	施策①【自治会やハートピアまちづくり協議会を中心とする各地区による地域活動の推進】							
◎	自治会やハートピアまちづくり協議会が行う様々な活動を支援するとともに、相互に連携した取組を進めることにより、安心、安全で魅力と活気に満ちた地域の実現を目指します。							
事務事業	(1)	コミュニティ活動推進事業	地域支援課	一般	R5	88,888	R4	86,801
	(2)	地域活動推進事業	地域支援課	一般	R5	11,760	R4	11,594
	(3)	市民活動支援事業	地域支援課	一般	R5	803	R4	782
	(4)	学級・講座開催事業	地域支援課	一般	R5	365	R4	369
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】	
	(1)	・「花いっぱい推進計画」に基づく取組の実施と進捗管理 ・ハートピアまちづくり協議会と協働による各地区事業の実施		>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント		
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：方法改善】 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、各地区文化祭や防災訓練など、実施可能な活動を再開し、事業やイベントへの市民参加を促したが、ここ3年間の事業やイベントを中止した影響は大きく、目標を達成することはできなかった。今後は新型コロナウイルス感染症の拡大以前の状況、更には現状に合わせ事業イベントをブラッシュアップするなど、各地区で市民が参加しやすい事業を計画し実施する。		

優先度	施策②【災害や感染症を踏まえた地域活動の継承と発展】										
○	地域活動が減退した地域との意思疎通や被災者の生活再建支援をきめ細かに行い、課題認識を共有します。市民、事業者、行政の役割を明確化した上で、それぞれが連携した取組を進められるよう支援します。										
事務事業	(1)	市民活動施設管理事業	地域支援課	一般	R5	193,684	R4	227,489			
	主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
(1)		・市民活動施設の管理保守及び建物修繕 ・ハートピアまちづくり協議会との連携強化		>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施			
指標	地域活動へ参加している市民の割合 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
	<施策①②共通>				→	41.0 (実績)	-	43.0	-	45.0	-
施策の今後の方向性評価	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：方法改善】 まちづくりサポート事業の補助団体である「てとて」と協働し、講演会や地域住民との交流会（茶話会）を通じて、地域住民に災害への意識啓発を行った。新型コロナウイルス感染症の影響下で各地区ハートピアまちづくり協議会と共催で企画した事業をすべて実施することはできなかったが、今後は自治会連合会と連携を図るなど、幅広く活動することで、市民活動の活性化につなげる。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり
推進項目 9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 地域における課題の解決や魅力向上につながる活動を支援し、それぞれの目指すべき地区の姿を実現するため、各地区市民活動センターを拠点として、ハートピアまちづくり協議会の連携を更に深めます。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-2 人権・平和意識の高揚

6-2-1 人権意識の高揚



優先度 施策①【人権意識の向上】											
◎ 正しい理解と認識を深めるとともに、人権意識を高めるための研修会、各種媒体等を通じて意識啓発を推進します。相談窓口の周知や相談しやすい体制づくりに取り組むとともに、協力体制の充実に取り組みます。											
事業	(1)	人権施策推進事業	人権市民相談課	一般	R5	3,296	R4	3,068			
	(2)	人権擁護・更生保護事業	人権市民相談課	一般	R5	1,412	R4	1,450			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	人権施策推進指針の改定 人権に関する講演会等の開催		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
(2)	人権擁護・更生保護の充実										
指標	人権啓発事業に参加して人権問題についての関心や理解が深まったと思う人の割合 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	89.2 (実績)	89.0 92.3	89.0 95.6	89.5	89.5	90.0
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 研修会等で人権意識の向上を図ることができ、目標値を上回った。引き続き、市ホームページを活用した情報発信や講演会等を通じて、様々な人権問題について周知・啓発を行い、人権意識の向上を図る。					

優先度 施策②【人権教育の推進】											
○ 人権を尊重した教育を計画的に推進するとともに、家庭や地域、関係機関と連携した人権教育や人権啓発活動の充実に取り組みます。インターネット上の人権侵害等の新たな人権課題にも対応する教育を推進します。											
事業	(1)	人権教育事業	生涯学習課	一般	R5	10,873	R4	10,544			
	(2)	教育指導事業	学校教育課	一般	R5	153,897	R4	147,628			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	人権教育推進協議会研修会の開催		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
(2)	人権教育週間における人権作文作成などの人権教育の充実 教職員向けの研修会の実施										
指標	人権感覚育成プログラムの活用校数 (校)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	12 (実績)	14 16	15 16	16	16	16
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	4	A	【今後の方向性：現状維持】 各学校において人権感覚育成プログラムを活用した人権教育を実施した。また、教職員向けの研修もを行い、教員の人権意識を高めることができた。引き続き、管理職・若手教員向け研修会等を通じて教職員の指導力の向上を図り、児童生徒への人権教育を推進する。					

優先度	施策③【男女共同参画社会の推進】									
	あらゆる分野における男女共同参画の意識啓発を行います。支え合いの下で豊かな生活が送れるようなワーク・ライフ・バランスの普及啓発を推進します。相談しやすい体制づくりや支援体制の充実を目指します。									
事業	(1)	男女共同参画推進事業	人権市民相談課	一般	R5	957	R4	996		
	(2)	市民相談事業	人権市民相談課	一般	R5	1,571	R4	1,510		
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	男女共同参画に関する講演会等の開催、配偶者暴力相談支援センターでの	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
	(2)	法律相談、司法書士相談、行政書士相談、公証相談、不動産相談、行政相談								
指標	「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識に反対する市民の割合（％）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	36.6	-	38.0	-	40.0	-
					(実績)	-	44.0			
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 周知・啓発を行ったことから、性別役割分担意識について理解が深まり、目標値を上回った。 今後も広報紙・HPへの男女共同参画情報の掲載や専門講座等を開催し、固定的な性別役割分担意識の解消の周知・啓発を図る。				



行政改革の視点

視点Ⅱ 効率的な行政運営と組織力の向上

推進項目 7 職員の意識改革と人材育成

【説明】 職場における男女共同参画の実現のため、ワーク・ライフ・バランスや、女性の活躍を推進するための研修会等を実施し、職員の意識改革と人材の育成を図ります。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-2 人権・平和意識の高揚

6-2-2 平和意識の高揚



優先度 施策①【平和意識の醸成】											
○ 学校や市民に幅広く「花とウォーキングのまちの平和賞」への参加を呼びかけ、応募してもらうことで、平和意識の醸成を進めます。											
事業	(1)	平和都市推進事業	総務課	一般	R5	1,159	R4	938			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	「花とウォーキングのまちの平和賞」の開催、ピーストレッキングの開催、埼玉県平和資料館との連携事業の実施		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	花とウォーキングのまちの平和賞応募数（件）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	1,556 (実績)	1,600	1,650	1,700	1,750	1,800
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	3	4	4	2	A	【今後の方向性：方法改善】 市内の若い世代の平和意識を醸成することを目的に、令和4年度から一般と市内小学校・中学校・高校に絵画の募集対象を変更したところ、応募者が令和3年度の74人から78人と増加した。令和5年度は、作文の応募者を増やすために参加賞を設けるなど、取組の改善を図りながら、より多くの市民の平和意識の醸成を図る。					

優先度 施策②【戦時体験の継承】											
◎ 様々な手段により多方面にPRすることで、戦没者追悼・平和祈念式典を開催し、参列者数を維持していきます。埼玉県平和資料館との連携や資料の活用などを通じ、戦時体験等の継承に取り組みます。											
事業	(1)	戦没者追悼式事業	総務課	一般	R5	317	R4	276			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	戦没者追悼・平和祈念式典の開催		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	戦没者追悼・平和祈念式典参列者数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	194 (実績)	190	190	190	190	190
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：方法改善】 令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染症のため献花式のみの実施とされていたが、令和4年度は式典を実施したところ、参加者は102人であった。しかし、平成30年度まで行っていた小学生による合唱が新型コロナウイルス感染症により実施できず、参加者の減少に影響している。合唱は小学生やその保護者が式典に参加し、平和意識の向上につながることから、令和5年度については、新型コロナウイルス感染症対応の状況を勘案しながら、合唱が行えるよう教育委員会と調整を行う。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 8 市民参加の促進

【説明】 より多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを継承するため、小・中学校や自治会等に事業を広く周知し、市民参加を促進します。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-3 生涯学習・生涯スポーツの推進

6-3-1 生涯学習の推進



優先度								施策①【社会教育の充実と自主的な学習の推進】							
◎								様々な分野の社会教育講座を開催するとともに、きらめき出前講座等の内容を充実します。「いきいきパス・ポイント事業」の活用により、高齢者の生涯学習への参加を促進し、いきがいや地域社会とのつながりを創出します。							
事務事業	(1)	生涯学習推進事業	生涯学習課	一般	R5	1,877	R4	1,802							
	(2)	社会教育推進事業	生涯学習課	一般	R5	5,987	R4	5,909							
	(3)	はたちの集い事業	生涯学習課	一般	R5	1,455	R4	1,410							
	(4)	市民大学運営事業	生涯学習課	一般	R5	4,821	R4	5,397							
	(5)	市民大学施設管理事業	生涯学習課	一般	R5	14,066	R4	14,597							
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】				【令和7年度の取組予定】							
	(2)	各市民活動センター等を会場とした社会教育講座の実施	➤	令和5年度の取組を継続して実施				➤	令和6年度の取組を継続して実施						
(2)	市民文化センターにおいて中学2年生を対象とした科学講演会の開催														
指標	社会教育講座参加者数の合計（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7				
					↗	543 (実績)	600	625	650	675	700				
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント									
	4	3	3	3	A	【今後の方向性：現状維持】 新たに開設した「いきいきシルバー講座」は、複数の高齢者向け講座を集約して情報発信し、多くの高齢者の参加を促進することができた。引き続き、市民ニーズや社会の要請を踏まえ、講座の充実を図ることで、参加者の増加を目指す。									

優先度	施策②【図書館の充実】										
○	各世代のニーズに対応した資料や講座などの充実に取り組みます。施設機能の維持に計画的に取り組むとともに、民間活力の導入を含めた運営体制の見直しについて研究を進めます。										
事務事業	(1)	図書館運営事業	生涯学習課	一般	R5	2,054	R4	2,054			
	(2)	図書館サービス事業	生涯学習課	一般	R5	100,389	R4	98,207			
	(3)	図書館施設維持管理事業	生涯学習課	一般	R5	66,892	R4	46,880			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】					
	(2)	第2次子ども読書活動推進計画に基づく子どもの発達段階に応じた取組の実施	>	令和5年度の取組を継続して実施		>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	1日当たりの平均貸出点数（点）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	1,968 (実績)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：方法改善】 新型コロナウイルス感染症対策の段階的な緩和に合わせ、図書館の利用を促進したが、1日あたりの平均貸出点数は、対前年度比で減少となった。今後は、市民ニーズに応じた図書館サービスの見直し（電子図書館サービスの充実や、利用者の少ないなしの花図書室の運営方法など）を進める。					

行政改革の視点



視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり
推進項目 8 市民参加の促進

【説明】 社会教育講座をはじめ、きらめき出前講座、小・中学校開放講座等、市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供により、広く市民の参加が得られる講座を実施します。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-3 生涯学習・生涯スポーツの推進

6-3-2 生涯スポーツの推進



優先度 施策①【日本スリーデーマーチの充実とウォーキングの推進】											
◎	日本スリーデーマーチは基本コンセプトを維持しつつ、新たな視点や取組を取り入れ魅力をさらに向上させるとともに、日本一安心して安全で快適に歩ける大会を目指します。市民がウォーキングの効能・効果を楽しむことができるような取組を充実させます。										
事業	(1)	ウォーキング事業	スポーツ課	一般	R5	27,746	R4	28,093			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	新たな視点や取組を取り入れ魅力をさらに向上した大会の開催		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	ウォーキング事業参加者数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	6,028 (実績)	6,200 9,330	6,400 10,772	6,600	6,800	7,000
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	3	B	【今後の方向性：方法改善】 日本スリーデーマーチについては4年ぶりに通常規模の大会を開催することができ、多くのウォーカーや関係者から高い評価を得ることができた。一方で、コスト面や運営等で課題もあることから、令和5年度以降の大会開催に向けた改善策を検討する。その他のウォーキング事業については計画どおり実施することができた。今後は、本市ウォーキング事業の拠点であるウォーキングセンターでの事業の充実を図る。					

優先度 施策②【スポーツを楽しむ環境づくりの推進】											
○	スポーツ施設の適切な維持管理に取り組むとともに、中長期的な視点により施設の在り方を整理します。スポーツに関わる指導者の資質向上やスポーツ活動に対する理解を深める取組を推進します。										
事業	(1)	スポーツ推進事業	スポーツ課	一般	R5	15,844	R4	14,915			
	(2)	スポーツ施設管理事業	スポーツ課	一般	R5	172,845	R4	171,655			
	(3)	スポーツ施設整備事業	スポーツ課	一般	R5	186,196	R4	6,280			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	指導者の資質向上やスポーツ活動に対する理解を深める研修会の開催		>	令和5年度の取組を継続して実施			>	令和6年度の取組を継続して実施		
指標	スポーツ指導者研修会参加者数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	104 (実績)	120 -	140 (中止)	160	180	200
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 南中学校夜間照明設備更新工事などの施設整備が予定どおり完了した。今後も引き続き、計画的な修繕、整備を実施する。また、広報広聴課やスポーツ協会と連携してスポーツ関連情報の発信の強化に継続して取り組む。					

優先度	施策③【ライフステージに応じたスポーツ活動の推進】									
	市民一人一人が年齢や健康状態に応じた目的や方法によりスポーツに親しみ、気軽にスポーツ活動に参加できる環境を整えます。「いきいきパス・ポイント事業」を活用した事業に取り組み、高齢者の健康寿命の延伸やいきがづくりを推進します。									
事業	(1)	スポーツ推進事業	スポーツ課	一般	R5	15,844	R4	14,915		
	(2)	学校体育施設開放事業	スポーツ課	一般	R5	4,637	R4	42,883		
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】			
	(1)	ライフステージに応じたスポーツ教室やイベントの開催	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	スポーツ関連事業参加者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	1,200 (実績)	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、必要な感染対策を講じてスポーツ発見教室などの諸事業を予定どおり実施することができた。今後は、スポーツ発見教室の開催回数を増加するなど、子どものスポーツ活動を更に推進する。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目 1 1 大学との連携

【説明】

近隣大学と連携しながらスポーツ教室を展開することで、学生など人材を活かした取組を図ります。また、日本スリーデーマーチ開催に際しては、ボランティアをはじめ運営面での協働を推進します。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-4 文化・芸術の振興

6-4-1 文化・芸術の振興



優先度 施策①【文化・芸術活動の促進】											
◎	市民が活動に参加できる機会を増やしていくとともに、子どもたちが質の高い文化芸術に接する機会、文化芸術団体の発表機会の提供や活動支援を充実させます。また、地域の資源を活用し、本市の魅力向上と地域の活性化につなげます。										
事業	(1)	文化普及推進事業	生涯学習課	一般	R5	16,077	R4	10,179			
	(2)	市民文化センター管理事業	生涯学習課	一般	R5	71,926	R4	59,904			
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】					
	(1)	彫刻家・高田博厚の企画展及び関連事業の実施	➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施			
	(1)	市民参加型事業 小・中学校アウトリーチ事業									
指標	東松山市文化祭参加者数（人）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	5,623	5,700	5,850	6,000	6,150	6,300
						(実績)	1,588	3,753			
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	3	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 小・中学生向けアウトリーチプログラムや東松山市文化祭、高田博厚の巡回展・企画展など幅広く事業を実施したが、特に東松山市文化祭については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催規模の縮小を余儀なくされ、参加者数は目標を下回った。今後は、文化・芸術活動の更なる促進のため、文化芸術団体の自主的・創造的な事業に対する支援、市の文化芸術資源である高坂彫刻プロムナードを活用した事業を推進する。					

優先度 施策②【歴史継承の推進】											
○	歴史的、地域的、文化的な特色に配慮し、既刊の東松山市史の続編として、昭和50年から約45年間の市の歴史を編さんします。										
事業	(1)	市史編さん事業	生涯学習課	一般	R5	9,937	R4	7,217			
	主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
(1)	東松山市史の編さん 東松山市史の完成	-	-			-	-				
指標	東松山市史の編さん				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					-	-	-	-	完了	-	-
						(実績)	-	-			
施策の今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 令和5年度の完了に向け、令和4年度は年4回市史編さん委員会を開催し、市史の各章の2次稿を完成させた。令和5年度においては、引き続き校閲作業等を行い市史を完成させる。					

優先度	施策③【国際交流の推進】									
○	国際交流協会の事業を通じ、日本語学習や日本文化を習得する機会を提供し、本市で安心して暮らせるよう支援します。文化や習慣の違いや歴史などへの認識を深め、相互理解につなげていきます。									
事業	(1)	国際交流事業	総務課	一般	R5	1,021	R4	1,021		
主な取組	【令和5年度の取組】		【令和6年度の取組予定】		【令和7年度の取組予定】					
	(1)	国際交流協会への支援	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施				
指標	国際交流協会事業への外国籍参加者数（人）			方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
				↗	1,585 (実績)	1,650 753	1,700 1,133	1,750	1,800	1,850
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント				
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 新型コロナウイルス感染症のため、令和3年度までは実施できない事業もあったが、可能な限り事業を実施した結果、令和4年度の外国籍参加者数は1,133人と増加した。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症のため減少した参加者をさらに増やすため、積極的に事業を実施し、広報についても協会HPや協会会報誌のみでなく、市のSNS等を利用し、多くの方に参加を促すことで交流機会の充実を図る。				



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目9 市民・事業者と行政の協働の推進

【説明】 高坂彫刻プロムナードの再整備を機に、広く広報活動を展開し、市への来訪者増加を図ります。市民が身近に芸術と接することのできる機会を提供するため、文化まちづくり公社や東松山市国際交流協会をはじめとする各種機関との連携を強化します。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-4 文化・芸術の振興

6-4-2 文化財保護



優先度 施策①【文化財の保護と継承】											
◎	記録、保存を行うための調査を進めるとともに、計画的に文化財の保護・保全を進めます。史跡の景観保全や、無形民俗文化財に関する活動、後継者の育成を支援するなど、指定文化財の適切な管理及び支援を推進します。										
事業	(1)	文化財保存事業	生涯学習課	一般	R5	9,297	R4	9,141			
	(2)	文化財調査事業	生涯学習課	一般	R5	9,882	R4	7,236			
主な取組	【令和5年度取組】			【令和6年度取組予定】			【令和7年度取組予定】				
	(1)	「東松山市文化財保存活用地域計画」の作成	(1)	文化庁による計画の認定、策定、計画書印刷	(1)	計画による事業の実施					
	(1)	大谷瓦窯跡、指定史跡等の維持管理	>	令和5年度取組を継続して実施	>	令和6年度取組を継続して実施					
指標	指定文化財パトロールの実施率				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	80 (実績)	80 63	85 87	90	95	100
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	3	A	【今後の方向性：現状維持】 計画的に文化財パトロールを進めたことで、目標を達成することができた。なお、パトロールで指摘事項があった際は、速やかに確認・対応を行っており、引き続きパトロール結果を踏まえた確認・対応を継続する。また、指定史跡等の維持管理、調査による文化財等の正確な情報の確認等、文化財を長く保存していくために必要な事業を継続する。					

優先度 施策②【文化財の啓発と活用】											
○	指定文化財の情報を公開・発信することで、市民が貴重な文化財を知る機会を充実させます。これらの機会を通じて、地域ぐるみで貴重な文化財を保護していく体制の構築につなげます。学術的評価の高い文化財などは、効果的な活用方法を検討します。										
事業	(1)	文化財啓発事業	生涯学習課	一般	R5	1,665	R4	2,212			
	(2)	埋蔵文化財センター運営事業	生涯学習課	一般	R5	23,058	R4	14,167			
主な取組	【令和5年度取組】			【令和6年度取組予定】			【令和7年度取組予定】				
	(1)	文化財講座、文化財めぐり等の実施	>	令和5年度取組を継続して実施	>	令和6年度取組を継続して実施					
指標	調査研究成果の公開回数（回）				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	10 (実績)	11 6	12 10	13	14	15
施策と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	4	2	A	【今後の方向性：現状維持】 目標達成には至らなかったが、社会教育講座との連携により前年比では大幅に改善した。講座以外でもパンフレット作成や市広報紙での企画連載など、市内の文化財について様々な紹介を行っており、今後も、市民が文化財を知る機会を増やすことにより、文化財保護意識の醸成を図る。					



行政改革の視点

視点Ⅲ 市民満足度の向上と協働のまちづくり

推進項目8 市民参加の促進

【説明】文化財講座や民俗芸能祭の開催などを通じて、文化財に対する理解と関心を高めるとともに、広く文化財に親しむ機会を提供し、市民参加を促進します。

6 協働 ～人と地域がつながる 支え合いのまち～

6-5 健全な行財政運営

6-5-1 健全な行財政運営



優先度 施策①【健全な財政運営と効果的な予算執行】											
◎	自主財源の確保に取り組むとともに、市債への依存度抑制に取り組みます。経常的支出の抑制や事務事業の必要性や優先順位を踏まえた選択、公共施設の在り方の見直しを通じた歳出の抑制に取り組みます。										
事務事業	(1)	財政運営事業	財政課	一般	R5	3,115	R4	3,066			
	(2)	政策推進事業	政策推進課	一般	R5	1,237	R4	1,337			
	(3)	総合計画管理事業	政策推進課	一般	R5	553	R4	553			
	(4)	外郭団体等管理事業	政策推進課	一般	R5	19,439	R4	18,111			
	(5)	シティプロモーション事業	政策推進課	一般	R5	98	R4	118			
	(6)	ふるさと納税推進事業	政策推進課	一般	R5	53,745	R4	12,878			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	財政の健全性を維持、向上させるため、自主財源の確保、経常的支出の抑制を図った予算の編成		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
(6)	ポータルサイトの拡充、新規返礼品の開拓、返礼品のPR強化										
指標	経常収支比率 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	96.4 (実績)	96.4	96.2	96.2	96.2	96.2
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：拡大・充実】 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、地方交付税の追加交付などにより、経常収支比率の減少が見られるが、引き続き、実施手段等の見直しによる経常的支出の抑制や事業の見直しを行い、経常収支比率の向上を図る。 ふるさと納税制度を活用した本市への寄附は増加傾向にあるため、更なる寄附受入額の増加を目指し、ポータルサイトの拡充や新規返礼品の開拓、SNS等を活用したPRの強化に取り組む。					
優先度 施策②【広報広聴の充実による情報共有】											
様々な媒体を通じて、市政情報をわかりやすく発信するとともに、パブリシティを推進します。市民の意見や要望を把握、分析し、市政に反映させます。											
事務事業	(1)	広報活動事業	広報広聴課	一般	R5	27,492	R4	4,070			
	(2)	広報紙発行事業	広報広聴課	一般	R5	13,383	R4	13,123			
	(3)	広聴活動事業	広報広聴課	一般	R5	10	R4	2,434			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	市ホームページ、SNS、報道発表等を利用した市政情報の発信		➤	令和5年度の取組を継続して実施			➤	令和6年度の取組を継続して実施		
(3)	市長へのメールや要望書などでの市民の意見や要望の把握		(3)		市民意識調査の実施、市長へのメールや要望書などでの市民の意見や要望の把握		(3)		市長へのメールや要望書などでの市民の意見や要望の把握		
指標	市政情報がマスコミ報道された回数 (回)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	181 (実績)	189	197	205	213	221
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	1	2	B	【今後の方向性：現状維持】 SNS等での情報発信は効果的に発信することができ、マスコミ報道された件数は目標を達成することができた。今後は、市公式ホームページのリニューアルにより、スマートフォンでの閲覧にもより良く対応しながら情報発信を強化する。また市制施行70周年に向けNHK番組誘致、記念誌の作成等により市の魅力を市外に発信する。市民の要望等は市民意識調査により把握でき、市民意識調査の結果については、関係部署と共有し市政に反映していく。					

優先度	施策③【公共施設の適正な維持管理の推進】										
○	「東松山市公共施設等総合管理計画」に基づく施設の長寿命化策を講じるとともに、住民ニーズに応じた公共施設の機能を維持し、中長期的な視点で施設総量の適正化に取り組みます。										
事業	(1)	公共施設設計監理事業	管財課	一般	R5	1,126	R4	968			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(1)	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく施設の維持管理	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	一般会計の歳出に占める公共施設の維持管理費 (%)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					→	3.9 (実績)	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	2	B	【今後の方向性：現状維持】 老朽化が進行する中で施設の長寿命化策を講じるとともに、住民ニーズに応じた公共施設の機能を維持し、中長期的な視点で施設総量の適正化に取り組む。					

優先度	施策④【適材適所の人事管理と人材育成】										
	多様な採用方法を検討、導入し、やる気と能力のある人材の確保を進めます。人事評価制度を活用し、適切な処遇への反映と人材育成に取り組むとともに、有能な人材の積極的な登用を加速させます。										
事業	(1)	職員研修事業	人事課	一般	R5	3,601	R4	3,454			
	(2)	公平委員会共同設置負担金事業	人事課	一般	R5	368	R4	171			
	(3)	職員福利厚生事業	人事課	一般	R5	11,291	R4	10,986			
	(4)	職員労務管理事業	人事課	一般	R5	4,872,967	R4	4,789,178			
	(5)	会計年度任用職員等管理事業	人事課	一般	R5	168,787	R4	155,553			
主な取組	【令和5年度の取組】			【令和6年度の取組予定】			【令和7年度の取組予定】				
	(4)	・公務員試験対策不要で人物重視の前期試験及び従来型の後期試験の実施 ・改善した評価基準に基づく人事評価制度の適切な運用と処遇への反映	>	令和5年度の取組を継続して実施	>	令和6年度の取組を継続して実施					
指標	一般事務職の職員採用試験申込者数 (人)				方向性	現状値	R3	R4	R5	R6	R7
					↗	97 (実績)	117	120	123	126	127
と今後の方向性	妥当性	有効性	効率性	達成度	総合評価	担当課コメント					
	4	4	2	4	A	【今後の方向性：現状維持】 職員採用試験を2回に分けて実施し、前期を公務員試験対策不要で人物重視の試験とした結果、目標を大きく上回る申込者数を確保している。また、受験手続についても電子申請を採用して効率化と利便性の向上を図ったほか、就職氷河期世代採用を新たに設けたことにより、更なる申込者数の増加につながっている。これらの取組を、引き続き実施していく。					

行政改革の視点



視点Ⅱ 効率的な行政運営と組織力の向上

推進項目 6 効率的な組織の再編成と事務分掌

【説明】 多様化、専門化する市民ニーズや行政課題に、迅速かつ的確に対応できるよう組織・機構の適宜見直しを実施します。

参考資料
(施策の令和4年度評価結果)



基本施策1-1-1 安心で楽しい子育て環境づくり		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策1-1-1 安心で楽しい子育て環境づくり		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		拡大・充実		拡大・充実	

基本施策1-1-2 青少年の健全育成と若者の支援		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策1-2-1 乳幼児期における支援の充実		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがあ	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策1-2-1 乳幼児期における支援の充実		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがあ	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策1-3-1 学校教育の充実		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策1-3-1 学校教育の充実		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策1-3-2 教育環境の整備		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策2-1-1 健康づくりの推進		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策2-1-1 健康づくりの推進		施策④		施策⑤		施策⑥	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策2-2-1 保健・医療体制の充実		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A		A	
今後の方向性		拡大・充実		現状維持		現状維持	

基本施策2-2-2 市民病院の充実		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがあ	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		拡大・充実		拡大・充実	

基本施策2-2-2 市民病院の充実		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがあ	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		拡大・充実		拡大・充実	

基本施策2-3-1 地域福祉の推進		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策2-3-1 地域福祉の推進		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策2-3-2 社会保障の充実		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持		拡大・充実	

基本施策2-4-1 高齢者支援の充実		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策2-4-1 高齢者支援の充実		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策2-5-1 障害者支援の充実		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持		拡大・充実	

基本施策3-1-1 良好な地域環境の保全		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策3-2-1 自然に親しむ空間整備の推進		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		D		B	
今後の方向性		現状維持		方法改善		現状維持	

基本施策3-3-1 資源循環の推進		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-1-1 防災・減災のまちづくり		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-1-1 防災・減災のまちづくり		施策④		施策⑤		施策⑥	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-2-1 計画的なまちづくりの推進		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-2-1 計画的なまちづくりの推進		施策④		施策⑤		施策⑥	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-3-1 道路の整備と維持管理		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-3-2 上下水道の整備		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-3-3 河川の整備		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策4-4-1 交通安全・防犯対策の推進		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策5-1-1 農業の振興		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策5-1-1 農業の振興		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策5-2-1 商業の振興		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策5-3-1 産業振興と就労支援の充実		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策5-3-1 産業振興と就労支援の充実		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策5-4-1 観光の振興		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		B	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策5-4-1 観光の振興		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		D		D	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策6-1-1 市民参加の促進		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		方法改善		方法改善	

基本施策6-2-1 人権意識の高揚		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持		現状維持	

基本施策6-2-2 平和意識の高揚		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		方法改善		方法改善	

基本施策6-3-1 生涯学習の推進		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		B	
今後の方向性		現状維持		方法改善	

基本施策6-3-2 生涯スポーツの推進		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A		B	
今後の方向性		方法改善		現状維持		現状維持	

基本施策6-4-1 文化・芸術の振興		施策①		施策②		施策③	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A		A	
今後の方向性		拡大・充実		現状維持		現状維持	

基本施策6-4-2 文化財保護		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		A		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

基本施策6-5-1 健全な行財政運営		施策①		施策②	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		B	
今後の方向性		拡大・充実		現状維持	

基本施策6-5-1 健全な行財政運営		施策③		施策④	
妥当性:住民ニーズや住民満足度等の項目により 施策 の妥当性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
妥当性①実施主体	ほかに実施主体がなく、市が取組を廃止・休止すると影響が大きい。	小さい	大きい	小さい	大きい
妥当性②必要性・緊急性	厳しい財政状況の中でも、継続して実施する必要性や緊急性がある。	ない	ある	ない	ある
妥当性③満足度	市民満足度の向上のために、現在の取組内容が適切である。	適切でない	適切である	適切でない	適切である
妥当性④ニーズ	市民ニーズが高い。	低い	高い	低い	高い
有効性:基本施策や指標への貢献度、効果の有無等の項目により 施策 の有効性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
有効性①取組内容	施策の目的の実現に資する取組内容である。	ない	ある	ない	ある
有効性②貢献度	基本施策や指標への貢献度が高い。	低い	高い	低い	高い
有効性③類似重複	市が実施する他の取組に類似・重複したものがある。	ある	ない	ある	ない
有効性④期待効果	取組を継続することにより成果の向上が期待できる。	できない	できる	できない	できる
効率性:費用対効果や民間活力の活用の有無、実施手段の見直しの有無等により 施策 の効率性を評価		選 択		選 択	
		配点:0	配点:1	配点:0	配点:1
効率性①コスト	コストに見合った成果が得られている。	いない	いる	いない	いる
効率性②他者	他の実施主体のノウハウや制度等を活用することで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性③実施手段	実施手段等を見直すことで、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
効率性④デジタル化	デジタル化により、効率性を高めることができる。	できる	できない	できる	できない
達成度:数値目標の達成状況を踏まえて 指標 の達成度を評価		達成度(配点)		達成度(配点)	
取組に着手できていない		未着手(1点)		未着手(1点)	
目標を達成していない		達成していない(2点)		達成していない(2点)	
目標を達成している		達成している(3点)		達成している(3点)	
目標を大きく上回っている		十分達成している(4点)		十分達成している(4点)	
総合評価		B		A	
今後の方向性		現状維持		現状維持	

第五次東松山市総合計画 3か年実施計画書
(令和5年度～令和7年度)

令和5年6月発行

〒355-8601

東松山市松葉町1-1-58

T e l 0 4 9 3 - 2 3 - 2 2 2 1 (代 表)

URL <http://www.city.higashimatsuyama.lg.jp/>



数値目標・KPI達成状況一覧

基本目標・施策	(基本目標) 数値目標 ・ (施策) KPI	基準値	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7	目標値 (R7)
基本目標1 魅力を高め、 新たな人の流れをつくる	年間観光入込客数	255万人 (令和元年)	174万人 (令和3年)	212万人 (令和4年)				285万人
	社会増の維持	343人 (令和元年)	452人 (令和3年)	660人 (令和4年)				343人
	「東松山市に愛着を感じている」市民の割合	71.70% (平成30年度)	71.30% (令和2年度)	72.70% (令和4年度)				80.00%
施策1-1 地域資源の連携による観光の魅力向上	「東松山市農林公園」利用者数	7,498人 (令和元年度8月～3月)	40,872人 (令和3年度)	56,090人 (令和4年度)				56,000人
	「東松山市化石と自然の体験館」利用者数	19,186人 (令和元年度)	12,201人 (令和3年度)	14,619人 (令和4年度)				20,000人
施策1-2 ウォーキングによる魅力づくり	日本スリーデーマーチの参加者数	82,259人 (平成30年度)	10,089人 (令和3年度)	51,738人 (令和4年度)				85,000人
施策1-3 東松山の魅力発信による移住定住の促進	移住定住サイト(全体)の総閲覧回数(年間PV数)	31,442PV (令和元年度)	103,923PV (令和3年度)	120,449PV (令和4年度)				33,600PV
施策1-4 新たな資金の流れの創出・拡大	令和3年度から令和7年度までの5年間のふるさと納税件数	— (令和元年度)	591件 (令和3年度)	2,840件 (令和4年度)				1,000件
基本目標2 産業を振興し、働きたいまちをつくる	市内事業所数	3,455事業所 (平成28年)	—	3,392事業所 (令和3年)				3,455事業所
	市内従業者数	38,525人 (平成28年)	—	43,021人 (令和3年)				38,525人
施策2-1 新規企業立地等の推進	「東松山市がんばる企業応援条例」による支援企業数【累計】	18社 (令和元年度)	22社 (令和3年度)	25社 (令和4年度)				30社
施策2-2 既存企業の支援	がんばる中小企業等応援補助事業者数【累計】	— (令和2年度)	9社 (令和3年度)	16社 (令和4年度)				15社
施策2-3 創業の支援	創業支援センター利用者数	972人 (令和元年度)	1,124人 (令和3年度)	1,279人 (令和4年度)				1,500人
施策2-4 農業の担い手の育成・確保	青年農業者の新規就農者数【累計】	13人 (令和元年度)	15人 (令和3年度)	16人 (令和4年度)				18人
施策2-5 農畜産物のブランド化と収益性の高い農業の実現	戦略作物栽培面積	4.63ha (令和元年度)	5.20ha (令和3年度)	5.65ha (令和4年度)				7.42ha
施策2-6 就労支援の充実	説明会からの就業予定者数	28人 (令和元年度)	11人 (令和3年度)	6人 (令和4年度)				46人
	福祉施設から一般就労する人数	13人 (令和元年度)	12人 (令和3年度)	13人 (令和4年度)				19人
基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる	「子育て環境が整っている」と回答した市民の割合	44.2% (平成30年度)	43.5% (令和2年度)	55.4% (令和4年度)				50.0%
施策3-1 子育て相談・情報提供の充実	相談件数(子育てコンシェルジュ・地域子育て支援拠点の合計)	1,688件 (令和元年度)	1,541件 (令和3年度)	1,504件 (令和4年度)				2,000件
施策3-2 親と子の健康支援	乳児健診の受診率	95.2% (令和元年度)	98.1% (令和3年度)	98.7% (令和4年度)				96.0%
施策3-3 親と子の居場所づくり	子育て支援センター利用者満足度	96.5% (令和元年度)	99.5% (令和3年度)	99.0% (令和4年度)				99.0%
	リフレッシュチケット利用率(利用人数/配布人数)	62.0% (令和元年度)	68.5% (令和3年度)	52.7% (令和4年度)				80.0%
施策3-4 就学前の教育・保育の充実	待機児童数	6人 (令和2年度)	0人 (令和3年度)	0人 (令和4年度)				0人
施策3-5 未来を担う人材育成	赤ちゃん抱っこ体験に「参加してよかった」と回答した中学生の割合	—	— (令和3年度)	— (令和4年度)				97.0%

数値目標・KPI達成状況一覧

基本目標・施策	(基本目標) 数値目標 ・ (施策) KPI	基準値	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	実績値 R6	実績値 R7	目標値 (R7)
基本目標4 安心で快適なまちをつくる	各種防災訓練参加人数	9,492人 (令和元年度)	9,418人 (令和3年度)	9,578人 (令和4年度)				11,000人
	居住誘導区域の人口密度	58人/ha (令和2年度)	59人/ha (令和3年度)	59人/ha (令和4年度)				58人/ha
	買い物などの日常生活の利便性が「よい」と回答した市民の割合	37.4% (平成30年度)	49.2% (令和2年度)	45.1% (令和4年度)				40.0%
施策4-1 地域防災力の強化	自主防災リーダー養成研修修了者数【累計】	107人 (令和元年度)	186人 (令和3年度)	607人 (令和4年度)				700人
施策4-2 危機管理体制の強化と感染症等への備え	災害時応援協定締結数【累計】	53 (令和元年度)	60 (令和3年度)	62 (令和4年度)				62
	市が備蓄するマスク数	60,000枚 (令和元年度)	59,980枚 (令和3年度)	62,668枚 (令和4年度)				60,000枚
施策4-3 東松山駅周辺の整備	東松山駅周辺4路線の歩道バリアフリー化整備率	42% (令和2年度)	42% (令和3年度)	42% (令和4年度)				78%
施策4-4 中心市街地の活性化	空き店舗活用件数【累計】	21件 (令和元年度)	26件 (令和3年度)	28件 (令和4年度)				33件
施策4-5 持続可能な交通ネットワークの形成	地域公共交通計画の策定	未策定	未策定 (令和3年度)	未策定 (令和4年度)				策定 (令和5年度までに)
施策4-6 公共施設マネジメントの推進	サウンディング型市場調査実施件数【累計】	2件 (令和元年度)	4件 (令和3年度)	4件 (令和4年度)				5件
基本目標5 住み慣れた地域で健やかに暮らせるまちをつくる	65歳健康寿命	男: 17.62年 (平成29年) 女: 20.31年 (平成29年)	男: 17.82年 (令和元年) 女: 20.48年 (令和元年)	男: 18.21年 (令和2年) 女: 20.77年 (令和2年)				男: 18.03年 女: 20.54年
	週に1回以上外出している65歳以上の割合	78.9% (令和元年度)	—	79.8% (令和4年度)				88.9%
施策5-1 ウォーキングによる健康づくり	「埼玉県コバトン健康マイレージ」参加者数	2,634人 (令和元年度)	3,581人 (令和3年度)	4,036人 (2月末時点)				3,500人
施策5-2 健康づくりと社会参加の推進	いきいきパス・ポイント事業奨励品交換者数	—	681人 (令和3年度)	955人 (令和4年度)				2,600人
施策5-3 生活習慣病の予防と早期発見	がん検診(大腸がん)受診率	4.9% (平成30年度)	4.6% (令和2年度)	3.8% (令和3年度)				5.9%
施策5-4 社会福祉協議会との協働	高齢者サロンの数	83か所 (令和2年度)	83か所 (令和3年度)	82か所 (令和4年度)				88か所
施策5-5 認知症施策の推進	認知症検診受診率	12.1% (令和元年度)	11.3% (令和3年度)	10.6% (令和4年度)				18.0%

■基本目標1 魅力を高め、新たな人の流れをつくる

数値目標		基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	総合計画との関連					
年間観光入込客数		255万人 (令和元年)	174万人 (令和3年)	212万人 (令和4年)	285万人	施策1-1 総合計画基本施策3-2-1(自然に親しむ空間整備の推進)、5-4-1(観光の振興) 施策1-2 総合計画基本施策6-3-2(生涯スポーツの推進) 施策1-3 総合計画基本施策5-4-1(観光の振興)、6-5-1(健全な行財政運営) 施策1-4 総合計画基本施策6-5-1(健全な行財政運営)					
社会増の維持		343人 (令和元年)	452人 (令和3年)	660人 (令和4年)	343人						
「東松山市に愛着を感じている」市民の割合		71.7% (平成30年度)	71.3% (令和2年度)	72.7% (令和4年度)	80.0%						
施策1-1	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
地域資源の連携による観光の魅力向上	1	東松山市農林公園の運営	「東松山市農林公園」利用者数	7,498人 (令和元年度8-3月)	40,872人 (令和3年度)	56,090人 (令和4年度)	56,000人	農とふれあうテーマパークとして収穫体験や市内野菜などを使ったメニューを提供するカフェを運営し、農業を身近に感じるきっかけをつくる。	イチゴや野菜の収穫体験の実施に加え、指定管理者による柔軟な発想でイベントを開催した。また、カフェでは市内産農産物を使ったメニューを提供し、施設としての魅力向上に取り組んだ。	イチゴや野菜の収穫体験やカフェの運営、イベントの開催により、多くの方に来園していただいた。イチゴや野菜の収穫体験、カフェの運営を継続するとともにイベントを積極的に開催する。	農政課
	2	東松山市化石と自然の体験館の運営	「東松山市化石と自然の体験館」利用者数	19,186人 (令和元年度) 20,607人 (令和元年)	12,201人 (令和3年度) 10,993人 (R3.1-12月)	14,619人 (令和4年度) 14,252人 (R4.1-12月)	20,000人	葛袋地区から産出する化石を観光資源として活用し、魅力を高める。	「化石カード」の販売開始。くらかけ清流の郷やピオニウォーク東松山で出張化石発掘体験を実施。市内小学校への出前授業(3校)	オリジナル商品(化石カード)の販売を開始するとともに、出張化石発掘体験、市内小学校への出前授業の実施によるPRを図った。今後も特産品の販売の充実を図るとともに、出張体験の実施等により積極的にPRし魅力を高めていく。	商工観光課
	-	観光PR事業	-	-	-	-	-	観光協会による市内の観光案内・情報発信により、市の観光の認知度向上、来訪者の拡大につなげる。	市公共施設以外の観光パンフレット配架場所(市内10件、市外18件)他団体主催イベントへの出展・出店。(市内7件、市外10件)産官学連携による観光情報紙「四季だより」の定期的な発行。くらかけ清流の郷、化石と自然の体験館、農林公園、東松山ぼたん園と連携したスタンプラリーや観光写真コンテストを開催。	市公共施設以外の観光パンフレットの配架場所の追加を図るとともに、観光協会と連携しながら、他団体主催イベントへの出展・出店、観光情報紙「四季だより」の定期的な発行、スタンプラリーや観光写真コンテストの開催によるPRを実施した。今後も引き続き観光情報を提供し、市の観光の認知度向上、来訪者の拡大につなげていく。	商工観光課
	-	まなびのみちの活用	-	-	-	-	-	点在する観光資源をつなぐウォーキングルートとして活用を図る。	「みどりのみち」を活用した東武健康ハイキングを実施した。「みどりのみち」や「まなびのみち」を活用した市民活動センターによる月例ウォーキングを実施した。	「みどりのみち」や「まなびのみち」は、市民活動センターによる月例ウォーキングや東武鉄道と連携した東武健康ハイキングにより活用を図った。今後も、観光協会と連携した観光ツアーや東武鉄道と連携した健康ハイキングなどの活用を図り、観光客の回遊性向上に向けた取組を推進していく。	商工観光課
	-	くらかけ清流の郷の運営	-	-	-	-	-	自然は本市の魅力を感じる貴重な資源と捉え観光や余暇活動の場として活用を図る。	出張化石発掘体験や火おこし体験を実施。カヌー体験は2回計画したが、どちらも荒天により中止となった。県の都幾川改良復旧事業により10月から営業を中止した。	来訪者の増加を図るため出張化石発掘体験などを実施した。R4.10月~R6.3月まで県の都幾川改良復旧事業により営業中止となるため、R6.4月の営業再開に向けた準備を進めていく。	商工観光課
施策1-2	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
ウォーキングによる魅力づくり	1	日本スリーデーマーチの充実	日本スリーデーマーチの参加者数	82,259人 (平成30年度)	10,089人 (令和3年度)	51,738人 (令和4年度)	85,000人	ウォーキング大会のフラッグシップ大会として、安心して安全で快適に歩ける大会を目指す。	11/4,5,6に第45回記念大会を開催 9/29に記念大会特別企画イベントを開催	新型コロナウイルス感染対策を講じて4年ぶりに通常規模の大会を安全に開催できた。 11/3,4,5に第46回大会を開催	スポーツ課

第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 達成状況等調書(令和4年度)

	-	ウォーキングの推進	-	-	-	-	-	健康長寿の延伸、子どもたちの健やかな育ちなどウォーキングを契機とした取組を充実させる。	ウォーキングセンター事業(毎月4回)、各市民活動センター事業(毎月1回)として月例ウォーキングを実施。 プラス1000歩運動(5月から随時実施) 親子ウォーキング(8/10, 1/14, 3/18実施) 毎日1万歩運動+(9/11~12/18実施)	すべての事業を予定どおり実施できた。夏期の猛暑対策として新たに事業実施基準を設けた。 ウォーキングセンター事業(毎月4回)各市民活動センター事業(毎月1回)として月例ウォーキングを実施。 プラス1000歩運動(5月から随時実施) 親子ウォーキング(8月, 1月, 3月実施) 毎日1万歩運動+(9月~12月実施)	スポーツ課
施策1-3	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
東松山の魅力発信による移住定住の促進	1	シティプロモーション事業	移住定住サイト(全体)の総閲覧回数(年間PV数)	31,442PV (令和元年度)	103,923PV (令和3年度)	120,449PV (令和4年度)	33,600PV	移住定住を促進するため、HPや動画などを活用し、市の魅力を情報発信する。	移住定住サイトによる移住・定住のためのシティプロモーションを継続。 埼玉県の移住ポータルサイト「住むなら埼玉」の3/17開設に合わせて連携。	閲覧数の高い状態が維持されている。市のHPリニューアルに合わせたデザインの変更・コンテンツの充実を行い移住定住に向けたより一層の情報の充実を図っていく。	政策推進課
	-	東松山市応援団員事業	-	-	-	-	-	市の魅力を国内外へ発信するため、ゆかりのある方を「東松山市応援団員」として委嘱する。	応援団員の紹介ページの写真や文章の更新を実施。 絵子猫さんによる高坂彫刻プロムナード関連企画実施(広報紙ほか)	色々な場面で広く応援団員の活用を検討する。	政策推進課
	-	移住促進空き家利活用補助金	-	-	-	-	-	空き家の購入費及びリフォーム工事費の一部を補助し、定住人口の増加を図る。	HP・広報紙に加え、空き家所有者等へリーフレットを送付し、制度周知を図った(12月)。空き家バンクの登録物件の媒介業者にも制度周知を依頼。	リーフレット送付等により制度周知を図ることができた。今後は、バンク登録数を増やすことにより、本制度を活用した移住促進に取り組む。	住宅建築課
	-	空き家バンク	-	-	-	-	-	空き家情報を登録することにより売買及び賃貸借を促進し、空き家の有効活用を図る。	HP・広報紙・「全国版空き家バンク」に加え、空き家所有者等へリーフレットを送付し、制度周知を図った(12月)。	「全国版空き家バンク」登録、リーフレット送付等により制度周知を図ることができた。今後も効果的な制度周知を検討し、登録件数が増加するよう取り組む。	住宅建築課
施策1-4	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
新たな資金の流れの創出・拡大	1	ふるさと納税推進事業	令和3年度から令和7年度までの5年間のふるさと納税件数	-	591件 (令和3年度)	2,840件 (令和4年度)	1,000件	市の地域資源や魅力を広くPRし、地域経済の活性化に結び付ける。	ポータルサイトの拡充(1→6サイト)や市内事業者訪問等による返礼品の新規開拓、市SNSを活用したPR活動を実施。	ポータルサイトの拡充の効果もあり、寄附件数を大幅に増加させることができた。既存返礼品のPR強化や新たな寄附者層の獲得などを通じて、更なる寄附増加を目指していく。	政策推進課
	-	企業版ふるさと納税	-	-	-	-	-	民間企業の地方創生に関する取組への積極的な関与を促す。	R4年度の寄附件数は2件、350万円となった。	制度の周知を十分に行い、継続的な寄附の獲得を目指す。	政策推進課

■基本目標2 産業を振興し、働きたいまちをつくる

数値目標		基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	総合計画との関連					
市内事業所数		3,455 事業所 (平成28年)	-	3,392 事業所 (令和3年速報値)	3,455 事業所	施策2-1 総合計画基本施策5-3-1(産業振興と就労支援の充実) 施策2-2 総合計画基本施策5-3-1(産業振興と就労支援の充実) 施策2-3 総合計画基本施策5-3-1(産業振興と就労支援の充実)					
市内従業者数		38,525 人 (平成28年)	-	43,021 人 (令和3年速報値)	38,525 人	施策2-4 総合計画基本施策5-1-1(農業の振興) 施策2-5 総合計画基本施策5-1-1(農業の振興) 施策2-6 総合計画基本施策2-5-1(障害者支援の充実)、5-3-1(産業振興と就労支援の充実)					
施策2-1	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
新規企業立地等の推進	1	がんばる企業応援条例による奨励金制度	「東松山市がんばる企業応援条例」による支援企業数【累計】	18社 (令和元年度)	22社 (令和3年度)	25社 (令和4年度)	30社	新規企業や既存企業の設備投資への奨励措置により産業の活性化、雇用の創出を図る。	企業からの相談等により、令和4年度に3社を奨励措置指定企業とした。(延べ25社)	新規立地相談の充実や開発部局との連携により、引き続き本制度の周知・活用を図る。	政策推進課
	-	新たな産業用地確保に向けた土地利用調整	-	-	-	-	-	立地が可能な土地や工業団地内の空き物件などの情報を収集し、調整を図る。	県及び開発部局と連携し、立地相談に基づく土地利用調整を図っている。	新たな産業用地確保に向けた土地利用調整を図る。	政策推進課
	-	都市計画法に基づく手続き	-	-	-	-	-	立地にあたり必要な都市計画法に基づく手続きを行う。	新たな産業用地確保に向けて県と協議を進めている。	新郷地区、市ノ川地区では必要に応じて都市計画法34条12号の区域指定を行う。また、新たな産業用地確保に向け、引き続き県と協議を進める。	都市計画課
施策2-2	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
既存企業の支援	1	東松山市がんばる中小企業等応援補助金制度	がんばる中小企業等応援補助事業者数【累計】	- (令和2年度～)	9社 (令和3年度)	16社 (令和4年度)	15社	新たな事業の創出や経営戦略に積極的に挑戦する中小企業者を応援する。	商工会との連携により、経営革新計画策定企業へのアプローチを行う等、本補助制度の活用促進を図った。	R4年度は7件の補助を実施した。活用要望も多いためR5年度もR4年度に引続き10件を目標とし、商工会と継続的に連携しながら本補助金の活用を促進していく。	商工観光課
施策2-3	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
創業の支援	1	創業支援センター事業	創業支援センター利用者数	972人 (令和元年度)	1,124人 (令和3年度)	1,279人 (令和4年度)	1,500人	創業を検討している方などに、相談・助言を行い、事務室等を提供する。	テレワークによる利用を含め共同事務室の利用実績は左記のとおり。事務室は4室すべてが利用中。	事務室は4室すべて利用中であるが、その内2者はR5年度に他所に移転予定。移転後の事務室利用を促進すると共に、他市における創業支援施設を参考にしながら、創業支援センターの利用の幅や形態を検討していく。	商工観光課
	-	東松山起業家サポートファンドとの連携	-	-	-	-	-	ファンドと連携し、創業後の円滑な資金調達を支援する。	ファンドの活用の相談や新たな投資はなし。	新たな投資は無かったが、創業支援の取組み等と連携しながら市内での創業を促進する。	商工観光課
施策2-4	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
農業の担い手の育成・確保	1	就農相談会	青年農業者の新規就農者数【累計】	13人 (令和元年度)	15人 (令和3年度)	16人 (令和4年度)	18人	就農希望者からの相談機会を広く設け、新規就農者の増加を図る。	農政課窓口 相談者16人 都内での就農イベント 相談者57人 就農相談ウィーク 相談者6人	就農希望者からの相談機会を広く設けることができた。就農相談を継続するとともに、市外で開催される就農イベントに参加する。	農政課
	2	農業塾						就農希望者に必要となる基礎知識や実践的な技術を学習できる機会を提供し、支援を行うことで担い手の確保・育成を図る。	県や市農業公社と連携し、新規就農に必要な知識や技術を学習することができる野菜コース(8人)、梨コース(3人)の2コースの農業塾を実施した。	農業塾を実施し、基礎知識や実践的な技術を学習できる機会を提供することができた。農業塾を継続し、就農希望者に必要となる基礎知識や実践的な技術を学習できる機会を提供する。	農政課

第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 達成状況等調書(令和4年度)

	3	農林公園での農業研修						農林公園の研修農場を活用し、休日を利用した農業研修を実施することで、市内での就農希望者が露地野菜の栽培に必要な技術を習得するための機会を提供する。	市農業公社職員が講師となり、休日を利用した露地野菜栽培研修(5人)を実施することで、露地野菜の栽培に必要な技術を学ぶことのできる機会を設けた。	休日を利用した露地野菜栽培研修を実施し、露地野菜の栽培に必要な技術を習得するための機会を提供することができた。休日を利用した農業研修を継続し、市内での就農希望者が必要な技術を習得するための機会を提供する。	農政課
施策2-5	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
農畜産物のブランド化と収益性の高い農業の実現	1	戦略作物栽培	戦略作物栽培面積	4.63ha (令和元年度)	5.20ha (令和3年度)	5.65ha (令和4年度)	7.42ha	白いトウモロコシなどの戦略作物の栽培と市場出荷等を支援し、収益性の高い農業を実現する。	県や農協・市農業公社と連携して、生産者団体との検討会を実施し、作付けや市場出荷への支援を行った。	作付及び出荷検討会を実施し、効率的な作付及び出荷を推進することができた。作付及び出荷検討会を継続し、収益性の高い農産物の作付や出荷体制を支援する。	農政課
	-	加工品開発・販売	-	-	-	-	-	市内農産物を使用した加工品や土産物などの生産販売に関する取組を支援する。	市農業公社と連携し、市内農産物を使用した加工品の販売に向けた試作品の開発支援を行った。	市内農産物を使用した加工品の販売に向けた支援をすることができた。加工品の試作や販売経路確保のための支援を継続し、市内農産物の付加価値向上を図る。	農政課
施策2-6	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
就労支援の充実	1	合同就職説明会	説明会からの就業予定者数	28人 (令和元年度)	11人 (令和3年度)	6人 (令和4年度)	46人	県やハローワークとの連携のもと説明会の参加者や採用者数の増加に取り組み、地域内就労を促進する。	一般向け就職面接会を11/9に県・川島町・ハローワークと連携して開催。加えて11/28には県と連携し緊急就職相談会を実施した。シニア向けには8/31、2/7に就職面接会を開催。さらに、『こころプロジェクト』の一環で開催した10/6の『こころフェスタ』の中でシニア向け就職セミナーを実施した。	一般向け就職面接会では採用予定者6人、シニア向け就職面接会では採用予定者11人(うち正社員1人)につなげた。R5年度も引き続き市内企業の人材確保の支援や、市民への就職機会の提供ができるよう取り組む。	商工観光課
	2	障害者就労支援事業	福祉施設から一般就労する人数	13人 (令和元年度)	12人 (令和3年度)	13人 (令和4年度)	19人	一般就労を前提とした就労支援や、関連機関と連携しながら民間企業等へ障害者雇用の働きかけを行う。	障害者就労支援センターザックにより企業とのマッチングやジョブコーチの支援を行った。広報紙10月号で特集記事「ともに働く」を掲載し、障害者雇用の理解促進を図った。	障害者就労支援センターザックと連携しながら就労支援を進めてきた。次年度は、新たに創設した就労継続支援事業補助制度(チャレンジアップ応援制度)を活用し、障害者の就労支援の強化を図る。	障害者福祉課

■基本目標3 結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる

数値目標				基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	総合計画との関連			
「子育て環境が整っている」と回答した市民の割合 ※同居家族に「就学前(0～6歳)」及び「小学生・中学生」がいる世帯				44.2% (平成30年度)	43.5% (令和2年度)	55.4% (令和4年度)	50%	施策3-1 総合計画基本施策1-1-1(安心して楽しい子育て環境づくり) 施策3-2 総合計画基本施策2-1-1(健康づくりの推進) 施策3-3 総合計画基本施策1-1-1(安心して楽しい子育て環境づくり) 施策3-4 総合計画基本施策1-2-1(乳幼児期における支援の充実) 施策3-5 総合計画基本施策1-1-2(青少年の健全育成と若者の支援)			
施策3-1	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
子育て相談・ 情報提供の充 実	1	「子育てコンシ エルジュ」によ る相談事業	相談件数(子育 てコンシエルジ ュ・地域子育て 支援拠点の合 計)	1,688件 (令和元年度)	1,541件 (令和3年度)	1,504件 (令和4年度)	2,000件	子育てコンシェルジュを配 置し、多様化する子育てにき め細かに対応する。	窓口・電話相談に加え、コロナ禍で抑制して いた訪問による相談支援も徐々に増やしてい るほか、オンライン形式の相談も継続して実 施している。	R6年度に開設する「こども家庭センター」に おいても、子育てや子どもに関する相談を受 けて支援につなぐ子育てコンシェルジュが担 う役割は重要であり、今後も更なるサービス 充実を図りつつ、包括的な支援に取り組む。	子育て 支援課
	2	地域子育て支援 拠点の相談事業						地域の子育て支援機能の充 実を図り、子育ての不安感等 を緩和し、子どもの健やかな 育ちを促進する。	各拠点において感染症対策を講じながら支援 の場を閉ざすことなく提供した。また、オン ライン形式の相談の実施により、多様化する ニーズに対応することができた。	各拠点を地域の物理的にも心理的にも相談し やすい機関として周知するとともに、子育て に関する悩みについて気軽に相談できるよう にオンライン形式の対応を継続していく。	子育て 支援課
	-	子育て支援アプ リ	-	-	-	-	安心して子育てを楽しむた めの情報をタイムリーに発 信し子育て世帯をサポート する。	子どもの成長記録や情報発信など、機能の改 善等を図りながら、多様化する子育てニーズ に対応している。なお、「東松山市子育てナビ 」アプリにおいて、コンシェルジュのオン ライン形式の相談が予約できる機能を追加し た。	「東松山市子育てナビ」アプリ機能の更なる 充実を図る。	子育て 支援課	
	-	子育てハンドブ ック	-	-	-	-	-	R3年度の改訂において、掲載内容の見直しや、 電子版を作成し、利便性の向上を図った。ま た、出生・転入時の配布や、関係施設に配架 し、HPや子育て支援アプリと併せて市の子育 て情報を発信している。	定期的な改訂により、掲載内容を充実させる とともに、より多くの子育て世代が情報を受 け取ることができるように配布やアプリでの 情報発信を継続する。	子育て 支援課	
施策3-2	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
親と子の健康 支援	1	乳幼児健診	乳幼児健診の受診 率	95.2% (令和元年度)	98.1% (令和3年度)	98.7% (令和4年度)	96.0%	出生前から乳幼児期まで継 続した支援を行い育児不安 の軽減や子育て支援を充実 する。	密を避けるため、健診回数を毎月2回で実施。 個別案内通知の送付や、未受診者への受診勧 奨を行った。	今後も乳児の保護者等と連絡を密にし、感染 対策を講じながら継続して事業を実施してい くことで育児不安の軽減や子育て支援に取り 組む。	健康推 進課
	-	「子育て世代包 括支援センタ ー」事業	-	-	-	-	-	-	R5.3月末時点での相談件数590件。うち支援 が必要な件数75件。	出生前から継続した支援を行うため、今後も 妊娠届出時にアンケートを実施し、支援が必 要な方へ早期のフォローを行う。	健康推 進課
	-	不妊治療助成事 業	-	-	-	-	-	指定医療機関における特定 不妊治療の治療費の一部を 助成する。	R5.3月末時点で延57件(実39件)の助成を 行った。	不妊治療の保険適用に伴い、R4年度は経過措 置の方のみ助成を行った。R5年度も経過措置 のみとなり終了予定。	健康推 進課
	-	若者健診	-	-	-	-	-	生活習慣病の予防を図る。	集団健診を6月に2日間実施。10月に3日間 実施。	引き続き若い人の健診機会を設けるととも に、保健師が個別に相談を受け今後の受診に つなげることで生活習慣病の予防を図ってい く。	健康推 進課
	-	予防接種	-	-	-	-	-	感染症の予防を図る。	新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ各 種予防接種の周知を行うとともに、必要に応 じて勧奨通知を送付。	引き続き広報紙やHP等を活用し、国や県か らの情報を踏まえながら、感染状況に応じた 正確な情報を市民に提供することで感染症の 予防を図っていく。	健康推 進課

第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 達成状況等調書(令和4年度)

施策3-3	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
親と子の居場所づくり	1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援センター利用者満足度	96.5% (令和元年度)	99.5% (令和3年度)	99.0% (令和4年度)	99.0%	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。	コロナ禍において、一部利用制限を継続しながら、安心・安全な居場所を提供した。また、子育てイベントも徐々に開催を増やしており、利用者からも好評を博している。	市内の子育て支援の中核施設として、子育て家庭に寄り添ったサービスや機能の充実を図るとともに、安心・安全を最優先とした運営を継続する。	子育て支援課
	2	在宅で子育てをする家庭の支援	リフレッシュチケット利用率	62.0% (令和元年度)	68.5% (令和3年度)	52.7% (令和4年度)	80%	リフレッシュチケット配布事業や仕事と育児を両立できる環境を整備する。	R4年度に追加した「こども動物自然公園利用」も好評を博し、利用促進につながっている。また、コロナ禍ではあるが、子育てひろばも継続的に開催することで、在宅子育て家庭の負担の軽減につながっている。	サービスメニューの追加や見直しを行うなど、内容を充実することで、在宅子育て家庭の支援を行う。	子育て支援課
	-	子育てサークル等地域における子育て支援活動への支援	-	-	-	-	-	子育てサークルや子育てサロンなどを支援する。	子育てサークルや子育てサロンに関する情報を市HP等から発信することで、利用促進に取り組んでいる。	子育て世帯の多様なニーズに対応するため、市内で活動する子育て支援団体の支援を継続する。	子育て支援課
施策3-4	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
就学前の教育・保育の充実	1	認可保育園の定員の見直し	待機児童数	6人 (令和2年度)	0人 (令和3年度)	0人 (令和4年度)	0人	待機児童の解消に向け認可保育園の定員の拡充・見直しに取り組む。	認可保育園の空き状況を市HP上で随時公表を行った。	保育ニーズを的確に把握し、状況に応じて認可保育園の定員の拡充・見直しを行っている。	保育課
施策3-5	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
未来を担う人材育成	1	赤ちゃん抱っこ体験事業	赤ちゃん抱っこ体験に「参加してよかった」と回答した中学生の割合	-	-	- (実績無し)	97.0%	中学生に乳幼児との触れ合いを通じて命の大切さを学ぶ機会を充実させる。	新型コロナウイルス感染症対策のため、乳児を多数の中学生と接触させることが難しいと判断し、2校において形を変え、オンラインで実施した。他の3校は中止とした。	次年度は感染症対策を行いながら、実施を検討する。	学校教育課
	-	幼稚園・保育園訪問事業	-	-	-	-	-		新型コロナウイルス感染症対策のため、乳児を多数の中学生と接触させることが難しいと判断し今年度中止。	次年度は感染症対策を行いながら、実施を検討する。	学校教育課

■基本目標4 安心で快適なまちをつくる

数値目標		基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	総合計画との関連					
各種防災訓練参加人数		9,492人 (令和元年度)	9,418人 (令和3年度)	9,578人 (令和4年度)	11,000人	施策4-1 総合計画基本施策4-1-1(防災・減災のまちづくり) 施策4-2 総合計画基本施策4-1-1(防災・減災のまちづくり) 施策4-3 総合計画基本施策4-2-1(計画的なまちづくりの推進) 施策4-4 総合計画基本施策5-2-1(商業の振興) 施策4-5 総合計画基本施策4-2-1(計画的なまちづくりの推進) 施策4-6 総合計画基本施策6-5-1(健全な行財政運営)					
居住誘導区域の人口密度		58人/ha (令和2年度)	59人/ha (令和3年度)	59人/ha (令和4年度)	58人/ha						
買い物などの日常生活の利便性が「よい」「どちらかと言えばよい」と回答した市民の割合		37.4% (平成30年度)	49.2% (令和2年度)	45.1% (令和4年度)	40%						
施策4-1	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
地域防災力の強化	1	地域の防災リーダー育成	自主防災リーダー養成研修修了者数【累計】	107人 (令和元年度)	186人 (令和3年度)	607人 (令和4年度)	700人	災害に備え、防災に関する各種訓練の実施や自主防災組織による訓練を支援する。	今年度から養成研修を基礎編と応用編の階層別とし、6/18に基礎編を開催し78人が参加した。応用編は、各地区の防災訓練に合わせて実施し343人が参加した。	基礎編及び応用編で避難所資機材についての研修を行い参加者は資機材への理解を深めた。今後も、基礎編と応用編を階層別を実施するとともに、応用編の研修内容を充実させ、自主防災リーダーを育成する。	危機管理防災課
	-	自主防災組織の活動支援	-	-	-	-	-		出前講座の開催や補助金の助成により活動支援を実施した。	補助金交付要綱を見直し、補助対象メニューを拡充した。今後も、出前講座の開催、防災訓練への支援及び補助金の助成により自主防災組織の活動を支援する。	危機管理防災課
施策4-2	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
危機管理体制の強化と感染症等への備え	1	県や近隣市町村等との応援協力体制構築	災害時応援協定締結数【累計】	53 (令和元年度)	60 (令和3年度)	62 (令和4年度)	62	県や近隣市町村等との協力体制の構築、民間事業者等との協定による人的協力や物資の供給確保に取り組む。	新たに2件の協定を締結した。また、協定先との連絡体制の確認を実施した。	既存の協定先と発災時の体制を再確認するとともに、コンテナホテル等の協定を新たに締結し、協定数の増加を図った。今後も、災害時の体制強化を進めるため、協定による人的協力や物資等の確保を図る。	危機管理防災課
	2	避難所の感染症対策	市が備蓄するマスク数	60,000枚 (令和元年度)	59,980枚 (令和3年度)	62,668枚 (令和4年度)	60,000枚	感染症に対応した避難所等の運営に必要な資機材の整備等に取り組む。	総合防災訓練において、15箇所の指定緊急避難場所で感染症に配慮した開設訓練を実施した。	新型コロナウイルスは、感染症の分類が2類から5類へ見直されるが、避難所においては、県のガイドラインを踏まえ、感染症に配慮した運営を行うための環境整備に引き続き取り組む。	危機管理防災課
	-	地域防災計画や業務継続計画の見直し	-	-	-	-	-	災害時の応急活動体制や通常業務の継続実施体制を整える。	修正した地域防災計画について、自治連支部長・民児協会会長意見交換会会議等で説明した。	地域防災計画修正の周知を図った。今後も、国や県の計画修正を参考に、必要に応じて修正する。	危機管理防災課
	-	災害時の情報伝達体制・手段の強化と多様化	-	-	-	-	-	危機管理体制の強化を図る。	避難所アプリの運用を開始した。また、戸別受信機を普及させるため、障害者福祉課等の窓口を設置し来庁者に周知した。	窓口、研修、訓練など様々な場面を活用し、戸別受信機、いんふおメール及び避難所アプリの周知を図った。引き続き防災情報入手方法の周知に取り組み、危機管理体制の強化を図る。	危機管理防災課
施策4-3	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
東松山駅周辺の整備	1	駅前東通線の整備	東松山駅周辺4路線の歩道バリアフリー化整備率	42% (令和2年度)	42% (令和3年度)	42% (令和4年度)	78.0%	駅前東通線の整備を進める。	県が進める整備工事業費に応じ、街路事業負担金(24,490,700円)を支出した。	地中化工事に遅れが生じたため、R5年度に残工事があるものの、早期の完成が見込まれている。県が進める整備工事業費に応じ、街路事業負担金を支出する。	市街地整備課
	2	第一小学校通線の整備						第一小学校通線整備に向け事業化を目指す。	県と市で協力し、県道区間の用地取得業務を実施した。	県道区間は用地取得業務を進めることができたためR5年度当初から順次契約を見込んでいる。遅延が生じない様、県とスケジュールを共有し、後の市道区間の事業化を目指す。	市街地整備課

第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 達成状況等調書(令和4年度)

施策4-4	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
中心市街地の活性化	1	商店街空き店舗対策事業	空き店舗活用件数【累計】	21件 (令和元年度)	26件 (令和3年度)	28件 (令和4年度)	33件	空き店舗を利用して新規事業を行う商工会、商店会等に補助金を交付し、中心市街地の活性化を図る。	R4年度の補助件数は2件。R3年度から継続している家賃補助とR4年度の新規2件をもってR4年度の予算額に達した。	R4年度の補助件数は2件だが、本補助金活用に関する相談は多いため、継続の2件分に加えて新規4件を目標としている。引き続き、本制度の周知を図り制度の活用を促進していく。	商工観光課
	-	商工会ポータルサイト「東松山タウン情報」の活用	-	-	-	-	-	商店街の活性化に向けた事業を推進する。	商店街の活性化に向け、個店の情報発信等を行った。	R4年度に実施した個店の情報発信に加え、商店会のイベント等を有効的に発信していくため、運営を商工会から市商店会連合会のふれあい委員会に変更し運営していく。	商工観光課
施策4-5	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
持続可能な交通ネットワークの形成	1	地域公共交通計画策定	地域公共交通計画の策定	未策定	未策定 (令和3年度)	未策定 アンケート調査 (令和4年度)	策定 (令和5年度までに)	将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを形成するため計画を策定する。	計画策定に向けた市民アンケート、利用者アンケートと交通事業者ヒアリングを実施した。	アンケート調査及びヒアリングから公共交通の現状を整理し、課題を抽出した。R5年度は関係各課との調整を行うとともに、地域公共交通会議での審議とパブリックコメントを経て、3月中に計画を策定する。	地域支援課
	-	公共交通事業	-	-	-	-	-	必要に応じデマンドタクシーの運行や、市内循環バスの本数やルートの見直しを行う。	デマンドタクシー及び市内循環バス利用状況の集計、把握を行った。	利用状況の集計、把握を継続。公共交通に関する要望の集約。	地域支援課
施策4-6	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
公共施設マネジメントの推進	1	公共施設の集約・複合化	サウンディング型市場調査実施件数【累計】	2件 (令和元年度)	4件 (令和3年度)	4件 (令和4年度)	5件	中長期的な視点で施設総量の適正化に取り組む。	公共施設複合化のタイムスケジュールを検討した。	検討した公共施設複合化のタイムスケジュールを基に、庁内調整、市民説明を行いながら、必要に応じて民間事業者への市場調査を行う。	管財課
	-	個別施設計画に基づく修繕	-	-	-	-	-	施設の長寿命化、施設機能の維持を図る。	中期アクションプランの公共施設提案に対する優先度評価を実施するとともに、次年度に向けて施設の点検や改修計画の見直しを行った。	引き続き点検結果等を活用し、公共施設提案に対して事業優先度評価を実施し、より効率的な施設管理を図る。	管財課
	-	PFIによる事業化の検討	-	-	-	-	-	民間事業者の経営上のノウハウや技術的能力を活用し、事業コストの削減を図る。	他自治体の取組事例の調査研究を実施。PPP/PFIの専門家による職員研修を実施。	PPP/PFIに関する職員研修を開催し、全庁的に官民連携の取組に向けた機運を醸成することができた。事業立案の際にPPP/PFIが手段の一つとして検討の俎上に上げられるよう、日本PFI・PPP協会主催のPPP入門講座の活用や定期的な情報の周知により、官民連携の取組の重要性を全庁的に浸透させていく。	政策推進課
	-	事業実施に係る民間活力の導入可能性調査	-	-	-	-	-	-	国交省ブロックプラットフォームを活用したサウンディング型市場調査を実施。	国交省ブロックプラットフォームを活用したサウンディング型市場調査により、案件の市場性を確認することができた。ブロックプラットフォームの活用だけではなく、自前でもサウンディング型市場調査が実施できるよう、参考となる実施要領や様式の雛型を整備していく。	政策推進課

■基本目標5 住み慣れた地域で健やかに暮らせるまちをつくる

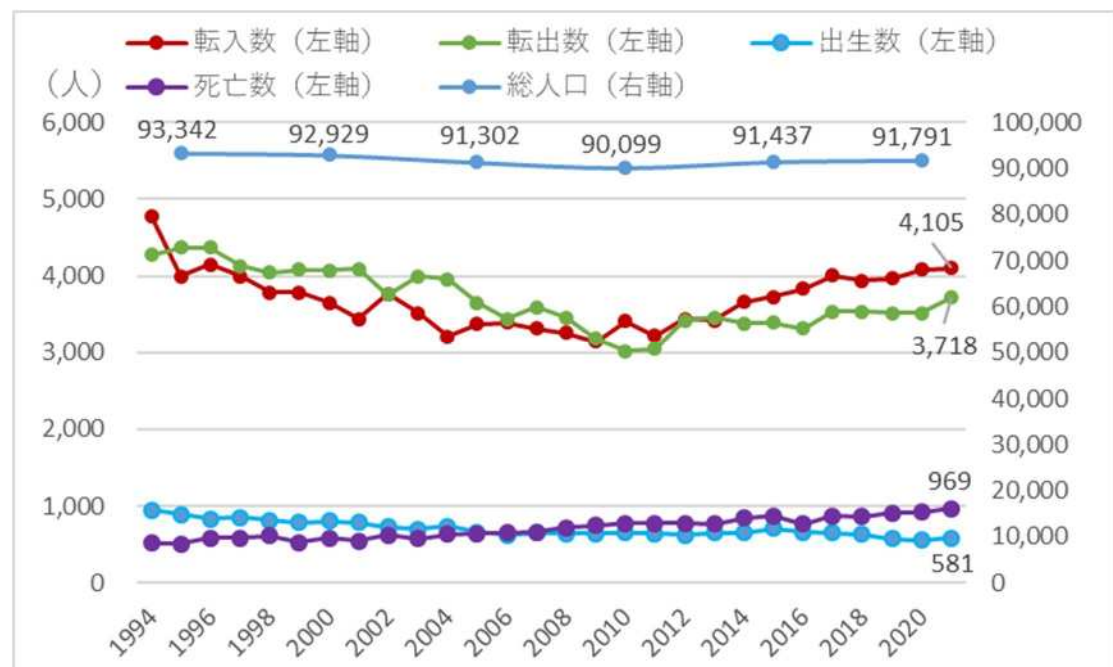
数値目標				基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	総合計画との関連			
65歳健康寿命				男:17.62年 (平成29年) 女:20.31年 (平成29年)	男:17.82年 (令和元年) 女:20.48年 (令和元年)	男:18.21年 (令和2年) 女:20.77年 (令和2年)	男:18.03年 女:20.54年	施策5-1 総合計画基本施策2-1-1(健康づくりの推進) 施策5-2 総合計画基本施策2-4-1(高齢者支援の充実) 施策5-3 総合計画基本施策2-1-1(健康づくりの推進) 施策5-4 総合計画基本施策2-3-1(地域福祉の推進)、2-4-1(高齢者支援の充実) 施策5-5 総合計画基本施策2-3-1(地域福祉の推進)、2-4-1(高齢者支援の充実)			
週に1回以上外出している65歳以上の割合				78.9% (令和元年度)	-	79.8% (令和4年度)	88.9%				
施策5-1	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
ウォーキングによる健康づくり	1	埼玉県コバトン健康マイレージ	「埼玉県コバトン健康マイレージ」参加者数	2,634人 (令和元年度)	3,581人 (令和3年度)	4,036人 (2月末時点)	3,500人	ウォーキングの普及と市民の健康増進に取り組む。	歩数計の窓口配布イベントを2日間実施。併せて、スポーツ課と協力し体力測定を実施。	今後も他課と連携しウォーキングの普及を行うとともに、市民が参加しやすい事業を実施することで健康づくりを推進していく。	健康推進課
	-	ウォーキングセンターや市民活動センターのウォーキング事業	-	-	-	-	-	ウォーキングによる市民の健康づくりの推進を図る。	ウォーキングセンター事業(毎月4回)、各市民活動センター事業(毎月1回)として月例ウォーキングを実施。	すべての事業を予定どおり実施できた。夏期の猛暑対策として新たに事業実施基準を設けた。 ウォーキングセンター事業(毎月4回)各市民活動センター事業(毎月1回)として月例ウォーキングを実施。	スポーツ課
	-	毎日1万歩運動事業・プラス1000歩運動事業	-	-	-	-	-	-	毎日1万歩運動+(9/11~12/18実施) プラス1000歩運動(5月から随時実施)	毎日1万歩運動+(9月~12月実施) プラス1000歩運動(5月から随時実施)	スポーツ課
施策5-2	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
健康づくりと社会参加の推進	1	いきいきパス・ポイント事業	いきいきパス・ポイント事業奨励品交換者数	-	681人 (令和3年度)	955人 (令和4年度)	2,600人	高齢者の健康増進と外出意欲向上を図る。	毎月の広報紙に対象事業を掲載した。また、各事業会場で参加者に周知した。 奨励品交換実績は、R3年度より274人増加し、955人となった。	実績は伸びているが、コロナ禍での事業開始(令和2年度)であったこともあり、令和7年度目標値との乖離がある。市民に対する周知も継続、工夫し認知度を高め、事業参加者を増加させる。	高齢介護課
	-	地域いきいき講座事業	-	-	-	-	-	高齢者の生涯学習への参加機会を促進する。	社会教育講座を21回実施。 高齢者のみを対象とする「いきいきシルバー講座」を新たに開設し、講座を8回実施した。	新たに開設した「いきいきシルバー講座」は、複数の高齢者向け講座を集約して情報発信し、多くの高齢者の参加を促進することができた。今後も、市民ニーズや社会の要請を踏まえ、講座の充実を図ることで、参加者の増加を目指す。	生涯学習課
	-	世代間交流事業	-	-	-	-	-	保育園・幼稚園などで、世代間交流の機会を充実させる。	市内の将棋連盟の協力のもと、7月から毎月1~2回の頻度で小学生を対象とした「しょうぞおしえたい」を開催。毎回5~10人程度の参加があり、世代間交流が図られている。	将棋を通して、子どもたちの安心安全な居場所づくりと、地域の大人と子どもが触れ合う世代間交流の場づくりを引き続き推進する。	子育て支援課
	-	「みんなきらめけ!!ハッピー体操」	-	-	-	-	-	高齢者の健康づくりと介護予防を推進する。	新型コロナウイルスの感染に十分注意をしながら実施した。	市民へ浸透している事業で、多くの会場で定員に近い開催となっている。密にならないよう定員を調整し継続実施する。	高齢介護課
	-	シニアボランティア制度	-	-	-	-	-	地域住民による支え合い活動を支援し、高齢者の活躍の場を広げる。	登録者数は、R3年度より3人増加し、523人(R5.3.1時点)となった。	高齢者の活躍の場となっており、市社会福祉協議会と連携し、登録者数や活動場所を増加させる。	高齢介護課

第2期東松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 達成状況等調書(令和4年度)

施策5-3	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
		アクティブシニア就労支援事業						市内企業と連携し、就労意欲が高い高齢者を対象とした企業合同就職説明会を開催。	県との共催により 8/31、2/7 にシニア向け就職面接会を開催。加えて『こころプロジェクト』の一環で開催した 10/6 の『こころプロジェクト』の中でシニア向け就職セミナーを実施した。	2 回の就職面接会の採用予定者数は 11 名（内正社員 1 名）となり、アクティブシニアへの就職機会の提供に貢献することができた。R5 年度も引き続き同様の機会創出に取り組む。	商工観光課
生活習慣病の予防と早期発見	1	がん検診	がん検診(大腸がん)受診率	4.9% (平成 30 年度)	4.6% (令和 2 年度)	3.8% (令和 3 年度)	5.9%	市民の生活習慣病の予防、がんの早期発見のための受診を勧奨する。	集団検診を 6 月に 2 日間実施。10 月に 3 日間実施。6 月～2 月には個別の医療機関でも市の検診を実施。併せて保険年金課と連携し、特定健診等とのセット健診を実施。	実績は R3 年度数値のため、新型コロナウイルスの影響による受診控えで低下したと思われる。引き続き特定健診や後期高齢者医療制度健診、若者健診との同時実施や土曜日等の休日実施を行うなど、市民の利便性を考慮した事業を実施することで、がんの早期発見のための受診を勧奨していく。	健康推進課
		生活習慣病健診							生活習慣を変え自らが健康管理をすることを目的とした若者健診を 6 月に 2 日間実施、10 月に 3 日間実施。	引き続き若い人の健診機会を設けるとともに、保健師が個別に相談を受け、今後の受診につなげることで生活習慣病の予防を図っていく。	健康推進課
施策5-4	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
社会福祉協議会との協働	1	高齢者向けサロン活動の支援	高齢者サロンの数	83 か所 (令和 2 年度)	83 か所 (令和 3 年度)	82 か所 (令和 4 年度)	88 か所	地域における通いの場の活性化を促す。	活動を自粛していたサロンが 8 割程度活動を再開している。 開催中止中のサロン：10 か所	地域における身近な交流・活動の場となっている。活動を自粛していたサロンへの活動再開や、サロン運営に対し支援する。	高齢介護課
		地域福祉コーディネーターとの連携						地域福祉コーディネーターの活動を支援する。	地域福祉コーディネーター会議に出席し、地域の困りごとや行政サービスに関する情報共有を行った。	福祉専門職、地域福祉コーディネーターの協力を得て、ハザードエリア内の避難行動要支援者から優先的に個別避難計画の作成を進めていく。	社会福祉課
		シニアクラブ活動の支援						地域における通いの場の活性化を促す。	連合会と 71 クラブに補助金を交付し、クラブ活動を支援した。	地域における身近な交流・活動の場となっている。引き続き各クラブの活動に対し、支援する。	高齢介護課
		支え合いサポート事業						日常生活上の支援が必要な高齢者等を地域で支える体制を強化する。	地域福祉コーディネーターとの情報共有により、地域の支え合い活動を支援している。サポーター数は、R3 年度より 1 人減少し、153 人となった。	社協自主事業であり、支える側・支えられる側への周知を図っている。引き続き情報共有をしながら利用の拡大を目指す。	高齢介護課
施策5-5	番号	事業名	KPI	基準値	実績値 (R3期末)	実績値 (R4期末)	目標値 (令和7年度)	事業概要	R4年度【期末】取組状況	評価・次年度の計画	担当課
認知症施策の推進	1	認知症検診	認知症検診受診率	12.1% (令和元年度)	11.3% (令和 3 年度)	10.6% (令和 4 年度)	18.0%	認知症の早期発見のため、健診の受診者増加に取り組む。	受診者 70 歳 151 人、75 歳 168 人で、受診率 10.6% (R3 年度より△0.7%) であった。	対象者への周知が課題となっている。今後も広報紙の掲載やいんふおメールの配信等を行い、受診者増加に取り組む。	高齢介護課
		「認知症サポーター小学生養成講座」の開催						児童(4～6年生)に向けて、認知症に関する正しい知識と理解を身につける学習機会を提供する。	市内 11 校実施。養成者数 735 人。認知症地域支援推進員と協力し、県作成の認知症啓発漫画のスライド上映やクイズ等を用いながら実施した。	市内全校で実施することができた。受講した児童が、認知症のポスターを作成するなど、講座を超えた学びに繋がっている。次年度も引き続き市内全校に講座を実施していく。	高齢介護課
		認知症初期集中支援チームによる支援						認知症高齢者やその家族等を支援する。	認知症初期集中支援チーム会議は 3 回実施し、情報共有等を行った。	事例の提出も 1 事例あり、今後もケアマネ等へ利用を周知していく。引き続き認知症の高齢者及び家族に早期に関わり、適切なサービスにつながるよう支援する。	高齢介護課
		成年後見制度の周知						制度の周知徹底により確実に利用につながる体制を整備する。	成年後見センターにおいて制度の説明や申立て支援を行った(相談件数 259 件)。成年後見制度に係る市長による審判の申立てに関する調整委員会を開催した(1 件)。	成年後見制度を HP や広報紙で周知を図った結果、成年後見センターの相談件数が増加した。今後は、成年後見センターの機能強化を図り、中核機関への移行を目指す。	社会福祉課

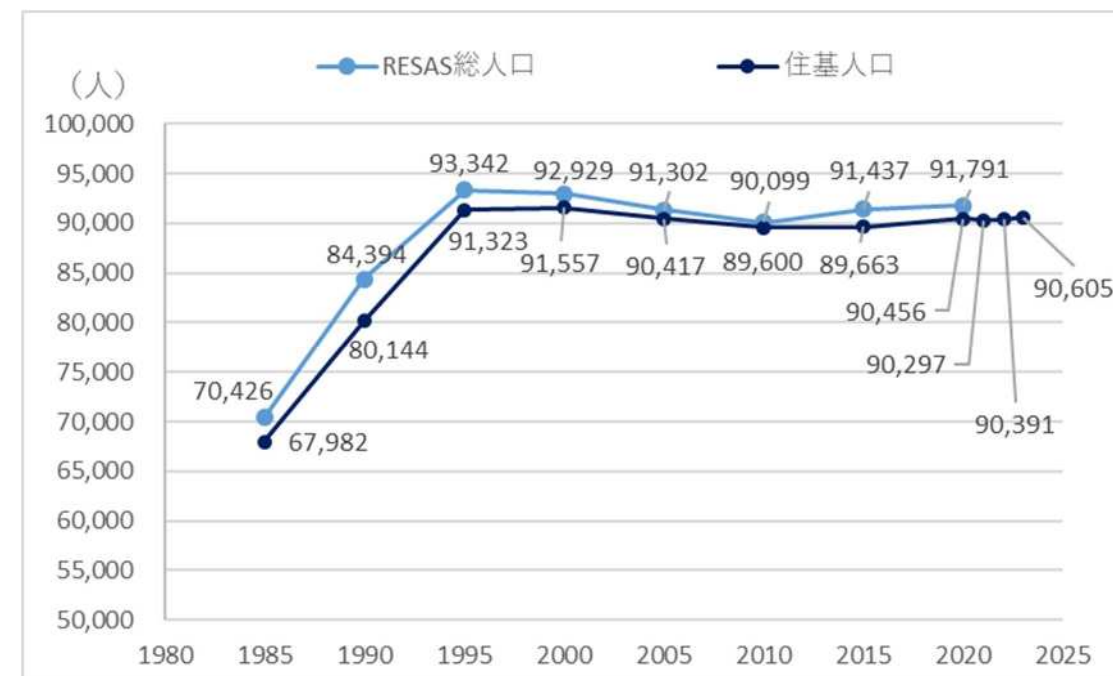
人口等分析（RESAS地域経済分析システム）

① 出生数・死亡数 / 転入数・転出数



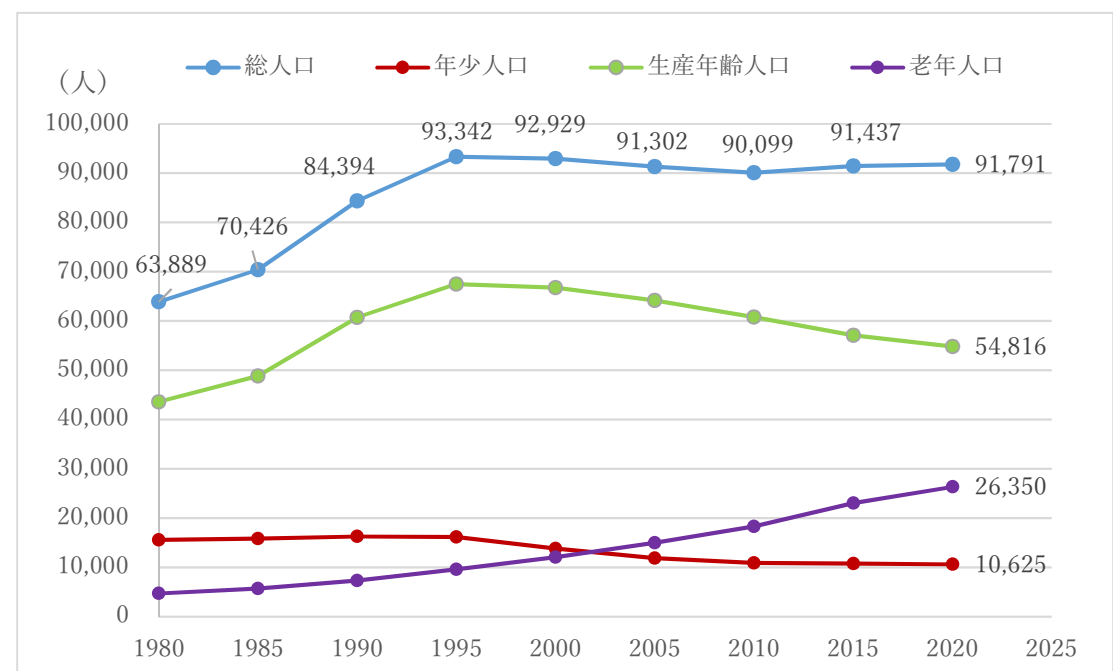
最新 2021年

③ RESAS/住民基本台帳 人口比較



最新 2023年

② 人口推移



最新 2020年

第5次東松山市総合計画 後期基本計画

目標人口 令和7年 89,000人

住民基本台帳人口 令和5年4月1日現在 90,605人

総合計画審議会委員名簿

	区分	氏名	役職名等
1	第1号委員	飯島 徹	東松山市商工会理事
2		伊藤 ひと美	東松山子育てねっと副代表
3		小沼 弘太	(社)比企青年会議所専務理事
4		小峰 良介	東松山市都市計画審議会会長
5		鹿田 明	JA埼玉中央青年部
6		島田 政信	東京電機大学建築・都市環境学系教授
7		嶋本 正雄	元市議会議員
8		須田 知樹	立正大学地球環境科学部学部長
9		玉木 啓一	武蔵丘短期大学副学長
10		中田 幸昌	東松山市環境審議会委員
11		細田 咲江	大東文化大学国際関係学部教授
12		杉山 武志	松山第二地区民生委員
13	第2号委員	酒巻 裕太	公募
14		佐藤 幸俊	公募
15		関根 美沙	公募

任期:令和3年7月1日～令和5年6月30日

令和5年度第1回東松山市総合計画審議会 執行部出席者一覧

役 職	氏 名
総務部次長	加藤 充
環境産業部次長	三村 和之
市民生活部次長	小澤 秀明
健康福祉部次長	高荷 和良
都市計画部次長	細野 康弘
建設部次長	今井 達雄
	町田 和行
市民病院事務部次長	関根 隆
生涯学習部次長	田島 信子
子ども家庭部次長	田島 裕之
学校教育課副主幹 (学校教育部次長代理)	波塚 裕紀

事務局

役 職	氏 名
政策財政部長	桶谷 易司
政策財政部次長	町田 憲昭
政策推進課長	今井 秀典
政策推進課 活性化戦略室長	新村 久徳
政策推進課 活性化戦略室 主査	堀越 和行
政策推進課 主査	江原 友博
政策推進課 主事	小池 亮
政策推進課 主事	嶋岡 佑香